

口腔・顎顔面領域の疾患 - ( 口腔・顎顔面領域の疾患 - )

4 年次 前学期	授業科目責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学） ユニット責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	口腔顎顔面領域にみられる多種多様の疾患のなかで顎関節症を含む顎関節の疾患は発症頻度が高いものである。顎関節の疾患を診療するうえで、臨床所見と病態の把握は不可欠である。口腔外科臨床に直結する内容であり、そのためには、成因、病態、診断、治療を学び理解する必要がある。口腔顎顔面領域にみられるウイルス感染症、疼痛・麻痺等をともなう神経疾患、奇形・変形を診療するうえで、臨床所見の把握は不可欠であり、成因、病態、診断、治療を学び理解する必要がある。また、口腔顎顔面領域に多様の症状を認める血液疾患を診療するうえで、病態を学び理解する必要がある。さらに、口腔外科臨床で頻繁に行われる手術の術式を学び理解する必要がある。
授業担当者	口腔外科学：秋元芳明、田中茂男、小宮正道 顎顔面外科学：近藤壽郎、神野良一、小倉直美、池谷美和、伊藤 耕、大木秀郎、篠原正徳、高橋 哲、酒巻裕之、横尾聡、鶴澤一弘、塚原宏泰 口腔免疫学：落合智子 頭頸部外科学：牧山康秀 顎口腔機能治療学：小見山道 歯科臨床検査医学：福本雅彦 顎顔面矯正学：大峰浩隆
教科書	サクシント口腔外科学（学建書院） 口腔外科学（学建書院） スタンダード口腔病理学（学建書院） 臨床神経内科学（南山堂） 脳神経外科学（金芳堂）
参考図書	最新口腔外科学（医歯薬出版）、Simple Text 口腔外科の疾患と治療（永末書店）、 口腔顎顔面疾患カラーアトラス（永末書店）、口腔病理アトラス（文光堂）
実習器材	特になし
評価方法 (EV)	中間試験、定期試験による評価
学生への メッセージ オフィスアワー	口腔外科領域の疾患のなかで炎症とアレルギー性疾患、唾液腺疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍類似疾患は国家試験に毎回出題されている重要な疾患であり、臨床実習に向けて基礎的知識を十分に学んでほしい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月11日(水) 3時間 9:00 ~ 11:50	ウイルス感染症 ウイルスの基本構造 感染メカニズム 口腔外科領域のウイルス疾患	【準備学習項目】 ウイルスの基本構造と感染メカニズムを説明できる。 口腔外科関連のウイルス疾患を説明できる。 【講義】 ウイルスの基本構造およびウイルス感染症の発症メカニズムを説明できる。 単純疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 帯状疱疹の病態、診断、治療法を述べることができる。 ラムゼーハント症候群の病態、診断、治療法を述べることができる。 流行性耳下腺炎の病態、診断、治療法を述べることができる。 ヘルパンギーナ、手足口病の病態、治療法を述べることができる。 風疹、麻疹の病態を述べることができる。 後天性免疫不全症候群の口腔の病態を述べることができる。 マルチメディア F-2-4)-(2)- F-2-4)-(5)- -( )-A-1	秋元芳明 落合智子
4月11日(水) 2時間 13:00 ~ 14:50	顎顔面領域の中樞神経疾患	【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の解剖、生理について説明できる。 【講義】 顎顔面領域の神経支配を説明できる。 中樞神経疾患による顎顔面領域の症状・病態・診断について説明できる。 スライド・ハンドアウトによる講義。 各 - -( )-2 F-2-4)-(6)	牧山康秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月18日(水) 3時間 9:00～11:50	神経疾患	【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の神経機能について説明できる。 【講義】 顎顔面領域の神経疾患の原因、診断法および治療法を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 各-( )-2 F-2-4)-(6)	同上
4月18日(水) 2時間 13:00～14:50	神経疾患	【準備学習項目】 口腔周辺の症状を発現する精神疾患について説明できる。 【講義】 心因性疾患について理解する。 心因性疾患の病態を述べる。 心因性疾患の問診法を述べる。 心因性疾患の治療法を述べる。 マルチメディア F-4-5) -( )-1-F	小見山道
4月25日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	4月11日から4月18日までの講義についての試験	
4月25日(水) 2時間 13:00～14:50	血液疾患	【準備学習項目】 人体における血液成分を列挙できる。 人体における白血球の種類を列挙できる。 【講義】 各種白血球の役割りを述べるができる。 造血の概要を述べるができる。 血球の分化の過程を説明できる。 癌遺伝子・癌抑制遺伝子の役割りを説明できる。 癌遺伝子・癌抑制遺伝子を列挙できる。 マルチメディア D-1-3) D-2-3)-(11) 必-6-A-a,e,f	福本雅彦
5月2日(水) 3時間 9:00～11:50	症候群・系統的骨疾患	【準備学習項目】 症候群・系統的骨疾患について説明できる。 【講義】 全身疾患によって顎顔面口腔領域に多彩な症状を現し、原因として先天性疾患、感染症、自己免疫疾患とする症候群・系統的骨疾患の概略を説明することができる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(7)- 、 、 、 、 -( )-4 -( )-1-B	神野良一
5月2日(水) 2時間 13:00～14:50	症候群・系統的骨疾患	【準備学習項目】 症候群・系統的骨疾患について説明できる。 【講義】 全身疾患によって顎顔面口腔領域に多彩な症状を現し、原因として先天性疾患、感染症、自己免疫疾患とする症候群・系統的骨疾患の概略を説明することができる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(7)- 、 、 、 、 -( )-4 -( )-1-B	同上
5月9日(水) 3時間 9:00～11:50	顎関節の疾患1	【準備学習項目】 顎関節の解剖・生理について説明できる。 【講義】 顎関節内障の病態生理を説明できる。 変形性関節症の病態生理を説明できる。 顎関節内障および変形性関節症の臨床症状を説明できる。 その他の顎関節疾患を理解する。 マルチメディアを使用した講義。 F-2-4)-(4) -( )	近藤壽郎 小倉直美
5月9日(水) 2時間 13:00～14:50	顎関節の疾患2	【準備学習項目】 顎関節疾患の治療について説明できる。 【講義】 顎関節疾患の外科的治療を説明できる。 マルチメディアを使用した講義。 F-2-4)-(4) -( )	同上
5月16日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	4月25日から5月9日までの講義についての試験	

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月16日(水) 2時間 13:00～14:50	全身疾患の口腔粘膜症状	<p>【準備学習項目】 全身疾患の口腔粘膜症状について説明できる。</p> <p>【講義】 全身疾患の口腔粘膜症状を理解する。 多彩な臨床症状を示す全身疾患の口腔粘膜症状を概説できる。</p> <p>マルチメディア F-2-4)-(2) -( )</p>	大木秀郎
5月23日(水) 3時間 9:00～11:50	奇形・変形 歯の異常 軟組織の異常	<p>【準備学習項目】 歯の異常、軟組織の異常を理解する。</p> <p>【講義】 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べることができる。 歯の異常の種類を述べることができる。 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べることができる。 口唇の異常(裂奇形以外)の分類、障害、治療法を述べる ことができる。 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べる ことができる。</p> <p>マルチメディア F-2-3)- ( )-1,2,3</p>	田中茂男
5月23日(水) 2時間 13:00～14:50	奇形・変形 歯の異常 軟組織の異常	<p>【準備学習項目】 歯の異常、軟組織の異常を理解する。</p> <p>【講義】 顎口腔領域の先天性および後天性異常を述べる ことができる。 歯の異常の種類を述べる ことができる。 歯の異常による障害と続発症、治療法を述べる ことができる。 口唇の異常(裂奇形以外)の分類、障害、治療法を述 べる ことができる。 舌、歯肉あるいは口腔粘膜、小帯の異常を述べる ことができる。</p> <p>マルチメディア F-2-3)- ( )-1,2,3</p>	同上
5月30日(水) 3時間 9:00～11:50	顔面・口腔の裂奇形	<p>【準備学習項目】 顔面・口腔の裂奇形の分類について説明できる。</p> <p>【講義】 顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理 できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する 診断 について説明できるようになる。 裂奇形について説明できる。 唇裂の分類について説明できる。 唇裂による障害について説明できる。 口蓋裂の分類について説明できる。 口蓋裂による障害について説明できる。 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。</p> <p>マルチメディアを使用した講義 F-2-3) -( )-1,2</p>	酒巻裕之
5月30日(水) 2時間 13:00～14:50	顔面・口腔の裂奇形	<p>【準備学習項目】 顎奇形について説明できる 唇顎口蓋裂の分類について説明できる。 唇顎口蓋裂による障害について説明できる。</p> <p>【講義】 顔面・口腔の裂奇形を呈する疾患について診断し管理 できるようになるために、口腔領域の裂奇形に対する 治療 法について説明できるようになる。 口唇・口蓋裂の治療方針について概説することができる。 唇裂の手術法を説明できる。 口蓋裂に関する手術法を列記できる。 口蓋裂に関する手術法の目的について説明できる。 口唇・口蓋裂児および家族に対する指導内容について 説明 できる。</p> <p>マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -( )-1,2 -( )-5</p>	大峰浩隆

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月6日(水) 3時間 9:00～11:50	顎骨の異常	<p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患について説明できる。</p> <p>【講義】 顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 顎変形症の治療方針について説明できる。 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -( )-2 -( )-5</p>	伊藤耕
6月6日(水) 2時間 13:00～14:50	顎骨の異常	<p>【準備学習項目】 顎骨の変形を呈する疾患の治療法について説明できる。</p> <p>【講義】 顎骨の変形を呈する疾患について診断し管理ができるようになるために、口腔領域の顎骨異常に対する診断法とその治療方針について説明できる。 顎骨の変形を呈する疾患の分類を説明できる。 顎変形症の鑑別診断について説明できる。 顎変形症の治療方針について説明できる。 顎骨の異常における障害、原因、治療法について概説することができる。 マルチメディアを使用した講義 F-2-3) F-2-4)-(7)- -( )-2 -( )-5</p>	高橋哲
6月13日(水) 3時間 9:00～11:50	中間試験	5月16日から6月6日までの講義についての試験	
6月13日(水) 2時間 13:00～14:50	口腔癌の遺伝子治療	<p>【準備学習項目】 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子治療法について説明できる。</p> <p>【講義】 口腔癌の遺伝子診断および遺伝子導入療法等に関する最先端医療について概説する。 F-2-4)-(3)- -( )-7-A</p>	鶴澤一弘
6月20日(水) 3時間 9:00～11:50	手術の患者管理、 手術の基本手技	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科手術での患者管理および基本手技について説明できる。</p> <p>【講義】 手術での患者管理および基本手技について理解する。 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点および患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べるることができる。 マルチメディアを使用した講義。 F-1-1)- 、 、 F-1-3)-(1)- 、 、 、 、 、 、 、 -( )-7</p>	小宮正道

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月20日(水) 2時間 13:00～14:50	手術の患者管理、 手術の基本手技	【準備学習項目】 顎口腔外科手術での患者管理および基本手技について説明できる。 【講義】 手術での患者管理および基本手技について理解する。 顎口腔外科手術で用いられる手術手技を理解する。 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点および患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期および術前・術後管理について説明できる。 外科処置の基本である消毒法・滅菌法を理解し、列挙することができる。 切開法、止血法および縫合法の基礎を理解し、その方法を述べるができる。 マルチメディアを使用した講義。 F-1-4) -( )-7	同上
6月27日(水) 3時間 9:00～11:50	顎口腔外科手術各論 歯根尖切除術 補綴前処置の外科1 歯槽堤整形術 歯槽堤形成術	【準備学習項目】 顎口腔外科領域の歯根尖切除術について説明できる。 顎口腔外科領域の補綴前処置の外科について説明できる。 【講義】 歯根尖切除術の目的を理解し、本手術の適応症、禁忌症を具体的に述べるができる。さらに、根尖切除術の手術術式を理解し、粘膜切開法と粘膜切開法の原則について述べるができる。 口腔外科における補綴前処置である歯槽堤整形術と歯槽堤形成術の概念を理解し、歯槽堤整形術と歯槽堤形成術の相違点および絶対的歯槽堤形成術と相対的歯槽堤形成術の相違点について説明できる。さらに、歯槽堤整形術および歯槽堤形成術の適応症、術式を具体的に述べることができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 、 、 、 、 、 、 、 -( )-7-A-4 -( )-10-F	神野良一
6月27日(水) 2時間 13:00～14:50	顎口腔外科手術各論 インプラント前処置の外科	【準備学習項目】 顎口腔外科領域のインプラント前処置の外科について説明できる。 【講義】 骨組織のマネージメント：インプラント治療における骨増生手術の意義を理解し、骨増生手術の適応症、術式を具体的に説明できる。軟組織のマネージメント：インプラント周囲軟組織の意義を理解し、手術の適応症、術式を具体的に説明できる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 各 - -D, F	塚原宏泰
7月4日(水) 3時間 9:00～11:50	顎骨再建 軟組織の再建	【準備学習項目】 顎骨再建法について説明できる。 軟組織の再建法について説明できる。 【講義】 骨移植について説明できる。 骨髄移植について説明できる。 骨軟骨移植について説明できる。 下顎骨の再建法について説明できる。 上顎骨の再建法について説明できる。 マルチメディアを使用した講義。 D-4-2) F-2-4-3)- -( )-11-B -( )-7-F 腫瘍手術後の軟組織欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4-3)- F-4-2) -( )-11-B -( )-7-F	神野良一 横尾聡

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月4日(水) 2時間 13:00～14:50	軟組織の再建	<p>【準備学習項目】 軟組織の再建法について説明できる。</p> <p>【講義】 腫瘍手術後の軟組織欠損に対する再建法を述べ、これらの再建法の意義を説明できる。 スライド、プリントを使用した講義。 F-2-4-3)- F-4-2) -( )-11-B -( )-7-F</p>	横尾聡
7月11日(水) 3時間 9:00～11:50	顎口腔外科手術各論 補綴前処置の外科2 小帯切除術 義歯性線維腫の切除手術 迷入歯の摘出手術	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科領域の補綴前処置の外科、迷入歯の摘出手術について説明できる。</p> <p>【講義】 各小帯の異常により発症する障害を理解し、口腔外科における補綴前処置である小帯切除手術の適応症と術式を述べることができる。 義歯性線維腫の定義、原因を理解し、臨床的な病態像を述べることができる。 抜歯の偶発症のひとつである歯の迷入の原因を理解し、迷入歯摘出術術式を述べることができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-1-4)- 、 、 、 、 、 、 、 、 、 F-2-3)- 、 -( )-10-H-a -( )-9-B -( )-7-A-5</p>	池谷美和
7月11日(水) 2時間 13:00～14:50	顎口腔外科手術各論 上顎洞根治手術 上顎洞口腔瘻閉鎖術	<p>【準備学習項目】 顎口腔外科領域の上顎洞根治手術、上顎洞口腔瘻閉鎖術について説明できる。</p> <p>【講義】 歯性上顎洞炎の病態像を理解し、上顎洞根治手術および上顎洞口腔瘻閉鎖術の適応基準、術式を述べることができる。 教科書、スライドおよびスライドプロジェクターを使用した講義。 F-2-4)-(2)- 、 、 、 、 、 、 、 、 -( )-5 -( )-4 -( )-7-A-3</p>	伊藤耕
7月18日(水) 3時間 9:00～11:50	ビスフォスフォネート製剤と骨髄炎	<p>【準備学習項目】 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。</p> <p>【講義】 主な炎症(骨髄炎)を概説できる。 ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死について説明できる。 F-2-4)-(5) F-2-4)-(7)</p>	神野良一
7月18日(水) 2時間 13:00～14:50	口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患	<p>【準備学習項目】 口腔乾燥症(ドライマウス)について説明できる。</p> <p>【講義】 口腔乾燥症(ドライマウス)の原因について説明できる。 口腔乾燥症(ドライマウス)の症状について説明できる。 口腔乾燥症(ドライマウス)と関連する疾患を説明できる。 シェーグレン症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。 F-2-4)-(2)</p>	篠原正徳

## 歯周治療学 - ( 歯科医学総合講義 1 )

4 年次 前学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：小方 頼昌 ( 歯周治療学 )
----------	---

学習の目標 ( G I O )	歯周治療学実習と関連付けた講義を行うので、予習・復習を行い、理解した上で実習を行うこと。臨床実習に対応できる能力を獲得し、実践できる。
授業担当者	小方頼昌、中山洋平、吉野祥一、目澤優
教科書	臨床歯周病学 ( 医歯薬出版 ) 失敗しない歯周外科 キュレッタージュから再生療法まで ( クインテッセンス出版 ) 歯周治療学実習帳 ( 歯周治療学講座編 )
参考図書	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス ( 西村書店 ) プリベンティブペリオドントロジー ( 医歯薬出版 ) 標準歯周病学第 4 版 ( 医学書院 ) カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集 ( クインテッセンス出版 ) ラタイチャークカラーアトラス歯周病学第 3 版 ( 永末書店 )
実習器材	なし
評価方法 ( E V )	授業時間内に行う平常試験 ( 100% ) によって評価する。平常試験の結果に応じて、レポート、補講などの措置を講じることがある。
学生への メッセージ オフィスアワー	理解できなかった項目については、積極的に質問すること。 e-mail(ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 ( S B O s ) ( L S ) ・準備学習 ( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 6 日 ( 金 ) 1 時間 13:00 ~ 13:50	歯周治療総論 歯周組織検査 ( 1 )	【準備学習項目】 歯周治療の流れを説明できる。 【講義】302 教室 歯周治療の流れを理解する。 歯周組織検査の項目について理解し、歯周組織検査の意義を説明できる。  E-3-1)- 必 -10-H-d,f,e,g 必 -10-D-b 必 -11-E-a	小方頼昌
4 月 13 日 ( 金 ) 1 時間 13:00 ~ 13:50	歯周組織検査 ( 2 )	【準備学習項目】 歯周組織検査の項目が説明できる。 【講義】302 教室 歯周組織検査の内容を説明できる。 歯周組織検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。  E-3-3)-(3)- , 必 -10-H-d,f,e,g 必 -15-R-a 総論 - -1-c 総論 - -1- A	小方頼昌
4 月 20 日 ( 金 ) 1 時間 13:00 ~ 13:50	歯周基本治療 ( 1 ) 口腔衛生指導 ブラッシング指導 プラークコントロール	【準備学習項目】 歯周基本治療の目的を説明できる。 【講義】302 教室 歯周基本治療で行う項目を説明できる。歯周基本治療の目的とその治療について、特にブラッシング指導とプラークコントロールを理解する。  E-3-3)-(3)- , 必 -3-J-a,b,c 必 -15-R-a 各論 - -( )-4-A	吉野祥一
4 月 27 日 ( 金 ) 1 時間 13:00 ~ 13:50	歯周基本治療 ( 2 ) スケーリング	【準備学習項目】 スケーラーの種類を説明できる。 【講義】302 教室 スケーリングの目的と方法を理解する。スケーリングに際して、適切なスケーラーを選択できる。  E-3-3)-(3)- , 必 -3-J-a,b,c 必 -15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月11日(金) 1時間 13:00～13:50	歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング	【準備学習項目】 スケーリング時のポジションを説明できる。 【講義】302教室 スケーリングに際しての正しいポジショニングを理解し、説明できる。 ルートプレーニングに際して、適切なキュレットを選択できる。  E-3-3)-(3)- , 必-3-J-a,b,c 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平
5月18日(金) 1時間 13:00～13:50	歯周基本治療(4) スケーラー・ルートプレーニング スケーラーの研磨 診査、診断	【準備学習項目】 スケーラーの適切な研磨法を説明できる。 【講義】302教室 スケーラーおよびキュレットの適切な研磨ができる。歯周組織検査の結果の分析、診断について学ぶルートプレーニングの目的と方法を理解する。  E-3-3)-(3)- , 必-3-J-a,b,c 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	目澤優
5月25日(金) 1時間 13:00～13:50	歯周基本治療のまとめ 平常試験	【準備学習項目】 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【講義】302教室 歯周基本治療の意義について理解する。 中間平常試験  E-3-3)-(3)- , 必-3-J-a,b,c 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平 目澤優 吉野祥一
6月1日(金) 1時間 13:00～13:50	歯周外科治療総論 歯周ポケット搔爬術 歯肉切除術	【準備学習項目】 歯周外科治療の目的を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を説明できる。 【講義】302教室 歯周外科治療の種類を説明できる、歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。  E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F	小方頼昌
6月8日(金) 1時間 13:00～13:50	新付着術(ENAP) 縫合法	【準備学習項目】 歯周外科治療の適応と禁忌を説明できる。新付着術(ENAP)の術式を説明できる。 【講義】302教室 新付着術(ENAP)の術式と適応を理解する。 縫合法の種類を説明できる。  E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F	小方頼昌
6月15日(金) 1時間 13:00～13:50	暫間固定 根分岐部病変の処置 歯肉剥離搔爬手術(1)	【準備学習項目】 暫間固定の目的を説明できる。根分岐部病変の分類を説明できる。 【講義】302教室 暫間固定の種類、目的を理解し、術式を説明できる。根分岐部病変の分類に応じた処置法を理解する。 歯肉剥離搔爬手術の適応を説明できる。  E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F	小方頼昌
6月22日(金) 1時間 13:00～13:50	歯肉剥離搔爬手術(2)	【準備学習項目】 歯肉剥離搔爬手術の術式を説明できる。 【講義】302教室 歯肉剥離搔爬手術の術式と使用する器具を説明できる。 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。  E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F	中山洋平



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月29日(金) 1時間 13:00 ~ 13:50	歯周形成外科手術 遊離歯肉移植術	<p>【準備学習項目】 遊離歯肉移植術と結合組織移植術の術式を説明できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周形成外科手術の種類を説明できる。 歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。 遊離歯肉移植術の適応および術式を説明できる。 結合組織移植術の適応および術式を説明できる。</p> <p>E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F</p>	小方頼昌
7月6日(金) 1時間 13:00 ~ 13:50	画像診断 組織再生誘導法	<p>【準備学習項目】 歯周組織再生誘導法の術式を説明できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周組織再生誘導法の適応を説明できる。 膜(メンブレン)とエムドゲインを使用した再生療法の違いを説明できる。</p> <p>E-3-3)-(3)- , 総論 - -11-B 総論 - -2-G 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F</p>	小方頼昌
7月13日(金) 1時間 13:00 ~ 13:50	歯周外科治療総括 サポータティブペリオドンタルセラピーとメンテナンス	<p>【準備学習項目】 メンテナンスとサポータティブペリオドンタルセラピーの違いを説明できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周外科治療の種類と適応の違いを説明できる。</p> <p>E-3-3)-(3)- , E-3-3)-(3)- 総論 - -11-B 各論 - -( )-4-G,H</p>	小方頼昌
7月20日(金) 1時間 13:00 ~ 13:50	歯周治療総括 平常試験	<p>【準備学習項目】 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。 まとめ平常試験</p> <p>E-3-3)-(3)- , E-3-3)-(3)- 総論 - -11-B 総論 - -2-G 各論 - -( )-4-A,B,C,D,E,F</p>	中山洋平 目澤優 吉野祥一

## 歯周治療学実習（歯科医学総合講義1）

4 年次 前学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：小方 頼昌（歯周治療学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	予習・復習を行い、理解した上で実習を行うこと。臨床実習に対応できる能力を獲得し、実践できる。
授業担当者	小方頼昌、中山洋平、吉野祥一、目澤優、鈴木桃子、大橋顕二郎、小山朱美、岡野千春、佐々木庸子、武井美佑紀、廣松勇樹、豊嶋泉
教科書	歯周治療学実習帳（歯周治療学講座編） 臨床歯周病学（医歯薬出版） 失敗しない歯周外科 キュレタージュから再生療法まで（クインテッセンス出版）
参考図書	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス（西村書店） 標準歯周病学第4版（医学書院） カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集（クインテッセンス出版） Lindhe 臨床歯周病学とインプラント第4版（クインテッセンス出版） ラタイチャークカラーアトラス歯周病学第3版（永末書店）
実習器材	顎模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (EV)	実習時間内に行う平常試験(100%)によって評価点とする。平常試験の結果に応じて、レポートや補講などの措置を講じることがある。
学生への メッセージ オフィスアワー	上手く出来なかった項目については、積極的に質問すること。班の担当医が再実習にも応じる。 e-mail(ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月6日(金) 3時間 14:00 ~ 16:50	歯周治療総論器具の配布 器具、実習マニュアルの説明 歯周組織検査(1)	【準備学習項目】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。 【実習】第4実習室 実習で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。 歯周組織検査の意義を説明できる。  F-7-3)- , , , , 各-II-(II)- 7 -A,B,C,D,E,F	小方頼昌 吉野祥一 大橋顕二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
4月13日(金) 3時間 14:00 ~ 16:50	歯周組織検査(2) 歯周疾患の診査・診断・ 治療計画 プロトコールの記入 人工歯石の塗布	【準備学習項目】 歯周治療の流れを説明できる。歯周組織検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。 【実習】第4実習室 歯周組織検査の項目が説明でき、実施できる。 歯周組織検査の結果を基に診断および治療計画を立案できる。  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-11-D-b 必-15-R-a 総論 - -1-C 総論 - -1-A	小方頼昌 吉野祥一 大橋顕二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
4月20日(金) 3時間 14:00 ~ 16:50	歯周基本治療(1) ブラッシング 補助清掃器具の使用法 人工歯石の塗布	【準備学習項目】 ブラッシング法とその特徴を説明できる。 【実習】第4実習室 歯周基本治療の目的を説明できる。 ブラッシング法の種類を説明できる。 歯ブラシの選択法を説明できる。 補助清掃器具について説明できる。  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀  吉野祥一 大橋顕二郎 小山朱美 鈴木桃子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月27日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周基本治療(2) スケーリング スケーリング時の ポジショニング スケーラーの使用法 (カマ型スケーラー) 人工歯石の塗布	【準備学習項目】 スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【実習】第4実習室 スケーリングの目的と方法を説明できる。 スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀  吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子
5月11日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周基本治療(3) スケーリング・ ルートプレーニング スケーラーの使用法 グレーシーキュレット	【準備学習項目】 グレーシーキュレットを正しく使用できる。 【実習】第4実習室 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。 スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
5月18日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周基本治療(4) スケーリング・ ルートプレーニング スケーラーの研磨	【準備学習項目】 ルートプレーニングを実施できる。 【実習】第4実習室 ・ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用法およびポジショニングを習得する。 歯周組織検査および画像診断の結果より、診断を決定し、治療計画の立案ができる。  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
5月25日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周基本治療まとめ 平常試験	【準備学習項目】 ・歯周基本治療の意義について説明できる。 【実習】第4実習室 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。 中間平常試験  F-7-3)- , , , , 必-3-J-a,b,c 必-10-H-d,e,f,g 必-15-R-a 各論 - -( )-4-A	中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀  吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子
6月1日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周外科治療総論 歯周ポケット掻爬術 歯肉切除術 縫合	【準備学習項目】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。歯周ポケット掻爬術と歯肉切除術の術式を説明できる。 【実習】第4実習室 歯周外科治療の種類を説明できる。歯周ポケット掻爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
6月8日(金) 3時間 14:00～16:50	新付着術(ENAP) 縫合	【準備学習項目】 新付着術(ENAP)の術式を説明できる。 【実習】第4実習室 新付着術(ENAP)の術式と適応を理解する。 縫合法の種類および方法を理解する。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月15日(金) 3時間 14:00～16:50	暫間固定 根分岐部病変の処置 歯肉剥離搔爬手術(1) 切開線の記入	【準備学習項目】 暫間固定の目的を説明できる。歯肉剥離搔爬手術の術式を説明できる。 【実習】第4実習室 暫間固定の種類を説明できる。 根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 歯肉剥離搔爬手術の適応と禁忌、術式を説明できる。 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称および使用法を説明できる。 切開、剥離および肉芽除去を習得する。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
6月22日(金) 3時間 14:00～16:50	歯肉剥離搔爬手術(2) 剥離、搔爬、ルーとプレーニング、骨整形、縫合	【準備学習項目】 歯肉剥離搔爬手術における骨整形、骨削除、骨移植および縫合法について説明できる。 【実習】第4実習室 歯肉剥離搔爬手術における歯槽骨に対する処置(骨整形、骨削除、骨移植)について学ぶ。 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F	中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀  吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子
6月29日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周形成外科手術 遊離歯肉移植術	【準備学習項目】 歯周形成外科手術の種類とそれぞれの術式を説明できる。 【実習】第4実習室 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の適応が説明できる。 遊離歯肉移植術の術式を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 結合組織移植術の術式を理解する。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
7月6日(金) 3時間 14:00～16:50	組織再生誘導法 画像診断 SPT、メンテナンス	【準備学習項目】 組織再生誘導法について説明できる。 【実習】第4実習室 組織再生誘導法について説明できる。 歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 SPTとメンテナンスの違いを理解する。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F 各論 - -( )-4-G,H	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
7月13日(金) 3時間 14:00～16:50	実習総括 歯周基本治療、歯周外科治療とSPT	【準備学習項目】 SPTとメンテナンスの違いを説明できる。 【実習】第4実習室 歯周基本治療と歯周外科治療の違いについて理解する。 歯周治療の全体の流れを理解し、説明することができる。 歯周治療におけるSPTとメンテナンスの重要性について理解する。  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F 各論 - -( )-4-G,H	小方頼昌 吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子  中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀
7月20日(金) 3時間 14:00～16:50	歯周基本治療および歯周外科治療のまとめ 平常試験	【準備学習項目】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。 【実習】第4実習室 歯周基本治療および歯周外科治療の平常まとめ試験  F-7-3)- , , , , 各論 - -( )-2-A,B,C,D,E,F,G,H 各論 - -( )-4-B,C,D,E,F 各論 - -( )-4-G,H	中山洋平 目澤優 岡野千春 佐々木庸子 武井美佑紀  吉野祥一 大橋頭二郎 小山朱美 鈴木桃子

# 総義歯補綴学（歯科医学総合講義1）

4 年次 前学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：河相 安彦（有床義歯補綴学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	無歯顎患者の損なわれた QOL の向上を図るために必要な総義歯補綴による再建とリハビリテーションの知識・技能・態度を習得する。
授業担当者	河相安彦, 成田紀之, 飯島守雄, 伊藤誠康, 大久保昌和, 木本 統, 桑原克久, 林 幸男, 中田浩史, 石井智浩, 神谷和伸, 矢崎貴啓, 池口伸之, 井上正安, 菅野京子, 小出恭代, 佐藤貴信, 島由樹, 末光宜光, 宗邦雄, 中村耕実, 義隆淑子
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版・細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編著・医歯薬出版
参考図書	パウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版・田中久敏, 古谷野潔 ほか監訳 / Geroge A.Zarb ほか編著・医歯薬出版 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients ・Feine/ Carlsson ・(Quintessence) コンプリートデンチャーテクニック 第5版・細井紀雄, 早川 巖, 平井敏博, 長岡英一, 赤川安正編著・医歯薬出版
実習器材	配布済みの器具を準備, 材料は支給
評価方法 (EV)	中間試験(50%)および定期試験(50%), 提出物, webclass を用いた自習の進捗を加味して評価。
学生への メッセージ オフィスアワー	総義歯補綴は高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが近年明らかになっています。今回の学習により多くの症例に対応できる基本を習得することを期待します。 講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月9日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 無歯顎の病因 歯の寿命・総義歯装着者数 無歯顎の病態 加齢に伴う変化1)~6)	講義 準備学習 3 年次補綴基礎の復習 SBO s 無歯顎の病因について説明できる。 老化について説明できる。 歯の寿命を説明できる。 無歯顎顎堤の垂直的・水平的な経時変化を説明できる。 顎堤吸収に関わる因子を説明できる。 顎堤粘膜と加齢に伴う変化を説明できる。 顎関節と加齢に伴う変化を説明できる。 唇・頬を形成し, 動かす筋について説明できる。 筋の加齢変化について説明できる。 唾液と加齢に伴う変化について説明できる。  LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 総 -6-A,B, 総 -12-A, 総 -2 - -a	河相安彦
4月9日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	補綴装置としての総義歯 装着者に見られる主要症候	講義 準備学習 3 年次補綴基礎の復習 SBO s 総義歯の構成要素の名称を列記できる 総義歯の維持・支持・安定に関与する因子を説明できる 総義歯装着者の症候を類別することができる 総義歯装着者の示す症候について説明できる LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 総 -2- 1 -a, 各 -1-B, 各 -1 -C F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -3, -B, D	同上
4月9日(月) 1時間 13:00 ~ 13:50	予備印象 研究模型の完成	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 使用する器具と材料の取り扱いについて説明できる。 無歯顎の顎堤に適したトレーを選択できる。 予備印象の採得を行い, 印象の適否が判断できる。 石膏の注入を行い, 研究模型を調整できる。 研究模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,B >	河相安彦 桑原克久 林幸男 池口伸之 島由樹 宗邦雄 飯島守雄 大久保昌和 神谷和伸 小出恭代 中村耕実  木本統 中田浩史 矢崎貴啓 菅野京子 末光弘宜 成田紀之 伊藤誠康 石井智浩 井上正安 佐藤貴信 義隆淑子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月16日(月) 2時間 9:00～10:50	2 診察・検査・診断 診察・検査 一般的診察	講義 準備学習 無歯顎の診察・検査項目を列挙できる SBOs 主訴に関する一般的診察内容を説明できる。 既往歴に関する一般的診察内容を説明できる。 現症に関する一般的診察内容を説明できる。 基礎疾患に関する一般的診察内容を説明できる。 服用薬剤に関する一般的診察内容を説明できる。 精神医学的状态に関する一般的診察内容を説明できる。 LS:302教室,マルチメディア B-2-2)-, F-3-4)-(3)-, 各 -2-A, B	木本統
4月16日(月) 1時間 11:00～11:50	2 診察・検査・診断 診察・検査 局所的な診察と検査	講義 準備学習 無歯顎の診察・検査項目を列挙できる SBOs 口腔外診察に関する局所的診察内容を説明できる。 口腔内診察に関する局所的診察内容を説明できる。 画像検査に関する内容を説明できる。 顎機能検査に関する内容を説明できる。 満足度・QOLに関する評価内容を説明できる。 使用中の義歯に関する観察内容を説明できる。 研究用模型に関する観察内容を説明できる。 LS:302教室,マルチメディア F-3-4)-(3)-, 各 -2-A, B	同上
4月16日(月) 1時間 13:00～13:50	各個トレーの完成	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 各個トレーの外形線が記入できる。 スパーサーの付与が適切にできる。 適切な厚さのトレーレジンを圧接することができる。 指定された位置に把柄を付与することができる。 適切な長さおよび厚さに調製することができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 宗邦雄 義隆淑子 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 中村耕実 末光弘直
4月23日(月) 2時間 9:00～10:50	形成試験(9:00～9:50)  上顎の筋形成(10:00～) 最終印象 ボクシング 作業模型の完成	試験:LS:302教室 総論および4月16日の範囲から出題  実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 各個トレー試適時の診査事項を述べることができる。 コンパウンドを用いて筋形成を行うことができる。 筋形成の適否を判断することができる。 無歯顎に用いる最終印象材の性質を説明できる。 最終印象を適切に行うことができる。 ボクシングを適切に行うことができる。 作業模型を調整できる。  LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-B,C >	同上
4月23日(月) 1時間 11:00～11:50	上顎の筋形成 最終印象 ボクシング 作業模型の完成	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 各個トレー試適時の診査事項を述べることができる。 コンパウンドを用いて筋形成を行うことができる。 筋形成の適否を判断することができる。 無歯顎に用いる最終印象材の性質を説明できる。 最終印象を適切に行うことができる。 ボクシングを適切に行うことができる。 作業模型を調整できる。  LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-B,C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月23日(月) 1時間 13:00～13:50	下顎の筋形成 最終印象 ボクシング 作業模型の完成	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 各個トレー試適時の診査事項を述べることができる。 コンパウンドを用いて筋形成を行うことができる。 筋形成の適否を判断することができる。 無歯顎に用いる最終印象材の性質を説明できる。 最終印象を適切に行うことができる。 ボクシングを適切に行うことができる。 作業模型を調整できる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-B,C >	同上
5月7日(月) 2時間 9:00～10:50	2 診察・検査・診断 医療面接とインフォームドコンセント 診断と治療計画の立案 3 前処置 補綴的前処置	講義 準備学習 無歯顎の診察・検査項目を列挙できる SBOs 医療面接を行う術者の基本姿勢を説明できる。 無歯顎治療のインフォームドコンセントについて説明できる。 補綴治療時の診断内容について説明できる プロブレムリストの作成内容について説明できる 治療計画の立案を SOAP に沿って説明できる。 総義歯治療の効果を説明できる。 総義歯治療の到達目標を説明できる。 補綴的前処置の目的について説明できる。 補綴的前処置の意義について説明できる。 ティッシュコンディショニングの目的を説明できる。 治療用義歯の咬合治療の効果について説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア B- 2 - 2 ) - , F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -2-A, B F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -2-D, 各 -2-F	河相安彦 木本統
5月7日(月) 1時間 11:00～11:50	3 前処置 外科的前処置・他	講義 準備学習 無歯顎の前処置について説明できる SBOs 各種外科的前処置の種類について列挙できる。 各種外科的処置の目的について説明できる。 各種外科的処置の方法について説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -2-D, 各 -2-F	河相安彦
5月7日(月) 1時間 13:00～13:50	作業模型の調製 標識線の記入 後堤法 ブロックアウト	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 作業模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。 作業模型上に歯槽頂線を記入することができる。 上顎床後縁の設定を根拠に基づいて行うことができる。 ブロックアウトを確実にできる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,B,C >	河相安彦 成田紀之 飯島守雄 伊藤誠康 大久保昌和 木本統 桑原克久 中田浩史 林幸男 石井智浩 神谷和伸 矢崎貴啓 池口伸之 井上正安 菅野京子 小出恭代 佐藤貴信 島由樹 末光弘宜 宗邦雄 中村耕実 義隆淑子
5月14日(月) 2時間 9:00～10:50	4 印象採得 印象に必要な解剖学基礎知識 印象採得の目的 印象用材料 概形印象	講義 準備学習 無歯顎の印象採得の目的を述べる SBOs 義歯を維持する筋と離脱に働く筋について説明できる。 上顎無歯顎印象領域を説明できる。 下顎無歯顎印象領域を説明できる。 上顎辺縁形成に関わる筋と誘導法を説明できる。 下顎辺縁形成に関わる筋と誘導法を説明できる。 無歯顎の印象目的を説明できる。 歯顎患者の印象採得の特徴を説明できる。 概形印象採得の必要要件について説明できる。 概形印象採得に用いる印象材を列挙できる。 概形印象採得に用いる印象法を説明できる。 研究用模型の目的について説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -6-B	河相安彦 林幸男

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月14日(月) 1時間 11:00～11:50	4 印象採得 精密印象 印象法の種類 フレンジテクニック 作業用模型	講義 準備学習 無歯顎の印象採得の目的を述べる SBOs 精密印象採得の必要要件について説明できる。 精密印象採得に用いる印象材を列挙できる。 個人トレーの目的を説明できる。 精密印象採得に用いる印象法を説明できる。 無歯顎の印象法を粘膜への圧力別分類で説明できる。 無歯顎の印象法を粘膜への機能別分類で説明できる。 無歯顎の印象法を粘膜への印象材別分類で説明できる。 デンチャースペースについて説明できる。 デンチャースペースの記録法を説明できる。 作業用模型の目的について説明できる。 作業用模型の試作法を説明できる。 ボクシングの意義を説明できる。 緩衝腔の目的を説明できる。 ブロックアウトの意義を説明できる。 ポストダムの意義を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -6-B, 各 -6-C	林幸男
5月14日(月) 1時間 13:00～13:50	咬合床の作製	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 基礎床のレジンを適切な厚さおよび長さに調製できる。 蠟堤を適切な形態に形成できる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,D >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子
5月21日(月) 2時間 9:00～10:50	5 顎間関係の記録 咬合床の製作 仮想咬合平面の設定 垂直的顎間関係の設定	講義 準備学習 無歯顎の顎間関係記録方法を説明できる SBOs 咬合床の製作法について説明できる。 無歯顎における顎間関係の記録法を説明できる。 仮想咬合平面の設定法について説明できる。 垂直的顎間関係の設定法を列挙できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -6-D	河相安彦
5月21日(月) 1時間 11:00～11:50	5 顎間関係の記録 水平的顎間関係の設定 標示線	講義 準備学習 無歯顎の顎間関係記録方法を説明できる SBOs 水平的顎間関係の設定法を列挙できる。 ゴシックアーチ描記法について説明できる。 クリステンセン現象について説明できる。 咬合高径が高すぎる場合の問題点を列挙できる。 咬合高径が低すぎる場合の問題点を列挙できる。 各標示線と前歯歯列の関連を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F - 3 - 4 ) - ( 3 ) - , 各 -6-D	同上
5月21日(月) 1時間 13:00～13:50	垂直的顎の対向関係位の設定 フェイスボウトランスファー 上下顎作業模型の咬合器付着	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 垂直的顎の対向関係位の設定についての手順を説明できる。 仮想咬合平面の設定ができる。 下顎安静位法に基づき咬頭嵌合位を設定できる。 フェイスボウトランスファーができる。 正確な咬合器付着が行える。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-D,E >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 義隆淑子 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 中村耕実



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月28日(月) 2時間 9:00～10:50	6 下顎運動の記録と咬合器装着 下顎運動の記録 咬合器装着 咬合器装着	講義 準備学習 無歯顎の下顎運動の記録方法を説明できる SBOs 下顎運動記録法の概要を説明できる。 ゴシックアーチの意義について説明できる。 咬合器の歴史の概要を説明できる。 アルコン型咬合器について説明できる。 コンダイラー型咬合器について説明できる。 課路型咬合器と生体の解剖構造との関係を説明できる。 フェイスボウの意義を説明できる。 チェックバイト法による課路の調節法を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-D, 各 -6-E	木本統
5月28日(月) 1時間 11:00～11:50	GPにおける補綴診療	講義 準備学習 一般診療の範囲を説明できる SBOs 一般歯科医院診療における補綴診療の役割を説明できる。 一般歯科医院診療における到達目標を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア	高梨芳彰
5月28日(月) 1時間 13:00～13:50	水平的顎の対向関係位の設定 (ゴシックアーチ描記法) チェックバイトの採得 咬合器のプログラミング	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs ゴシックアーチ描記法が確実に行える。 ゴシックアーチ描記について説明できる。 チェックバイトの採得ができる。 チェックバイトを用いて, 咬合器調節機構のプログラミングができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -6-D,E >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子
6月4日(月) 2時間 9:00～10:50	中間試験(9:00～9:50) 7 人工歯の排列 人工歯の歴史 前歯部人工歯の選択排列	試験: LS:302 教室(5月28日までの範囲を試験) 講義 準備学習 無歯顎の人工歯排列方法を説明できる SBOs 前歯部人工歯の形態, 色調, 大きさ, 材質による種類を列挙できる。 Williams の3基本形を説明できる。 SPA 要素を説明できる。 前歯部の人工歯の形態を選択する方法を説明できる。 色調の三属性を説明できる。 前歯部人工歯の長径, 幅径を選択する方法を説明できる。 前歯部の被蓋と臼歯部の咬合接触との関係を説明できる。 個性的排列の方法を説明できる。 臼歯部人工歯の形態, 色調, 大きさ, 材質による種類を列挙できる。 臼歯部人工歯排列の基準を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-F	河相安彦
6月4日(月) 1時間 11:00～11:50	7 人工歯の排列 臼歯部人工歯の選択と排列	講義 準備学習 無歯顎の人工歯排列方法を説明できる SBOs 個性的排列の方法を説明できる。 臼歯部人工歯の形態, 色調, 大きさ, 材質による種類を列挙できる。 臼歯部人工歯排列の基準を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-F	同上
6月4日(月) 1時間 13:00～13:50	咬合局面演習 ろう堤の修正工作	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 石膏模型咬合面の咬合局面を識別できる 蝸堤の修正工作を行える。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -3-G, 各 -6-F >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月11日(月) 2時間 9:00～10:50	7 人工歯の排列(9:00～9:50) 臼歯部人工歯の選択と排列  上顎前歯および臼歯の人工歯排列(10:00～)	講義 準備学習 無歯顎の人工歯排列方法を説明できる SBOs 全部床義歯の咬合様式を説明できる。 臼歯部人工歯ならびに咬合様式を選択し、排列方法を説明できる。 LS:302教室,マルチメディア F-3-4)-(3)-,各 -6-F  実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 上顎前歯の人工歯選択基準を述べるができる。 基本的な上顎前歯排列を行うことができる。 歯槽頂線に沿った上顎臼歯部排列を行うことができる。 矢状および側方調節湾曲を具現化することができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > <各 - -3-F,各 - -6-F >	河相安彦
6月11日(月) 1時間 11:00～11:50	上顎前歯および臼歯の人工歯排列	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 上顎前歯の人工歯選択基準を述べるができる。 基本的な上顎前歯排列を行うことができる。 歯槽頂線に沿った上顎臼歯部排列を行うことができる。 矢状および側方調節湾曲を具現化することができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > <各 - -3-F,各 - -6-F >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子
6月11日(月) 1時間 13:00～13:50	上顎前歯および臼歯の人工歯排列	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 上顎前歯の人工歯選択基準を述べるができる。 基本的な上顎前歯排列を行うことができる。 歯槽頂線に沿った上顎臼歯部排列を行うことができる。 矢状および側方調節湾曲を具現化することができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > <各 - -3-F,各 - -6-F >	同上
6月18日(月) 2時間 9:00～10:50	8 蟻義歯と試適(9:00～9:50)  下顎臼歯および前歯の人工歯排列(10:00～)	講義 準備学習 無歯顎のろう義歯試適の診査項目を説明できる SBOs ろう義歯の審美的形態について説明できる。 ろう義歯の機能的携帯について説明できる。 試適時の検査項目を列挙できる。 試適時の審美的形態の検査について説明できる。 試適時の機能的形態の検査について説明できる。 試適時の咬合状態の検査について説明できる。 発語機能を検査する方法について説明できる。 LS:302教室,マルチメディア F-3-4)-(3)-,各 -6-G,H,I  実習 歯槽頂線に沿った下顎臼歯部排列を行うことができる。 臼歯部において緊密な勘合を付与することができる。 機能に即した前歯排列を行うことができる。 審美的な前歯排列を行うことができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > <各 - -3-F,各 - -6-F >	河相安彦
6月18日(月) 1時間 11:00～11:50	下顎臼歯および前歯の人工歯排列	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 歯槽頂線に沿った下顎臼歯部排列を行うことができる。 臼歯部において緊密な勘合を付与することができる。 機能に即した前歯排列を行うことができる。 審美的な前歯排列を行うことができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(3)- > <各 - -3-F,各 - -6-F >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月18日(月) 1時間 13:00～13:50	下顎臼歯および前歯の人工歯排列	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 歯槽頂線に沿った下顎臼歯部排列を行うことができる。 臼歯部において緊密な吻合を付与することができる。 機能に即した前歯排列を行うことができる。 審美的な前歯排列を行うことができる。 調和のとれた人工歯排列が行える。 偏心位での咬合状態の確認が行える。 確実な人工歯の固定が行える。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F >	同上
6月25日(月) 2時間 9:00～10:50	9 埋没と重合	講義 準備学習 埋没法の種類と特徴を説明できる SBOs 埋没法の種類と特徴を説明できる。 埋没の手順を説明できる。 流ろうを説明できる。 レジン重合法の種類と特徴を説明できる。 レジン填入方法を説明できる。 義歯の取り出し方法を説明できる。 研磨の意義と手順を説明できる LS: 302教室, マルチメディア F-3-4)-(3)-, 各 -6-G,H,I	木本統
6月25日(月) 1時間 11:00～11:50	10 重合義歯の再装着	講義 準備学習 咬合器再装着(リマウント)の目的と方法について説明する。 SBOs 選択削合の原則について説明できる。 義歯の咬頭嵌合位での選択削合について説明できる。 側方および前方運動時の選択削合について説明できる。 自動削合について説明できる。 咬合小面の種類について説明できる。 LS: 302教室, マルチメディア F-3-4)-(3)-, 各 -6-J	木本統
6月25日(月) 1時間 13:00～13:50	歯肉形成	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 滑らかな歯頸ラインを形成できる。 辺縁歯肉形態を形成することができる。 歯間乳頭の形成が行える。 歯根形態を形成することができる。 頬舌側研磨面および口蓋形態を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-G, 各 - -6-G >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宜 義隆淑子 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 中村耕実 宗邦雄
7月2日(月) 2時間 9:00～10:50	形成試験(9:00～9:50)  テンチのコアー(10:00～) 埋没 流ろう	LS:302教室 人工歯排列、ろう義歯、埋没重合、再装着の範囲から出題  実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs テンチのコアーを作成することができる。 蝟義歯を適切にフラスコ埋没することができる。 填入の準備として流口を十分に行うことかできる <F-3-4)-(3)- 10>< 各 -III-(II)-7-N, O >	同上
7月2日(月) 1時間 11:00～11:50	フラスコ埋没・流ろう	実習 準備学習 web classの当該項目手順の予習 SBOs 蝟義歯を適切にフラスコ埋没することかできる。 填入の準備として流口を十分に行うことかできる。 <F-3-4)-(3)- 10>< 各 -III-(II)-7-N >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月2日(月) 1時間 13:00 ~ 13:50	床用レジン填入温成・重合	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 使用するレジンの適正量を述べるができる。 適正な填入時期を述べるができる。 フラスコへの填入方法を説明できる。 適切な温成時間を述べるができる。 使用するレジンの適正量を計量することができる。 餅状期のレジン填入することができる。 適切な温成時間で重合を行うことができる。 <F-3-4)-(3)- 10> <各 -III-(II)-7-N>	同上
7月9日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	11 義歯の装着	講義 準備学習 義歯装着時の診査項目を説明できる。 SBOs 装着の前準備について述べるができる。 形態に関する装着時の調整について説明できる。 機能について述べるができる。 審美に関して述べるができる。  LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-K	河相安彦
7月9日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	11 義歯の装着 装着時の患者指導 装着直後の調整 治療効果の評価	講義 準備学習 咬合器再装着と患者の指導について説明できる。 SBOs 装着時の患者指導項目について列挙できる。 リコールの重要性について説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-K	同上
7月9日(月) 1時間 13:00 ~ 13:50	取り出し・研磨・リマウント	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 完成義歯を適切に石膏より取り出すことができる。 研磨の手順を説明できる。 適切な研磨器具を用いて仕上げができる。 リマウントの目的を述べるができる。 チェックバイトの採得を行うことができる。 咬合器再付着ができる。 <F-3-4)-(3)- 10> <各 -III-(II)-7-O,P>	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宣 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子
7月21日(土) 2時間 9:00 ~ 10:50	12 装着後の経過観察 生体の変化 定期検査と評価 修理 リライン(床裏装法)	講義 準備学習 義歯装着後の経時変化項目を説明できる。 SBOs 顎堤の経時的形態変化について説明できる。 義歯装着により引き起こされる口腔粘膜の病態と対処法を説明できる。 不適切な義歯と顎関節・筋症状との関係を説明できる。 義歯床および人工歯の破折の原因を列挙できる。 義歯床および人工歯の破折に対する対処法を説明できる。 定期検査の意義を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-A,B,E,C,F	矢崎貴啓
7月21日(土) 1時間 11:00 ~ 11:50	12 装着後の経過観察 リベース 咬合面再形成	講義 準備学習 義歯装着後のリラインの必要性を説明できる。 SBOs リラインの意義と目的, 術式を説明できる。 リライン材の種類と性質を説明できる。 リベースの意義と目的, 術式を説明できる。 咬合面形成の意義と目的を説明できる。 LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-A,D	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月21日(土) 1時間 13:00 ~ 13:50	選択点削除 自動削合	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F > < 各 -III-(II)-7-O >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宣 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子
7月23日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	13 金属床・即時義歯 13 オーバーデンチャー・顎義歯	講義 準備学習 種々の総義歯装置を列挙できる。 SBOs 金属床義歯の利点と欠点を説明できる。 金属床義歯の製作手順を説明できる。 即時全部床義歯の利点と欠点を説明できる。 即時全部床義歯による治療手順を説明できる。 オーバーデンチャーの特徴を説明できる。 オーバーデンチャーの利点と欠点を列挙できる。 オーバーデンチャーの適応症を説明できる。 オーバーデンチャーの支台歯の処置法を説明できる。 顎顔面領域における先天的・後天的欠損の臨床症状を説明できる。 顎顔面補綴治療の特徴を説明できる。 上顎顎義歯の特徴を説明できる。 下顎顎義歯の特徴を説明できる LS: 302 教室, マルチメディア F-3-4)-(3)- , 各 -6-A	河相安彦
7月23日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	13 インプラント義歯	講義 準備学習 インプラント義歯の構造を説明できる SBOs インプラント義歯の適応症を述べることができる。 インプラント総義歯の種類を述べることができる。 インプラント総義歯の治療手順を述べることができる。 インプラント義歯の効果を述べることができる。 インプラント義歯の治療選択判断が行える。 LS: 302 教室, マルチメディア < F-3-4)-(4)- > < 各 -III-(II)-6-D > 各 -7-A,B,C,D,E	同上
7月23日(月) 1時間 13:00 ~ 13:50	選択点削除 自動削合 咬合面形態の修正	実習 準備学習 web class の当該項目手順の予習 SBOs 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F > < 各 -III-(II)-7-O >	河相安彦 飯島守雄 大久保昌和 桑原克久 林幸男 神谷和伸 池口伸之 菅野京子 佐藤貴信 末光弘宣 中村耕実 成田紀之 伊藤誠康 木本統 中田浩史 石井智浩 矢崎貴啓 井上正安 小出恭代 島由樹 宗邦雄 義隆淑子

## 総義歯補綴学実習（歯科医学総合講義1）

4 年次 前学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：河相 安彦（有床義歯補綴学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	無歯顎患者の損なわれた QOL の向上を図るために必要な総義歯補綴による再建とリハビリテーションの知識・技能・態度を習得する。
授業担当者	河相安彦, 成田紀之, 飯島守雄, 伊藤誠康, 大久保昌和, 木本 統, 桑原克久, 林 幸男, 中田浩史, 石井智浩, 神谷和伸, 矢崎貴啓, 池口伸之, 井上正安, 菅野京子, 小出恭代, 佐藤貴信, 島 由樹, 末光弘宣, 宗 邦雄, 中村耕実, 義隆淑子
教科書	総義歯補綴学実習便覧・日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座編・わかば出版
参考図書	無歯顎補綴治療学 第2版・細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編著・医歯薬出版 パウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版・田中久敏, 古谷野潔 ほか監訳 / Geroge A.Zarb ほか編著・医歯薬出版
実習器材	配布済みの器具を準備, 材料は支給
評価方法 (EV)	実習製作物(80%), 実習試験(20%)によって評価点とする。また, web class による自学自習の進捗状況, 実習態度を加味する。
学生への メッセージ オフィスアワー	超高齢化社会である現在, 歯科治療における最後の砦である総義歯治療のニーズが再認識されています。今回の学習は, 多種多様の症例に対応できるようになるための基本の習得を目的としています。そして, 実習の各ステップについての十分な予習による, 大きな学習効果の向上を期待します。シミュレーション実習ではありますが, 常に患者様を意識して行ってください。原則的に実習のデモは行いません。webclass で製作過程を動画で十分に予習して実習にのぞむこと。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 9 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	予備印象 研究模型の完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 使用する器具と材料の取り扱いについて説明できる。 無歯顎の顎堤に適したトレーを選択できる。 予備印象の採得を行い, 印象の適否が判断できる。 石膏の注入を行い, 研究模型を調整できる。 研究模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。  LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -6-A,B >	河相安彦 木本統 桑原克久 中田浩史 林幸男 矢崎貴啓 池口伸之 菅野京子 島由樹 末光弘宣 宗邦雄 成田紀之 飯島守雄 伊藤誠康 大久保昌和 石井智浩 神谷和伸 井上正安 小出恭代 佐藤貴信 中村耕実 義隆淑子
4 月 16 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	各個トレーの完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 各個トレーの外形線が記入できる。 スパーサーの付与が適切にできる。 適切な厚さのトレーレジンを圧接することができる。 指定された位置に把柄を付与することができる。 適切な長さおよび厚さに調製することができる。  LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -6-A >	同上
4 月 23 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	下顎の筋形成 最終印象 ボクシング 作業模型の完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 各個トレー試適時の診査事項を述べることができる。 コンパウンドを用いて筋形成を行うことができる。 筋形成の適否を判断することができる。 無歯顎に用いる最終印象材の性質を説明できる。 最終印象を適切に行うことができる。 ボクシングを適切に行うことができる。 作業模型を調整できる。  LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -6-B,C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月7日(月) 3時間 14:00～16:50	作業模型の調製 標識線の記入 後堤法 ブロックアウト	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 作業模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。 作業模型上に歯槽頂線を記入することができる。 上顎床後縁の設定を根拠に基づいて行うことができる。 ブロックアウトを確実にできる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,B,C >	同上
5月14日(月) 3時間 14:00～16:50	咬合床の作製	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) コア法による基礎床の作製ができる。 基礎床のレジンを適切な厚さおよび長さに調製できる。 蠟堤を適切な形態に形成できる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,D >	同上
5月21日(月) 3時間 14:00～16:50	垂直的顎の対向関係位の設定 フェイスボウトランスファー 上下顎作業模型の咬合器付着	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 垂直的顎の対向関係位の設定についての手順を説明できる。 仮想咬合平面の設定ができる。 下顎安静位法に基づき咬頭嵌合位を設定できる。 フェイスボウトランスファーができる。 正確な咬合器付着が行える。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-D,E >	同上
5月28日(月) 3時間 14:00～16:50	水平的顎の対向関係位の設定 (ゴシックアーチ描記法) チェックバイトの採得 咬合器のプログラミング	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) ゴシックアーチ描記法が確実にできる。 ゴシックアーチ描記について説明できる。 チェックバイトの採得ができる。 チェックバイトを用いて、咬合器のプログラミングができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-D,E >	同上
6月4日(月) 3時間 14:00～16:50	ろう堤の修正工作 上顎前歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 蠟堤の修正工作を行える。 上顎前歯の人工歯選択基準を述べる。 基本的な上顎前歯排列を行うことができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-G, 各 - -6-F >	同上
6月11日(月) 3時間 14:00～16:50	上顎臼歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 歯槽頂線に沿った上顎臼歯部排列を行うことができる。 矢状および側方調節湾曲を具現化することができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F >	同上
6月18日(月) 3時間 14:00～16:50	下顎臼歯および前歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 歯槽頂線に沿った下顎臼歯部排列を行うことができる。 臼歯部において緊密な咬合を付与することができる。 審美的な前歯排列を行うことができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - 3-F, 各 - -6-F >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月25日(月) 3時間 14:00～16:50	歯肉形成	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 滑らかな歯頸ラインを形成できる。 辺縁歯肉形態を形成することができる。 歯間乳頭の形成が行える。 歯根形態を形成することができる。 頬舌側研磨面および口蓋形態を形成することができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -3-G, 各 -6-G >	同上
7月2日(月) 3時間 14:00～16:50	床用レジン填入・温成	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 使用するレジンの適正量を計量することができる。 餅状期のレジンを填入することができる。 適切な温成時間で重合を行うことができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -III-(II)-7-N >	同上
7月9日(月) 3時間 14:00～16:50	研磨・リマウント	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) リマウントの目的を述べることができる。 チェックバイトの採得を行うことができる。 咬合器再付着ができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -III-(II)-7-O,P >	同上
7月21日(土) 3時間 14:00～16:50	選択点削除 自動削合	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -3-F, 各 -6-F >	同上
7月23日(月) 3時間 14:00～16:50	自動削合 咬合面形態の修正	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。  LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -3-F, 各 -6-F >	同上



## 高齢者歯科学（歯科医療の展開）

4 年次 前学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	わが国における高齢者は、2010年10月において対全人口比で65歳以上が23.1%に達し、2035年には33.7%になると予測されている。このような超高齢社会において歯科医学、歯科医療の担う比重は大きい。高齢者にとって食べられるということは、QOLの最上位に位置すると言って過言ではなく、口腔保健の良否が生活を左右する。また、目標とされる健康長寿社会への貢献については関連分野との連携が重要である。したがって、顎口腔系の加齢変化および歯科的対応はもとより、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとして、慢性疾患、薬物動態、全身管理についても理解を深めておかなければならない。 GIO：健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。
授業担当者	川良美佐雄（顎口腔機能治療学）、那須郁夫（地域保健学）、坂巻達夫（内科学）、大口純人（内科学）、渋谷 鑞（歯科麻酔学）、山根潤一（薬理学）、大峰浩隆（顎顔面矯正学）、平野浩彦（有床義歯補綴学・東京都健康長寿医療センター研究所）、梅澤幸司（障害者歯科学）、菊谷 武（日本歯科大学附属病院・口腔介護-リハビリテーションセンター）斎藤孝親（医療情報学）、飯田 崇（顎口腔機能治療学）、竹蓋道子（衛生士専門学校）、黒木俊一（顎口腔機能治療学）
教科書	特に指定するものはない。
参考図書	高齢者歯科ガイドブック：植松 宏、稲葉 繁、渡辺 誠 編集、医歯薬出版 高齢者歯科医療マニュアル：上田 裕 監修、永末書店 有病高齢者歯科治療のガイドライン：西田百代 著、クインテッセンス出版 高齢者歯科学：渡辺 誠 監修、永末書店 新老年学（第2版）：折茂 肇 編集代表、東京大学出版会
実習器材	特になし
評価方法 (EV)	平常試験（30%）試験範囲：第1回～第7回講義 定期試験（70%）試験範囲：第1回～最終講義 特定の講義や課題に偏ることはない。 問題形式は多肢選択問題および記述問題の混合形式とします。
学生への メッセージ オフィスアワー	毎回の講義のポイントをおさえること。 すでに超高齢社会（21%以上）となったいま、高齢者歯科学の基礎を学び、しっかりと対応してゆこう。 医科、看護、介護、社会福祉といった関連領域では歯科に対する期待も大きい。協働に備えよう。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月10日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢社会の現状 加齢に伴う歯、顎、口腔の変化	<b>【準備学習項目】</b> ・日本の人口動態を説明できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の変化を説明できる。 <b>【講義】</b> ・人口統計学の立場から見たわが国の少子化、高齢化の伸長を知り、将来の人口動態を推論できる。 ・老化の機序を説明できる。 ・加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化を説明できる。 ・老化の身体的、精神的、心理的特徴を説明できる。 F-4-3)- 必-7-C-a～k、必-7-D-ab 総- -1-H,I、総- -6-A,B、総- -12-ABC、 総- -5-A～J 各- -( )-1-C	川良美佐雄
4月17日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者の保健・医療・福祉	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者に関連する保健、社会福祉制度を説明できる。 <b>【講義】</b> ・わが国の高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携について説明できる。 ・老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方を知り、歯科医師の役割を説明できる。 ・新しい社会保障制度としての公的介護保険制度について概略を述べ、歯科医療との関わりについて説明できる。 C-2-2)- ~ 必-3- G-abc、必-16- B-a～e 総- -3- A～H、総- -4- H総- -6-A～G	那須郁夫 川良美佐雄

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月24日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者医療の特徴	【準備学習項目】 ・高齢者で頻度の高い疾患を挙げることができる。 【講義】 ・高齢者の生理的・機能的変化について説明できる。 ・高齢者医療の特徴を説明できる。 ・高齢者で頻度の高い全身疾患について説明できる。 ・胃瘻について説明できる。 D-2-4)- F-4-3)- 必-9-A-a、 総- -6-A～G	坂巻達夫 川良美佐雄
5月1日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者の慢性疾患と歯科の対応	【準備学習項目】 ・高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ、歯科診療時の注意点を説明できる。 【講義】 ・高齢者歯科治療に際し、配慮すべき慢性疾患を挙げ、説明できる。 ・上記疾患に対する歯科診療での注意点を説明できる。 ・糖尿病を説明できる。 ・動脈硬化を説明できる。 F-1-3)-(1)-、F-4-3)- 必-15-AB-b、総- -2-L	大口純人 川良美佐雄
5月8日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者歯科診療における全身管理	【準備学習項目】 ・高齢者歯科診療における全身管理の要点を説明できる。 【講義】 ・高齢者歯科診療でのモニタリングを説明できる。 ・循環器疾患患者での術前評価と注意点を説明できる。 ・脳血管障害患者での術前評価と注意点を説明できる。 F-1-3)-(1)-、F-4-3)- 必-15-J-a,b,c	渋谷鏡 川良美佐雄
5月15日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者歯科と薬物	【準備学習項目】 ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 【講義】 ・高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 ・高齢者の薬物投与の原則を説明できる。 ・投薬の実際について説明できる。 F-4-3)-、F-4-3)-(1)- 必-15-Z-a～i	山根潤一 川良美佐雄
5月22日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者の心理と精神機能障害	【準備学習項目】 ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 【講義】 ・高齢者の心理状態、および「ぼけ」について説明できる。 ・認知症の分類とそれぞれの特徴を説明できる。 ・症状改善の方略について説明できる。 F-4-3)- 必-15-AB-b、総- -7-A～E、総- -5-B、	大峰浩隆 川良美佐雄
5月29日(火) 2時間 9:00～10:50	平常試験	平常試験	川良美佐雄 黒木俊一
6月5日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者歯科治療の実際	【準備学習項目】 ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 【講義】 ・有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 ・医科との連携について説明できる。 ・入院治療の実際について説明できる。 ・高齢者の生活環境と口腔実態の関わりについて説明できる。 F-4-3)- 総- -5-A～I、総- -2-L、	平野浩彦 川良美佐雄
6月12日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	【準備学習項目】 ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 【講義】 ・機能の減退に伴う摂食、嚥下障害の機序について説明できる。 ・摂食、嚥下障害と歯科領域の関連について説明できる。 ・摂食、嚥下障害のリハビリテーションについて説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試:必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k	梅澤幸司 川良美佐雄

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月19日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者の口腔介護・リハビリテーション	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者の摂食嚥下障害を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 <b>【講義】</b> ・口腔機能向上による介護予防について説明できる。 ・摂食・嚥下リハビリテーションの実際を説明できる。 C-2-2)- F-2-4)-(8)-、F-4-3)- 国試: 必-15-AA-a,b、必-9-A-a、必-9-C-k	菊谷武 川良美佐雄
6月26日(火) 2時間 9:00～10:50	要介護高齢者と歯科	<b>【準備学習項目】</b> ・介護施設を説明できる。 ・介護施設での口腔保健を説明できる。 <b>【講義】</b> ・特別養護老人施設について説明できる。 ・施設における高齢者の口腔ケアについて説明できる。 ・高齢者と介護者の関わりについて説明できる。 ・要介護高齢者の食事の実際について説明できる。 ・高齢患者とのコミュニケーション技法を説明できる。 B-2-1)- C-2-2)- F-4-3)- 必-15-D-c,d、必-16-B-c 総-3-A～H、総-5-F	齊藤孝親 川良美佐雄
7月3日(火) 2時間 9:00～10:50	在宅歯科医療	<b>【準備学習項目】</b> ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科医療における注意点を説明できる。 <b>【講義】</b> ・在宅歯科医療にかかわる社会保障制度を説明できる。 ・在宅歯科診療の実際を説明できる。 ・在宅歯科診療での注意点について説明できる。 A-3- F-4-3)-、 必-15-D-c,d 総-4-H、総-2-L、	飯田崇 川良美佐雄
7月10日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者におけるオーラルヘルスケア	<b>【準備学習項目】</b> ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者における口腔ケアの重要性を説明できる。 ・高齢者歯科診療での歯科医師と歯科衛生士の連携について説明できる。 ・高齢者の口腔清掃指導について説明できる。 ・地域保健における歯科衛生士の役割を説明できる。 C-3-2)- F-1-6)-(2)-、F-4-3)- 必-15-AA-a,b、必-16-ABCDE 総-6-DE	竹蓋道子 川良美佐雄
7月17日(火) 2時間 9:00～10:50	高齢者と臨床検査医学	<b>【準備学習項目】</b> ・臨床検査データから全身状態を説明できる。 <b>【講義】</b> ・高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患を説明できる。 ・臨床検査データから全身状況を説明できる。 ・医師との連携が円滑に行える。 ・全身状態に応じた歯科治療を選択できる。 A-3- F-4-3)- 必-9-A、必-11-ABC、必-12-C	黒木俊一 川良美佐雄

## 小児歯科学（歯科医療の展開）

4 年次 前学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：前田 隆秀（小児歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から20歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。 心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした実習へ進む上で基本的な知識を理解し説明できる。
授業担当者	前田隆秀、宮沢裕夫*
教科書	小児の口腔科学（前田隆秀 他、学建書院）
参考図書	第2版 小児歯科学（医歯薬出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験（65%）小テスト（25%）と講義中の態度（10%）を総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から20歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問。“小児歯科学は予測の学問である”

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月6日(金) 3時間 9:00 ~ 11:50	小児歯科学の定義 小児歯科学の目的 小児歯科学の歴史 小児歯科学の特異性 現在の小児歯科と将来の小児歯科  小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴	準備学習項目：小児の発育を理解する。 ・小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 ・小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を述べ、いかに現代の小児歯科学が発展したかを日本、欧州、アメリカと比較しその重要性を理解し説明できる。 ・小児歯科学の包括歯科医療について理解させ、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 ・現在の小児歯科と同時に将来的な小児歯科学の発展の夢を語れる。  ・発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 ・乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 ・精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-4-2)-1 必-7-A-a,b,c	前田隆秀
4月13日(金) 3時間 9:00 ~ 11:50	小児歯科生理的特徴 小児の発育段階別特徴 小児の栄養  頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	準備学習項目：頭蓋顎顔面の発育を理解する。 ・小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理的特徴が説明できる。 ・乳幼児から学童、思春期に至る発育の変移が説明できる。 ・小児栄養の基本を述べ栄養指導に結び付けることができる。 LS: 講義・スライド・プリント  ・頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-1-6)-(2)-4, E-3-1)-1 必-7-c-d,f, 総-(IV)-I-J, 総-(IV)-3-k, 総-(V)-4-A,B,C, 各-I-6-D	同上
4月20日(金) 3時間 9:00 ~ 11:50	歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	準備学習項目：歯の発育と異常を理解する。 ・歯胚の発生から萌出までの発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 ・歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 ・歯数、形態、構造、色調の異常を供覧させ理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-3-1)-1,2, E-3-2)-2, 必-6-c-a,b,c, 総-(IV)-4-A,B, 総-(V)-3-F	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月27日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の臨床的対応 小児歯科診療におけるインフォームドコンセント 口腔領域における心身症  児童虐待 小児の齲蝕と予防	準備学習項目：歯科的対応を説明できる。 小児への歯科的対応が説明できる。 1) 診療時に必要な小児の心理 2) 歯科的対応の実際 ・ 歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 ・ 年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 ・ 診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント  虐待の種類、虐待が生じる要因と口腔状態が説明できる。 1) 歯口清掃 2) 食生活指導 3) フッ化物応用法 4) 窩溝填塞法 ・ 年齢別からみた歯ブラシ法とデンタルフロス法を理解し説明できる。 ・ 齲蝕との関連が強いシヨ糖に焦点をあてた砂糖摂取量を説明できる。 ・ 摂取状況を中心とした栄養指導を理解し説明できる。 ・ フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。 ・ シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント E-1-6)-(2)-2,3, A-7-1)-1,2,3, B-3-2)-1,2,3 必-3-H,J, 必-10-J-a,b, 必-15-F-a,b,c, 総-(VIII)-2-A-E, 総-(X)-2-I, 総-(XI)-7-E, 各-I-1-D,E,F	宮沢裕夫 前田隆秀
5月11日(金) 3時間 9:00～11:50	乳歯、幼若永久歯の特徴 1) 乳歯の形態と組織 2) 幼若永久歯の形態と組織  小児の齲蝕治療	準備学習項目：幼若永久歯の特徴を理解する。 ・ 乳歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 ・ 幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント  1) 小児の齲蝕罹患状況 2) 乳歯の齲蝕 3) 幼若永久歯の齲蝕 ・ 小児齲蝕の年次推移を説明できる。 ・ 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 ・ 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 ・ 乳歯齲蝕が小児の心身に与える影響を説明できる。 LS：講義・スライド・プリント E-3-1)-3, 〃-3-3)-(1)-1,2,9,13, E-4-2)-2,3 必-6-c-a, 必-14-B-a, 総-(IV)-4-C,D	宮沢裕夫 前田隆秀
5月18日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の齲蝕治療 小児の歯冠修復 小児の歯内療法	準備学習項目：小児の歯冠修復および歯内療法を理解する。 ・ 歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 ・ 乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 ・ 乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 ・ 乳歯の根管治療が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (E-4-2)-4,5, E-3-3)-(2)-1 各-III-(1)-1-A~D	前田隆秀
5月25日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の齲蝕治療 小児の歯冠修復 小児の歯内療法	準備学習項目：小児の歯内療法を理解する。 ・ 歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 ・ 乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 ・ 乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 ・ 乳歯の根管治療が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント E-4-2)-4,5,6 各-III-(1)-4-A 各-III-(II)-1-A~D	同上
6月1日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の歯周疾患と軟組織疾患 特異な歯周疾患	準備学習項目：小児の歯周疾患を理解する。 ・ 小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。 ・ 不潔性歯肉炎が説明できる。 ・ 思春期前歯周炎が説明できる。 ・ 若年性歯周炎が説明できる。 ・ 小児期の粘膜疾患とその治療法が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント E-3-1)-5, E-3-2)-4 必-6-c-d, 各-III-(III)-1-A,B	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月8日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の顎口腔疾患 小児期の外科処置 1) 小帯の切除 2) 嚢胞の摘出	準備学習項目: 小児期の外科処置について理解する。 ・小児の顎口腔疾患の種類が説明できる。 ・上唇、下唇小帯の切除術の適応と術式を理解し説明できる。 ・嚢胞の摘出とその術式を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-2-4)-(4)-1,2 各 -IV-(1)-1-G, 各 -IV-(1)-4-A,C	同上
6月15日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の局所麻酔 小児の抜歯 薬物療法 1) 小児の薬物代謝 2) 小児薬用量の算出法	準備学習項目: 小児期の局所麻酔および抜歯について理解する。 ・小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。 ・乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。 ・薬物の吸収から排泄にいたる動態を簡便に述べ理解し説明できる。 ・小児薬用量の算出法を理解し説明できる。 ・胎児への副作用と小児自身の副作用を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-1-3)-(1),(3), E-1-4)-1,3 必 -15-J-a, 総 -(X)-6-A, 総 -(X)-9-G	同上
6月22日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	準備学習項目: 小児の歯の外傷を理解する。 ・乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 ・乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 ・乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 ・乳歯・永久歯の脱臼に対しての処置が説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-2-4)-(2)-2,3, E-4-2)-7 各 -II-4-A~D	同上
6月29日(金) 3時間 9:00～11:50	咬合誘導 歯列・咬合の診察と分析 咬合誘導法  小児の顎関節症 小児歯科診療システム 医療面接 医療連携 口腔管理計画(診療計画) 1) 小児の口腔健康管理 2) 診査と診断 3) 集団を対象とする歯科保健	準備学習項目: 小児期の咬合誘導と顎関節症を理解する。 ・永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 ・咬合誘導の理念が理解して説明できる。 ・外科科咬合誘導の症例をとおしてその適応と術式を説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント ・小児の顎関節症の分類と病態像ならびに治療法が説明できる。 ・小児歯科診療システムを診査項目ならびに齶蝕活動性、咀嚼機能等から口腔管理計画の立案の考え方を理解し説明できる。 ・1歳6ヶ月、3歳児歯科健康診査ならびに学校歯科保健を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-4-2)-8,9 各 -I-3-A~D, 各 -I-5-E, 各 -II-5-A~E	同上
7月6日(金) 3時間 9:00～11:50	心身障害児の歯科医療	準備学習項目: 心身障害児の歯科医療について理解する。 ・心身障害児の種類とその病態を説明できる。 ・心身障害児の歯科治療の特徴が説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント E-4-4)-1,2 総 -(VIII)-3-A~D	同上
7月13日(金) 3時間 9:00～11:50	小児歯科と遺伝疾患 遺伝性疾患の成り立ち 小児の口腔奇形と先天奇形症候群 1) 顔貌の異常と先天奇形 2) 口蓋裂と先天奇形 3) 口腔軟組織の異常と先天奇形 4) 歯の異常と先天奇形	準備学習項目: 遺伝性疾患について理解する。 ・遺伝性疾患の成因を説明できる。 ・頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・口腔軟組織の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。 LS: 講義・スライド・プリント E-2-4)-(1)-1 各 -II-(I)-1-A~AB, 各 -IV-(1)-1-A, 各 -IV-(IV)-1-A~V	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月20日(金) 3時間 9:00 ~ 11:50	小児歯科治療時に留意すべき小児疾患	<p>準備学習項目：小児歯科治療時に留意すべき疾患について理解する。</p> <p>全身疾患を有する患児の歯科治療</p> <p>1) 先天性心疾患を有する小児の歯科治療</p> <p>2) 免疫不全症を有する小児の歯科治療</p> <p>・感染性心内膜炎を併発しやすい先天性心疾患患児の歯科治療の重要性を理解し説明できる。</p> <p>・顆粒球減少症に代表される疾患を有する患児の歯科治療を理解し説明できる。</p> <p>3) 出血傾向を有する患児の歯科治療</p> <p>4) 易ショックを起こす患児の歯科治療</p> <p>・血友病、血小板減少性紫斑病などの出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。</p> <p>・内分泌疾患を有し易ショック性が疑われる患児の解説と歯科治療を説明できる。</p> <p>LS：講義・スライド・プリント</p> <p>E-2-4)-(9)-2,3,5,6,8,9</p> <p>総-(VIII)-6-A,B,C, 各 -II-(I)-3-A~AN, 各 -IV-(I)-6-A~AM</p>	同上

## 社会口腔保健学実習（社会歯科医学 2 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学） ユニット責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	衛生・公衆衛生学、予防歯科学、で学んだ知識を臨床の場で、また地域社会の場で実践できるための基礎知識を身につける。実習形態として「必須課題」と「選択課題」がある。「必須課題」については、個人及び地域住民の予防管理を進める考え方、基本技術を総合的に、体系的に習得するための課題が用意されている。「選択課題」としては、小班単位で、課題の選択から始まり、研究方法、調査実験の実施、結果のまとめ・考察、発表までを行う。国民の健康を増進するための高い倫理観を持ち、可能な限り現場での体験を元に具体的な課題を発見し、自らその解決方法を探り提案できることが要求される。
授業担当者	那須郁夫、後藤田宏也、有川量崇、田口千恵子、 秋月照彦、 生田明敏、 岩城倫弘、 佐藤誠司、 新保秀樹、 深井穂博、 松原清吾
教科書	新予防歯科学（医歯薬出版）、口腔保健マニュアル（南山堂）
参考図書	フッ素洗口の手引き（新潟県） 小学校歯の保健指導の手引き（東山書房）、実践予防歯科（医歯薬出版） Primary Preventive Dentistry: 6th Edi.、スタンダード衛生・公衆衛生（学建書院）、口腔保健学（医歯薬出版）、国民衛生の動向（厚生統計協会）、わかりやすいフッ素の応用とひろめかた（学建書院）
実習器材	予防歯科管理セット（デンタルミラー、歯科用探針、WHO/CPI プローブ、う蝕リスク診断キット等）
評価方法 (EV)	レポートおよび提出物の評価（50%）、実習態度（10%）、筆記試験（40%）によって評価点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科疾患の予防を効果的に進めるには、病気で苦しむ患者を目の前にして対処するばかりでなく、川の上流に向かうよう (Going upstream) に、原因を元から絶つ対策が最重要であることを知って欲しい。予防歯科の基本コンセプトは、住民の優先性 (Consumer Sovereignty)、第一予防 (Primary Prevention) の重要性、実践としての社会的支援活動 (Health Promotion) であることを、常に反芻し確認すること。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	オリエンテーション  ----- [ 選択課題 ]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室  実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。  ・担当教員の紹介 ・実習班の編成  ----- ・課題選択の検討  A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	那須郁夫 有川量崇 秋月照彦 岩城倫弘 新保秀樹 松原清吾  後藤田宏也 田口千恵子 生田明敏 佐藤誠司 深井穂博
4 月 17 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	[ 必須課題 ]  ・う蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 : う蝕  ----- [ 選択課題 ]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室  ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。  ----- ・自主活動  A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
4 月 24 日 (火) 3 時間 14:00 ~ 16:50	[ 必須課題 ]  ・う蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 : う蝕  ----- [ 選択課題 ]	【実習】第 1 実習室、第 4 実習室  ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。  ----- ・自主活動  A- 6 , B-1,-2,-3 ,E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月1日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・集団歯科検診法 : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患(CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
5月8日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・集団歯科検診法 : 歯周疾患 ・歯口清掃法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患(CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
5月15日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
5月22日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
5月29日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
6月5日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・う蝕予防法 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、間食回数調査 ・シーラント ・施設単位フッ化物洗口法・フロリデーション ・各自持参の飲料水、茶などのFイオン濃度測定 ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月12日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】第1実習室 ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
6月19日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】第1実習室 ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
6月26日(火) 3時間 14:00～16:50	[必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	【実習】第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。  ----- ・自主活動  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
7月3日(火) 3時間 14:00～16:50	【選択課題】	【実習】302教室 課題の発表と討論  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
7月10日(火) 3時間 14:00～16:50	[選択課題]	【実習】302教室 課題の発表と討論  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上
7月17日(火) 3時間 14:00～16:50	試験 地域歯科保健活動又は国際保健活動	筆記試験 地域歯科保健又は国際保健活動事例報告  A-6, B-1,-2,-3, E-1-6) 必-3, 総-( ), 各-	同上

## 予防歯科学（社会歯科医学 2 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学） ユニット責任者：後藤田 宏也（公衆予防歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	歯科医療を予防の時代に押し上げる意義を理解する。そのためには二つの力、疫学データと政策的智慧が必要である。疫学と基礎医学の根拠に基づいた医療（EBM）の実践を目指し、口腔疾患の実態、予防と健康管理の重要性を理解する。また実習では衛生・公衆衛生学、予防歯科学、で学んだ知識を臨床の場で、また地域社会の場で実践できるための基礎知識を身につける。
授業担当者	那須郁夫、後藤田宏也、有川量崇、田口千恵子、 秋月照彦、 生田明敏、 岩城倫弘、 佐藤誠司、 新保秀樹、 深井穂博、 松原清吾
教科書	新予防歯科学（医歯薬出版）、口腔保健マニュアル（南山堂）
参考図書	フッ素洗口の手引き（新潟県） 小学校歯の保健指導の手引き（東山書房） 実践予防歯科（医歯薬出版） Primary Preventive Dentistry: 6th Edi.、スタンダード衛生・公衆衛生（学建書院） 口腔保健学（医歯薬出版）、国民衛生の動向（厚生統計協会）、わかりやすいフッ素の応用とひろめかた（学研書院）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：中間試験（50%）と定期試験（50%）によって評価点とする。中間試験の結果に応じて補講などの措置を講じることがある。再試験の範囲は中間試験と定期試験の総合した範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科疾患の予防を効果的に進めるには、病気で苦しむ患者を目の前にして対処するばかりでなく、川の上流に向かうよう（Going upstream）に、原因を元から絶つ対策が最重要であることを知って欲しい。予防歯科の基本コンセプトは、住民の優先性（Consumer Soverienty）、第一予防（Primary Prevention）の重要性、実践としての社会的支援活動（Health Promotion）であることを、常に反芻し確認すること。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 10 日（火） 1 時間 11:00 ~ 11:50	歯科疾患の特徴と予防の重要性 (1)	<p>【準備学習項目】 歯科疾患の特徴について概説できる。</p> <p>【講義】302 教室 歯科疾患の特徴と予防の重要性を説明できる。 1. 歯科疾患の特徴 2. 歯科疾患と全身の健康 3. 予防のレベル 4. 歯科医師の倫理と責務</p> <p>B-3-1), B -3-2) 必-1 ~ 3, 総-( )-1, 各-</p>	後藤田宏也 松原清吾
4 月 10 日（火） 1 時間 13:00 ~ 13:50	歯科疾患の特徴と予防の重要性 (2)	<p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【講義】302 教室 歯科疾患の特徴と予防の重要性を説明できる。 1. 歯科疾患の特徴 2. 歯科疾患と全身の健康 3. 予防のレベル 4. 歯科医師の倫理と責務</p> <p>B-3-1), B -3-2) 必-1 ~ 3, 総-( )-1, 各-</p>	同上
4 月 17 日（火） 1 時間 11:00 ~ 11:50	臨床予防歯科  「う蝕の予防管理 (1)」	<p>【準備学習項目】 う蝕の定義について概説できる。</p> <p>【講義】302 教室 う蝕の定義、病因論、発生要因を説明できる。 1. う蝕の定義 2. う蝕の病因論 3. う蝕の発生要因</p> <p>B-3-2) 各- - 1</p>	松原清吾 後藤田宏也 田口千恵子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月17日(火) 1時間 13:00 ~ 13:50	臨床予防歯科 「う蝕の予防管理 (2)」	【準備学習項目】 う蝕のリスク診断法について概説できる。  【講義】302 教室 う蝕のリスク診断法を説明できる。 1. 種々のう蝕リスク診断法とその特徴 1) 歯、宿主要因に関するリスク診断 2) 微生物要因に関するリスク診断 3) 飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断  B-3-2) 各 - - 1	同上
4月24日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	臨床予防歯科 「う蝕の予防管理 (3)」	【準備学習項目】 う蝕予防管理について概説できる。  【講義】302 教室 う蝕予防管理の進め方を具体的に説明できる。 1. 定期リコールの重要性、リコール間隔の決め方 2. 患者教育の基本 3. フッ化物、甘味制限、シーラント応用法  B-3-1) 各 - - 1	同上
4月24日(火) 1時間 13:00 ~ 13:50	フッ化物の利用 「フッ素とは、フッ化物とは」	【準備学習項目】 フッ素について概説できる。  【講義】302 教室 フッ素とは、フッ化物とは何かを説明できる。 1. フッ素と、自然界におけるフッ化物の分布 2. フロリデーシヨンの由来 3. フッ化物の代謝 4. 適正フッ化物摂取量と中毒量 5. 安全なフッ化物利用のための留意点  B-3-2) 各 - - 1, 必 - 3	同上
5月1日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	フッ化物の利用 「種々のフッ化物応用法」	【準備学習項目】 フッ化物利用法について概説できる。  【講義】302 教室 種々のフッ化物利用法を説明できる。 1. 全身の利用法 1) 水道のフロリデーシヨン 2) 食塩のフロリデーシヨン 3) フッ化物錠剤 2. 局所利用法 1) フッ化物配合歯磨剤 2) フッ化物洗口 3) フッ化物歯面塗布 3. フッ化物によるう蝕予防のメカニズム  B-3-2) 各 - - 1, 必 - 3	同上
5月1日(火) 1時間 13:00 ~ 13:50	フッ化物の利用 「フッ化物利用の推奨」	【準備学習項目】 フッ化物利用の普及状況について概説できる。  【講義】302 教室 フッ化物利用に関する世界専門機関による推奨の動きを説明できる。また、国内外におけるフッ化物利用の普及状況を説明できる。 1. 国内外の医学保健専門機関による推奨 2. 国内外における、フッ化物利用の普及状況  B-3-2) 各 - - 1, 必 - 3	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月8日(火) 1時間 11:00～11:50	地域における保健政策の決定と住民参加	<p>【準備学習項目】 フロリデーションについて概説できる。</p> <p>【講義】302教室 公衆歯科保健活動を進めて行く際、住民の心配や意見をどのように取り入れ、地域の合意をどのように形成してゆくべきかについて、自分の意見を述べる事ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フロリデーションに対する反対論の事例とその解説</li> <li>2. 正しい科学、医師の倫理と言論の自由</li> <li>3. 公衆衛生施策を採用する際に必要な地域意思決定の手続</li> </ol> <p>B-3-2) 各 - -1, 必 -3</p>	同上
5月8日(火) 1時間 13:00～13:50	歯、口腔の発育発達と機能	<p>【準備学習項目】 歯、口腔の発育発達と機能について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 歯、口腔の発育発達と機能を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯、口腔の形成と発育発達</li> <li>2. 歯、口腔の形成異常</li> <li>3. 歯、口腔の機能</li> <li>4. 口腔領域の加齢変化</li> <li>5. 嚥下機能実習</li> </ol> <p>B-3-2) 総-( ), 各 -</p>	同上
5月15日(火) 1時間 11:00～11:50	臨床予防歯科 「歯周疾患の予防管理 (1)」	<p>【準備学習項目】 歯周疾患の定義について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周疾患の定義、特徴と分類を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周疾患の定義</li> <li>2. 歯周疾患の特徴</li> <li>3. 歯周疾患の分類</li> </ol> <p>歯周疾患の病因を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細菌叢</li> <li>2. 免疫応答と炎症反応</li> <li>3. 環境因子</li> </ol> <p>B-3-2) 各 - -2</p>	那須郁夫
5月15日(火) 1時間 13:00～13:50	臨床予防歯科 「歯周疾患の予防管理 (2)」	<p>【準備学習項目】 歯周疾患の予防管理について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周疾患の予防管理の具体的進め方を説明できる( )。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期リコールの重要性、リコール間隔の決め方</li> <li>2. 患者教育の基本</li> <li>3. 全身要因の除去</li> <li>4. ブラーク・コントロール</li> </ol> <p>B-3-2) 各 - -2</p>	同上
5月22日(火) 1時間 11:00～11:50	臨床予防歯科 「歯周疾患の予防管理 (3)」	<p>【準備学習項目】 歯石除去法と咬合管理について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 歯周疾患の予防管理の具体的進め方を説明できる( )。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯石除去法</li> <li>2. 咬合管理</li> <li>3. 禁煙指導</li> <li>4. 歯周疾患リスク評価法</li> </ol> <p>B-3-2) 各 - -2</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月22日(火) 1時間 13:00～13:50	集団歯科診査	<p>【準備学習項目】 集団歯科診査について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 集団歯科診査の進め方を説明できる。 1. 集団診査の基本 2. 健康管理型集団診査(スクリーニング) 3. 調査研究型集団診査</p> <p>B-4-1) 総-( )-1</p>	有川量崇
5月29日(火) 1時間 11:00～11:50	中間試験	前回までの講義の授業項目を対象とする	那須郁夫 後藤田宏也
5月29日(火) 1時間 13:00～13:50	歯科疾患の疫学 「歯科疾患の数量化」	<p>【準備学習項目】 歯科疾患の数量化について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 歯科疾患の数量化法を説明できる。 1. 疾病数量化の基本概念 2. う蝕の数量化 3. 歯周疾患の数量化 4. 口腔清掃度の数量化</p> <p>B-4-1) 総-( )-10</p>	後藤田宏也
6月5日(火) 1時間 11:00～11:50	歯科疾患の疫学 「喪失歯の疫学」 「う蝕の疫学」 「歯周疾患の疫学」 (国民の歯科保健の状況を含む)	<p>【準備学習項目】 喪失歯の実態について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 喪失歯、う蝕、歯周疾患の実態を説明できる。 1. 歯の喪失の実態 2. 歯の喪失の原因 3. う蝕の疫学的特性 4. う蝕の有病状況 5. 根面う蝕の状況 6. 歯周疾患の疫学的特性 7. 歯周疾患の有病状況</p> <p>B-4-1) 総-( )-10</p>	那須郁夫
6月5日(火) 1時間 13:00～13:50	歯科疾患の疫学 「喪失歯の疫学」 「う蝕の疫学」 「歯周疾患の疫学」 (国民の歯科保健の状況を含む)	<p>【準備学習項目】 う蝕の実態について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 喪失歯、う蝕、歯周疾患の実態を説明できる。 1. 歯の喪失の実態 2. 歯の喪失の原因 3. う蝕の疫学的特性 4. う蝕の有病状況 5. 根面う蝕の状況 6. 歯周疾患の疫学的特性 7. 歯周疾患の有病状況</p> <p>B-4-1) 総-( )-10</p>	同上
6月12日(火) 1時間 11:00～11:50	歯科疾患の疫学 「喪失歯の疫学」 「う蝕の疫学」 「歯周疾患の疫学」 (国民の歯科保健の状況を含む)	<p>【準備学習項目】 歯周疾患の実態について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 喪失歯、う蝕、歯周疾患の実態を説明できる。 1. 歯の喪失の実態 2. 歯の喪失の原因 3. う蝕の疫学的特性 4. う蝕の有病状況 5. 根面う蝕の状況 6. 歯周疾患の疫学的特性 7. 歯周疾患の有病状況</p> <p>B-4-1) 総-( )-10</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月12日(火) 1時間 13:00～13:50	公衆歯科保健活動 「わが国の公衆歯科保健の歩み」	<p>【準備学習項目】 公衆歯科保健活動について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 わが国における公衆歯科保健活動の歩みを概説できる。 1. 公衆歯科保健活動の歩み 2. セルフケア、コミュニティーケア、プロフェッショナルケア 3. 健康日本21と口腔保健</p> <p>B-3-1) 必-3, 総-( )</p>	後藤田宏也
6月19日(火) 1時間 11:00～11:50	公衆歯科保健活動 「母子歯科保健」	<p>【準備学習項目】 母子歯科保健について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 母子を対象とした、集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を説明できる。 1. 母子保健とは 2. 母子保健活動の実際 1) 妊産婦の歯科保健 2) 乳幼児の歯科保健 3) 母子保健手帳 3. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題</p> <p>B-3-2) 必-3, 総-( )-2</p>	同上
6月19日(火) 1時間 13:00～13:50	公衆歯科保健活動 「産業歯科保健」	<p>【準備学習項目】 産業歯科保健について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 労働者を対象とした、集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を説明できる。 1. 産業歯科保健の意義 2. 産業歯科保健に関する制度 3. 口腔領域の現れる職業性疾患 4. 事業所における歯科保健管理</p> <p>B-3-2) 必-3, 総-( )-4</p>	新保秀樹
6月26日(火) 1時間 11:00～11:50	公衆歯科保健活動 「学校歯科保健」	<p>【準備学習項目】 学校歯科保健について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 園児、児童・生徒、学生及び教職員を対象とした、集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を説明できる。 1. 学校歯科保健とは 2. 学校歯科医 3. 学校歯科保健活動 4. 学校教育法および学校保健安全法 5. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題</p> <p>B-3-2) 必-3, 総-( )-3</p>	有川量崇
6月26日(火) 1時間 13:00～13:50	公衆歯科保健活動 「学校歯科保健の実際」	<p>【準備学習項目】 う蝕予防について概説できる。</p> <p>【講義】302教室 ・フッ化物洗口とシーラント併用によるう蝕予防最大効果の実践例を説明できる。 ・効果的なブラッシング指導(視覚媒体などの活用例)を説明できる。</p> <p>B-3-2) 必-3, 総-( )-3</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月3日(火) 1時間 11:00～11:50	公衆歯科保健活動 「地域歯科保健活動(1)」	【準備学習項目】 地域歯科保健について概説できる。  【講義】302教室 地域歯科保健とヘルスプロモーションについて説明できる。 1. 地域保健法と地域保健体制 2. 健康増進法と健康増進計画 3. 地域歯科保健の歩み  B-3-2) 必-3, 総-( )-1～8	同上
7月3日(火) 1時間 13:00～13:50	公衆歯科保健活動 「地域歯科保健活動(2)」	【準備学習項目】 8020運動について概説できる。  【講義】302教室 地域歯科保健と8020運動について説明できる。 1. 8020運動 2. 健康危機管理 3. 都道府県、地方自治体の歯科保健  B-3-2) 必-3, 総-( )-1～8	同上
7月10日(火) 1時間 11:00～11:50	公衆歯科保健活動 「成人・高齢者歯科保健」	【準備学習項目】 成人・高齢者歯科保健について概説できる。  【講義】302教室 成人、高齢者を対象とした、集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を説明できる。 1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防 5. 高齢者の歯科診療における注意点 6. 摂食嚥下障害への対処 7. 制度とニーズ把握  B-3-2) 必-3, 総-( )-5,6	那須郁夫
7月10日(火) 1時間 13:00～13:50	公衆歯科保健活動 「障害児・者歯科保健」	【準備学習項目】 障害児・者歯科保健について概説できる。  【講義】302教室 障害児・者を対象とした、集団レベルの疫学と口腔衛生管理を説明できる。 1. 障害の概念 2. 障害児・者の口腔保健の特性 3. 口腔保健管理とそれを支える特性  B-3-2) 必-3, 総-( )-8	同上
7月17日(火) 1時間 11:00～11:50	公衆歯科保健活動 「国際歯科保健」	【準備学習項目】 国際歯科保健について概説できる。  【講義】 【準備学習項目】 国際歯科保健について概説できる。  【講義】302教室 各国の口腔保健水準を説明できる。 国際協力にかかわる機関を説明できる。 開発途上国に対する支援活動のあり方を説明できる。 1. 国際保健 2. 国際協力 3. 国際保健医療協力機関 4. 世界の口腔保健状況と目標 5. 発展途上国における歯科保健協力  B-2-2) 総-( )-6	深井穂博



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月17日(火) 1時間 13:00 ~ 13:50	社会保障と歯科	<p>【準備学習項目】            歯科が関係する社会保障について概説できる。</p> <p>【講義】302 教室            歯科保健に関連する社会保障を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障の概念・定義</li> <li>2. 社会保険</li> <li>3. 国家(公的)扶助(生活保護法)</li> <li>4. 社会福祉</li> </ol> <p>B-2-2)            総-( )-4,5</p>	松原清吾      後藤田宏也

## 医療面接・歯科臨床判断学（診療の基本 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科の common disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。
授業担当者	伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，遠藤弘康，青木伸一郎，岡本康裕，(歯科総合診療学)
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」藤澤盛一郎，笹原廣重編著，砂書房（第2版） その他にプリントを配布する。
参考図書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編集，クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院 「口腔診断学」下里常弘他，医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」増田 屯，藤澤盛一郎，医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」岸 英光，砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	成績評価は，定期試験(80%)，小テスト・レポート(15%) および授業態度(5%) を勘案し総合的に評価する。再試験の範囲はすべての範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	医療の本質は不確実性にあるといわれており，この問題に対処する方法として，本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネージメントが奏功できるように，臨床各科の知識を頭の中で整理統合し，再編成できる考える力を育てる学問であり，臨床において患者に対応する際に即役立つことなので，興味を抱いて講義に参加して欲しい。E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	【準備学習項目】 ・医療者としてふさわしい態度について説明できる。 【講義】 ・期待される医師の態度を説明できる。 ・口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 ・総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必-2-B > 教室：302 教室	伊藤孝訓
4月12日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	臨床判断学(1) 1) 診断論理 2) 医学判断学 3) 問題発見・解決法 4) 診断プロセス	【準備学習項目】 ・基本的な問題解決法について説明できる。 【講義】 ・臨床情報には不確実性要素を含み，不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 ・基本的な診断論理を説明できる。 ・意思決定の方法について説明できる。 ・診断プロセス(診断情報の収集・分析・決定)について列挙し説明できる。 ・医学判断学について説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必-12-A, 必-12-B > 教室：302 教室	伊藤孝訓
4月19日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	臨床判断学(2) 1) EBM 2) 決断分析の実際	【準備学習項目】 ・EBMについて説明できる。 【講義】 ・診断テストを使うことができる。 ・EBMの背景を概説できる。 ・EBMの概念を説明できる。 ・臨床判断分析の手順を説明できる。 ・Decision tree による実際例を説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-4), C-4-1)/ 必-12-A, 必-12-B > 教室：302 教室	内田貴之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月26日(木) 1時間 9:00～9:50	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最小化	【準備学習項目】 ・医療過誤について説明できる。 【講義】 ・経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 ・臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 ・診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 ・ヒューマンエラーについて説明できる。 ・歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 ・クリティカルパスについて説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < A-5-2)/必-4-B,必-4-D > 教室:302教室	伊藤孝訓
5月10日(木) 1時間 9:00～9:50	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	【準備学習項目】 ・歯科患者の心理状態について説明できる。 【講義】 ・歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 ・患者対応時の注意点を列挙できる。 ・患者の望む治療者(歯科医師)の人間像を説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < B-2-2)/必-2-B,必-10-I > 教室:302教室	多田充裕
5月17日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(1) 1) 患者本位の治療 2) コミュニケーション 3) OSCE	【準備学習項目】 ・患者の医療に対する希望を説明できる。 【講義】 ・患者の権利と義務について説明できる。 ・患者本位(中心)の医療を説明できる。 ・インフォームドコンセントの医療現場における実践を説明できる。 ・コミュニケーションの重要性を説明できる。 ・患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 ・OSCEの目的,意義,実施方法を概説できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < A1～4,B-2-1)～2)/必-1-B,必-8-A,必-8-B > 教室:302教室	伊藤孝訓
5月24日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(2) 1) 医療面接スキルの4要素 2) 歯科医療面接	【準備学習項目】 ・医療面接の目的について説明できる。 【講義】 ・医療面接の4要素(尋ねる,聴く,答える,観察する)について説明できる。 ・望ましい基本的態度を説明できる。 ・コミュニケーションスキルを列挙し説明できる。 ・非言語的コミュニケーションを説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < A-4,B-2-1)～2)/必-8-B > 教室:302教室	青木伸一郎
5月31日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(3) 1) ロールプレイ 2) 会話分析(トランスクリプト)	【準備学習項目】 ・コミュニケーションスキルについて説明できる。 【講義】 ・信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 ・ロールプレイの目的や方法を説明できる。 ・トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < A-4,B-2-1)～2)/必-8-B,必-10-A > 教室:302教室	青木伸一郎
6月7日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(4) 1) メディカルコーチング 2) 患者教育	【準備学習項目】 ・コーチングについて説明できる。 【講義】 ・メディカルコーチングを説明できる。 ・聴く態度の重要性を説明できる。 ・効果的な説明の仕方を説明できる。 ・患者教育の重要性を説明できる。 ・患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 LS:教科書,プリント,マルチメディアによる講義 < A-4,B-2-1)～2)/必-8-B,必-10-A > 教室:302教室	内田貴之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月14日(木) 1時間 9:00～9:50	診療録(1) 1) 診療録の構成 2) 現症(全身の所見) 3) 現症(口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 生活像 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往歴 9) 家族歴	【準備学習項目】 ・ 診療録に記載する内容について説明できる。 【講義】 ・ 診療録の構成を列挙できる。 ・ 現症の基本的な記載について説明できる。 ・ 口腔内診査の項目を列挙できる。 ・ 患者プロフィールの重要性を説明できる。 ・ 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 ・ 現病歴の基本的な記載について説明できる。 ・ 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 ・ 家族歴の重要性を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A, 必-8-C, 必-10-B > 教室: 302 教室	岡本康裕
6月21日(木) 1時間 9:00～9:50	診療録(2) 1) POS 2) POMR	【準備学習項目】 ・ 問題指向型診療録(POMR)について説明できる。 【講義】 ・ POSについて解説できる。 ・ POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 ・ 診断思考に基づいた問診(病歴聴取)を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A,B > 教室: 302 教室	岡本康裕
6月28日(木) 1時間 9:00～9:50	診 察(1) 1) 口腔内診査 2) 診査で何を診るか 3) 理学的診査と病態	【準備学習項目】 ・ 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【講義】 ・ 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 ・ 口腔内診査の特性について説明できる。 ・ 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明し, 各評価基準を列挙できる。 ・ 診査所見と病態の関連が説明できる。 歯の実質欠損 擦過診 温度診 電気診 水平・垂直打診 動揺度 ポケット測定等 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-10-B,C,F,G,H > 教室: 302 教室	岡本康裕
7月5日(木) 1時間 9:00～9:50	症候学(1) 1) 症状と徴候から診る歯・歯髄・歯周疾患 2) 症状と徴候から診る顎関節疾患	【準備学習項目】 ・ 齶蝕、歯髄疾患および歯周疾患について説明できる。 【講義】 ・ 齶蝕の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 歯髄疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 根尖性歯周炎の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 辺縁性歯周炎の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 顎関節症の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-2-4)-(4),F-3-3)-(1)～(4)/ 必-9-B, 必-11-D > 教室: 302 教室	遠藤弘康
7月12日(木) 1時間 9:00～9:50	症候学(2) 3) 症状と徴候から診る歯科心身症 4) 症状と徴候から診る嚢胞, 腫瘍, 口腔粘膜疾患 5) 症状と徴候から診る疼痛の診断	【準備学習項目】 ・ 疼痛の臨床的特徴を説明できる。 【講義】 ・ 心身症症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 顎口腔領域の軟組織・嚢胞・腫瘍疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 口腔粘膜疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 腫瘍の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 口腔疾患の痛みの臨床的特徴を説明する。 ・ 痛みの臨床分類と症状表現について説明する。 ・ 痛みの診断手順を説明する。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必-9-B, > 教室: 302 教室	遠藤弘康

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月19日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	症候学(3) まとめ	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科疾患の症状, 診査所見, 病態を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診断における思考過程について説明できる。</li> <li>・ 診断するために必要な情報について説明できる。</li> <li>・ 症状、診査所見から診断名を推論できる。</li> </ul> <p>LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 &lt; D-4-6), F-2-4)-(3), F-4-5) / 必 -9-B, &gt;</p> <p>教室: 302 教室</p>	多田充裕

## 口腔外科学（診療の基本 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：秋元 芳明（口腔外科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	日常の口腔外科臨床に直結する頭頸部の診察法、抜歯・顎顔面領域の損傷の診断法、治療法、予後および歯肉粘膜の切開・縫合法について理解する。
授業担当者	口腔外科学：秋元芳明、西村 均、田中茂男、*林 裕、*渡部正吾、*柴田朝美、*内堀健二、*田所英之、*中山桂二、*石井達郎、*中野裕理、*小俣裕昭 顎顔面外科学：近藤壽郎、神野良一、伊藤 耕、藤本陽子、武田祥人、*岩寄 修、*秋葉正一、*坂田勝之、*樋口和夫、*湊 耕一、*出口 晃、*酒巻裕之、*釜崎直人、*菅谷和之、*村井正彦、*斎藤謹子、*田中文丸、*泉 竜爾、*牧野貴文、*野上俊雄、*戸邊真季子 頭頸部外科学：牧山康秀、丹羽秀夫
教科書	口腔外科学第4版（泉廣次編集、学研書院） 口腔外科学実習書（日本大学松戸歯学部口腔外科学講座編）
参考図書	最新口腔外科学（塩田重利等監修、医歯薬出版） 口腔顎顔面疾患カラーアトラス（道健一監修、末永書店） 図説口腔外科手術学（大谷隆俊等編集、医歯薬出版） 顎口腔外科診断治療大系（内田安信等編集、講談社）
実習器材	模型、フック付Oシーネ2本、顎間固定用歯牙結紮線。
評価方法 (EV)	成績評価は平常試験（50%）、実習製作物・口答試験（50%）、さらに授業・実習態度（出席状況も含む）等を加味し、総合的に判断し、最終評価とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	日常の口腔外科臨床に直結する頭頸部の診察法、抜歯・顎顔面領域の損傷の診断法、治療法、予後および歯肉粘膜の切開・縫合法について理解し、基本的知識、技量を修得することは、オスキーおよび臨床実習に備え重要なことである。予習、復習を十分に行い、知識、技量の修得をしていただきたい。6月7日（10:00-10:50）は平常試験とし、筆記形式の試験を行います。講義、平常試験および実習オリエンテーションは302教室にて行います。実習は第4実習室にて行います。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(木) 2時間 10:00～11:50	講義1： 局所麻酔 浸潤麻酔法 伝達麻酔法	【準備学習項目】 局所麻酔法である浸潤麻酔法、伝達麻酔法について説明できる。 【講義】 局所麻酔法の対象である三叉神経 枝、枝の走行を理解し、局所麻酔法の種類、手技を概説できる。さらに、局所麻酔薬、血管収縮薬の種類、特徴を説明できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-3)-(3)- 必 -14-J-a 総 - ( )-8-A	西村均
4月12日(木) 2時間 10:00～11:50	講義2： 抜歯学 抜歯一般 単純抜歯	【準備学習項目】 抜歯法について説明できる。 【講義】 抜歯を行う上での適応症、禁忌症、術中術後に発症する偶発症を理解し、概説できる。 単純抜歯に用いられる器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-4)- 必 -14-M-a	同上
4月19日(木) 2時間 10:00～11:50	講義3： 抜歯学 複雑抜歯 埋伏歯の抜歯 切開・縫合法	【準備学習項目】 抜歯法および切開・縫合法について説明できる。 【講義】 複雑抜歯の定義および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。 埋伏歯の定義、一般的所見および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。さらに、継発症を説明できる。 切開法および縫合法の基礎を理解し、その術式を述べることが出来る。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-4)- F-1-4)- 必 -14-M-a 総 - ( )-7	西村均 石井達郎

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者	
4月26日(木) 2時間 10:00～11:50	講義4: 顎・口腔の損傷 損傷総論 歯の外傷	【準備学習項目】 損傷の総論および歯の外傷について説明できる。 【講義】 損傷の原因、分類、症状、創傷の治癒過程を理解した上で治療方針および後遺症について概説できる。 歯の外傷の特徴、分類、臨床症状を理解し、診断および治療方針を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 総-( )-1-D 総-( )-2-H 各-( )-1 各-( )-5-A,C	田中茂男	
5月10日(木) 2時間 10:00～11:50	講義5: 顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折1	【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。 【講義】 顎顔面骨折の分類、原因、頻度、全身の合併症および好発部位を理解し、概説できる。 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-2 各-( )-5-D,G	同上	
5月17日(木) 2時間 10:00～11:50	講義6: 顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折2	【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。 【講義】 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 顎顔面骨折の診断法を理解し、症例に応じた診断法および治療法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-2 各-( )-5-D,G	同上	
5月24日(木) 2時間 10:00～11:50	講義7: 顎・口腔の損傷 顔面・口腔軟組織の損傷	【準備学習項目】 顔面・口腔軟組織の損傷について説明できる。 【講義】 顔面・口腔軟組織損傷の特徴、症状、診断法を理解し、治療法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-3 各-( )-5-E	同上	
5月31日(木) 2時間 10:00～11:50	講義8: 頭頸部の診察  実習オリエンテーション	【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。 【講義】 頭頸部の診察は、顔面、頭部、耳、眼、鼻腔、口腔、頸部の部位に視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行われ、診察の意義、目的を理解し、診断を行う上での適切な診察法を述べるができる。 F-1-1) 実習オリエンテーション 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。	牧山康秀 秋元芳明 西村均 顎顔面外科学	丹羽秀夫 近藤壽郎 口腔外科学
6月7日(木) 2時間 10:00～11:50	平常試験 実習オリエンテーション	筆記試験 実習オリエンテーション 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。	西村均 秋元芳明 口腔外科学 顎顔面外科学	田中茂男 近藤壽郎
6月14日(木) 2時間 10:00～11:50	実習1: 頭頸部の診察  単純拔牙 1.単純拔牙に必要な器具器材	【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。 【実習】 頭頸部の診察は、顔面、頭部、耳、眼、鼻腔、口腔、頸部の部位に視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行われ、診察の意義、目的を理解し、診断および治療を行うために必要な技能、態度を習得する。 第4実習室にて相互に実習を行う。 単純拔牙に必要な器具器材について説明できる。 単純拔牙に必要な器具、器材の名称と使用方法を理解し、各歯の拔牙に必要な器具器材を選択、準備することができる。 第4実習室にて単純拔牙に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-1-1) F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総-( )-1-D 総-( )-7-A-c,d 総-( )-8-A	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学	近藤壽郎 口腔外科学

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月21日(木) 2時間 10:00～11:50	実習2: 単純拔牙 2.単純拔牙の手順(術式)	【準備学習項目】 単純拔牙の手順・術式について説明できる。 【実習】 患者の対応、手指・術野の消毒、局所麻酔法、単純拔牙の基本術式を理解し、滅菌手袋の装着、マネキンおよび顎模型上で局所麻酔法、単純拔牙の手技を習得する。 第4実習室にて単純拔牙に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総 - -( )-1-D 総 - -( )-7-A-c,d 総 - -( )-8-A	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学 近藤壽郎 口腔外科学
6月28日(木) 2時間 10:00～11:50	実習3: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 1.いわゆるバルカン法による顎内固定法 2.2歯結紮法および2歯結紮法による顎間固定法	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 歯の脱臼、小範囲の歯槽骨骨折に適應されるバルカン法の手技を習得する。 比較的簡便な顎骨固定法である2歯結紮法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-1,2 各 - -( )-5-A,C,D,G	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学 近藤壽郎 口腔外科学
7月5日(木) 2時間 10:00～11:50	実習4: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 3.フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法 フック付Oシーネの結紮固定	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 顎骨骨折治療の目的と治療法を理解し、フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学 近藤壽郎 口腔外科学
7月12日(木) 2時間 10:00～11:50	実習5: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 4.フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法 牽引整復および顎間固定	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 顎骨骨折治療の目的と治療法を理解し、フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学 近藤壽郎 口腔外科学
7月19日(木) 2時間 10:00～11:50	実習6: 切開・縫合法 1.切開・縫合に必要な器具器材 2.切開法 3.縫合法 4.抜糸(糸切り)	【準備学習項目】 切開・縫合法について説明できる。 【実習】 切開・縫合に必要な器具、器材の名称と使用方法を理解し、切開・縫合に必要な器具器材を選択、準備することができる。さらに、歯肉粘膜、皮膚の解剖学的特徴を理解し、切開・縫合法の手技を習得する。 第4実習室にて切開・縫合に必要な器具器材、オベガムシートを使用して実習を行う。 F-1-4)- 総 - -( )-7	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学 近藤壽郎 口腔外科学



## 歯科臨床検査医学（診療の基本 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：福本 雅彦（歯科臨床検査医学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	全身疾患を有する患者に適切な歯科診療を行うために必要な臨床検査の知識を習得する。
授業担当者	歯科臨床検査医学講座・福本雅彦, 歯科臨床検査医学講座・深津晶, 歯科臨床検査医学講座・續橋治, 社会歯科学講座(歯科医学教育学)・牧村正治
教科書	教科書は使用しない。基礎歯科医学で使用した教科書を参考とする。 必要に応じてプリントを配布する。
参考図書	臨床検査法提要(金井 泉著, 金原出版)
実習器材	なし
評価方法 (EV)	中間試験 40% 定期試験 40% 平常試験(講義終了後毎回試験を行う) 20%
学生への メッセージ オフィスアワー	すでに履修した生理学, 生化学, 病理学, 解剖学, などと系統立てて学習すると理解しやすい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(木) 2時間 13:00 ~ 14:50	総論 1) 臨床検査とは 2) 臨床検査の種類 3) 歯科診療と臨床検査	【準備学習】 ・生化学、生理学、栄養学、組織・解剖学、病理学を十分理解する。 【講義】 ・臨床検査医学とはどのような学問かを理解し説明できる。 ・臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 ・各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 ・歯科診療における臨床検査の重要性を理解し説明できる。 F-1-1) , , , /総 - -( )-1-A,B,C,D,E	福本雅彦
4月12日(木) 2時間 13:00 ~ 14:50	一般検査 尿検査 1) 尿検査とは 2) 尿検査の重要性 3) 採尿法 4) 尿検査の種類 5) 各尿検査項目の意義	[準備学習] ・解剖学的・組織学的な腎臓の特徴を説明できる。 ・代謝について説明できる。 [講義] ・腎臓の形態を説明できる。 ・尿について説明できる。 ・尿検査の利点欠点を説明できる。 ・尿一般検査の項目と臨床的意義について説明できる。 ・尿化学的検査の項目と臨床的意義について説明できる。 ・尿形態学的検査の項目と臨床的意義について説明できる。 ・各種尿検査から疑われる疾患を説明できる F-1-1) , , , /総 - -( )-2-A-a,b 総 - -( )-2-B-a	深津晶
4月19日(木) 2時間 13:00 ~ 14:50	糖尿病 1) 糖尿病と歯科診療	[準備学習] ・人体に必要なエネルギーについて説明できる。 ・栄養の代謝特に糖代謝について説明できる [講義] ・糖尿病の定義を説明できる。 ・膵臓の形態を説明できる。 ・インスリンの働きを説明できる。 ・糖尿病の種類と特徴を説明できる。 ・糖尿病の症状および合併症を説明できる。 ・糖尿病を調べるための検査項目を説明できる。 ・糖尿病の診断基準を説明できる。 ・糖尿病の口腔内への影響を説明できる。 F-1-3)-(1) /各 - -( )-1-C-f	同上
4月26日(木) 2時間 13:00 ~ 14:50	血液 1) 血液の組成と役割 2) 採血法 3) 試料の取り扱い	[準備学習] ・血球成分(赤血球、白血球、血小板) 血清成分の働きを説明できる。 ・静脈の位置を説明できる。 [講義] ・血液成分について理解し説明できる。 ・採血方法を説明できる。 ・採血した資料の検査目的に応じた取り扱い方法について説明できる。 D-2-3)-(11) /総 - -( )-2-A-a,b 総 - -( )-2-C-a,b,c,d	續橋治

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月10日(木) 2時間 13:00～14:50	血液疾患(1)貧血 1)貧血とは 2)貧血の分類 3)貧血の検査 4)各種貧血について 5)貧血患者の歯科診療における対応	【準備学習】 ・造血について説明できる。 ・赤血球の働きについて説明できる。 【講義】 ・貧血の定義を理解し説明できる。 ・貧血の一般症状について理解し説明できる。 ・貧血の分類を理解し説明できる。 ・貧血の検査方法を理解し説明できる。 ・代表的な貧血とその特徴を理解し説明できる。 ・貧血患者の歯科診療の対応について理解し説明できる。 F-2-4)-(7) / 各 - ( )-1-E-1-a,b,c,d	同上
5月17日(木) 2時間 13:00～14:50	血液疾患(2)出血性素因 1)出血性素因とは 2)出血性素因の分類	【準備学習】 ・血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。 【講義】 ・止血機序を説明できる。 ・血液凝固因子の種類および働き説明できる。 ・血液凝固の機序を説明できる。 ・出血性素因とは何かを説明できる。 ・出血性素因の原因を説明できる。 ・出血性素因を原因別に分類できる。 F-2-4)-(7) / 各 - ( )-1-E-3-a,b,c,d	同上
5月24日(木) 2時間 13:00～14:50	出血性素因 1)出血性素因の検査 2)出血に対する歯科診療時の対応	【準備学習】 ・血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。 【講義】 ・出血性素因を原因別に調べる検査項目および検査意義を説明できる。 ・代表的な出血性素因とその特徴を理解し説明できる。 ・出血性素因患者の歯科診療の対応について理解し説明できる。 F-2-4)-(7) / 各 - ( )-1-E-3-a,b,c,d	同上
5月31日(木) 2時間 13:00～14:50	中間試験 歯科医師国家試験に必要な検査項目とその基準値	【準備学習】 生理学・生化学で習得した基準値を述べることができる。 【講義】 ・歯科医師国家試験で使われる頻度の高い検査項目を列挙できる。 ・歯科医師国家試験で省くことができない検査項目の基準値をに述べることができる。 ・歯科医師国家試験で省くことができない検査項目の基準値の意義を説明できる。	福本雅彦 深津晶 續橋治
6月7日(木) 2時間 13:00～14:50	血液疾患(3)白血球系疾患について	【準備学習】 ・人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の働きを説明することができる。 ・人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の基準値を列挙できる。 【講義】 ・急性骨髄性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性骨髄性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・急性リンパ性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性リンパ性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・急性単球性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・急性単球性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・慢性骨髄性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・慢性骨髄性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 ・成人T細胞性白血病の臨床病態を述べることができる。 ・成人T細胞性白血病の形態学的特徴を列挙できる。 F-2-4)-(7) / 各 - ( )-1-E-2, 各 - ( )-5-K, 各 - ( )-1-F-b マルチメディア使用, 板書(プリントは配布しない)	福本雅彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月14日(木) 2時間 13:00～14:50	感染症(1) 感染症の概要と臨床検査	<b>【準備学習】</b> ・感染症の種類を列挙できる。 ・口腔領域に症状を示す感染症を挙げることができる。 <b>【講義】</b> ・感染症に関連する臨床検査項目を列挙できる。 ・各感染症に対応した臨床検査項目を理解し選択できる。 ・測定結果から感染の有無を判定することができる。 ・梅毒感染の病態を述べることができる。 ・梅毒感染の臨床検査方法を説明することができる。 ・結核感染の病態を述べることができる。 ・結核感染の臨床検査方法を説明することができる。 ・結核感染の病態を述べることができる。 F-2-4)-(7) ,F-2-4)-(2) , ,D-3-1 /必-11-C-a.d,各-( )-3-H マルチメディア,板書(プリントは配布しない)	同上
6月21日(木) 2時間 13:00～14:50	感染症(2) ウイルス性感染症について	<b>【準備学習】</b> ・歯科領域に関連の深いウイルスを列挙できる。 <b>【講義】</b> ・ウイルス性肝炎の種類を列挙できる。 ・B・C型肝炎の病態を述べることができる。 ・B・C型肝炎の臨床検査方法を説明することができる。 ・B・C型肝炎の感染防止および消毒法を述べることができる。 ・HIV感染症の病態を述べることができる。 ・HIV感染症の臨床検査方法を説明することができる。 ・HIV感染症の感染防止および消毒法を述べることができる。 ・Epstein-Barrウイルス感染症の病態を述べることができる。 ・Epstein-Barrウイルス感染症の臨床検査方法を説明することができる。 F-2-4)-(7) ,F-2-4)-(2) , ,D-3-1 /各-( )-2-A マルチメディア,板書(プリントは配布しない)	同上
6月28日(木) 2時間 13:00～14:50	肝臓(1) 1)肝臓について 2)肝機能検査の種類とその臨床的意義	<b>【準備学習】</b> ・肝臓の解剖学的、組織学的特徴を説明できる。 ・栄養の代謝を説明できる。 <b>【講義】</b> ・肝臓の形態を説明できる。 ・肝臓の働きを説明できる。 ・肝臓の酵素学的検査の種類と検査意義を説明できる。 F-1-1) , , , /総-( )-2-A,D,E 総-( )-3-C,D,E	深津晶
7月5日(木) 2時間 13:00～14:50	肝臓(2) 1)肝機能検査データの解析	<b>【準備学習】</b> ・肝臓の解剖学的、組織学的特徴を説明できる。 ・栄養の代謝を説明できる。 <b>【講義】</b> ・肝臓の酵素学的検査の種類と検査意義を説明できる。 ・肝臓の生化学的検査の種類と検査意義を説明できる。 ・各種検査から疑われる肝臓の異常を説明できる。 F-1-1) , , , /総-( )-2-A,D,E 総-( )-3-C,D,E	同上
7月12日(木) 2時間 13:00～14:50	口腔がんの検査	<b>【準備学習】</b> ・本邦における悪性腫瘍の発生状況を述べるができる。 ・腫瘍の分類を説明できる。 <b>【講義】</b> ・悪性腫瘍の発生について理解し説明できる。 ・本邦における口腔がんの発生状況を説明できる。 ・口腔がんのRisk factorを理解し説明できる。 ・口腔がんの検査法を列挙できる。 ・口腔がんの各種検査法の特徴を述べるができる。 F-2-4)-(3) /総-( )-1-K-a,b,c,d 総-( )-2-K	福本雅彦
7月19日(木) 2時間 13:00～14:50	臨床検査まとめ 臨床検査データの解析	これまでの知識を基に、患者の臨床検査データの分析を行うことができる。 上記のコアカリキュラム全ての項目を含む。	牧村正治



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月18日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 2 口腔インプラント治療の特徴(2)	【準備学習項目】 ・抜歯窩の治癒と創傷の治癒を調べる。  【講義】(302教室) ・インプラント治療の手順を説明できる。 ・インプラント埋入時期と治癒期間について説明できる。 ・咬合負荷までの治癒期間の種類と選択理由を説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A,B,C,D,E /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	同上
4月25日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 3 治療計画(検査・診断を含む)の立案	【準備学習項目】 ・エックス線撮影法、読像方法を予習する。  【講義】(302教室) ・インプラント治療に必要な診査について説明できる。 ・パノラマエックス線写真上でインプラント治療に関連する箇所を指摘できる。 ・診断用ワックスアップ、エックス線診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートの意義を説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A,B,C,D,E /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	同上
5月2日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 4 中間試験 治療(外科)(1)	【準備学習項目】 ・口腔内手術の基本事項、全身管理、創傷の治癒を調べる。  【講義】(302教室) ・インプラントの外科術式を説明できる。 ・インプラント1次手術を説明できる。 ・インプラント2次手術を説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A,B,C,D,E /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	加藤仁夫 玉木大之
5月9日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 5 治療(外科)(2)	【準備学習項目】 ・頭頸部の解剖学を学習する。特に骨学、脈管の走行について。  【講義】(302教室) ・インプラント関連外科術式の種類とその特徴を説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A,B,C,D,E /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	玉木大之
5月16日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 6 治療(補綴)	【準備学習項目】 ・補綴材料の特性、ブリッジと可撤性補綴物の作製方法を学習する。  【講義】(302教室) ・インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。 ・インプラントの補綴術式を説明できる。 ・インプラントの印象採得を説明できる。 ・インプラントの咬合と生体力学を説明できる。 ・暫間補綴物の種類と問題点を説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	村上洋
5月23日(水) 2時間 15:00～16:50	口腔インプラント学 7 メンテナンスとリコール インプラント治療における合併症	【準備学習項目】 ・歯周炎の発症原因と治療法を学習する。  【講義】(302教室) ・メンテナンス治療の必要性を説明できる。 ・メンテナンス法を説明できる。 ・リコールの時期、実施方法と評価を説明できる。 ・患者の満足度を説明できる。 ・外科処置における合併症について説明できる。 ・補綴処置における合併症について説明できる。 ・機能時における合併症について説明できる。 < E-3-4)-(3) , , , /各 -XI-1-16-A,B,C,D /各 -V-7-A,B,C,D,E,F >	加藤仁夫 井下田繁子

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月30日(水) 2時間 15:00～16:50	スポーツ・睡眠健康歯科医学 1 スポーツ・睡眠健康歯科医学 総論	【準備学習】 ・スポーツ歯学について説明できる。  【講義】(302教室) ・スポーツと顎口腔系の関わりについて説明できる。 < F-2-2)- > ・スポーツマウスガードの目的と機能を説明できる。 < F-2-4)-(1)- , > ・カスタムメイドマウスガードの作製法を説明できる。 < F-2-4)-(1)- , , >	川良美佐雄
6月6日(水) 2時間 15:00～16:50	スポーツ・睡眠健康歯科医学 2 口腔顎顔面領域のスポーツ障害	【準備学習】 ・口腔顎顔面領域のスポーツ障害を説明できる。  【講義】(302教室) ・口腔顎顔面領域のスポーツ障害の特徴と種類を説明できる。 < F-2-4)-(1)- , > ・口腔顎顔面領域のスポーツ障害の診断と治療を説明できる。 < F-2-4)-(1)- , , > ・口腔顎顔面領域のスポーツ障害の安全対策を説明できる。 < A-3- , C-1- >	浅野隆
6月13日(水) 2時間 15:00～16:50	スポーツ・睡眠健康歯科医学 3 スポーツ医・科学サポート	【準備学習】 ・スポーツ医・科学サポートについて説明できる。  【講義】(302教室) ・スポーツ医・科学サポートの概要を説明できる。 < B-1-2)- > ・ドーピング防止プログラムを説明できる。 < D-5-2)- > < D-5-3)- >	浅野隆 渡邊愛斗
6月20日(水) 2時間 15:00～16:50	スポーツ・睡眠健康歯科医学 4 いびきや睡眠時無呼吸症候群 に対する歯科の対応	【準備学習】 ・睡眠時無呼吸症候群について説明できる。  【講義】(302教室) ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の歯科の対応について説明できる。 < C-1- , , > < F-1-1)- > < F-1-3)-(1)- >	川良美佐雄 浅野隆
6月27日(水) 2時間 15:00～16:50	再生歯科治療 1 総論	【準備学習項目】 ・再生医療とは何かを説明できる。 ・再生歯科医療の現状について理解できる。  【講義】(302教室) ・再生医療の原則と現状を説明できる。 ・歯根膜細胞の生存条件について説明できる。 < C-4-2)- >	和田守康 内山敏一
7月4日(水) 2時間 15:00～16:50	再生歯科治療 2 外科歯内療法	【準備学習項目】 ・外科的歯内療法目的、意義を理解する。  【講義】(302教室) ・外科的歯内療法概念を説明できる。 ・外科的歯内療法術式を説明できる。 < E-3-3)-(2)- / 各 - -( )-2-C, 各 - -( )-4- D >	長濱文雄 西谷知子
7月11日(水) 2時間 15:00～16:50	再生歯科治療 3 再生歯科治療の臨床と展望(1)	【準備学習項目】 ・外科的歯内療法目的、意義を理解する。 ・象牙質の組織を理解する。  【講義】(302教室) ・外科的歯内療法臨床を供覧する。 < E-3-3)-(2)- / 各 - -( )-2-C, 各 - -( )-4- D > ・再生歯科治療臨床例を供覧する。 < C-4-2)- >	牧村英樹 菊地信之
7月18日(水) 2時間 15:00～16:50	再生歯科治療 4 再生歯科治療の臨床と展望(2)	【準備学習項目】 ・最新の歯周組織再生治療の現状を理解する。 ・再生医療のトピックスを予習しておく。  【講義】(302教室) ・歯周外科治療と再生治療の目的と意義について説明できる。 < E-3-3)-(3)- , , / 各 - -( )-4-B,C > ・再生歯科医療の現状および展望について説明できる。	松江美代子 木村功

## 歯内療法学 - (全身疾患患者の歯科治療)

4 年次 前学期	授業科目責任者：葛西 一貴（歯科矯正学） ユニット責任者：松島 潔（歯内療法学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	歯を保存するための歯内療法学の種々な知識の習得および基本的術式を理解する。 歯内領域で扱う疾患とその処置法の理解するために、 ・ 歯髄保護をするにはどうしたらよいか。 ・ 歯髄が損傷を受けたらどうしたらよいか、どのような臨床症状を呈するか。 ・ 傷害を受けた歯髄はどのような運命をたどるのか、また、その取り扱いはどうしたらよいか。 ・ 根尖周囲組織に炎症が波及したらどうしたらよいか。 ・ 歯の機能を維持させるにはどうしたらよいか。 といった問題解決志向の講義、実習を行う。
授業担当者	松島 潔、辻本恭久、川島 正、小塚昌宏、三浦 浩、岡部 達、神尾直人、室町幸一郎、和田陽子、神尾素代、諸橋利朗、* 相浦誠一郎、* 上田幾大、* 大林英美、* 喜多詰規雄、* 五味博之、* 齋藤一央、* 酒井きよ美、* 塩沢 督、* 高瀬俊彦、* 高橋知多香、* 田中みどり、* 塚田典功、* 寺澤秀朗、* 富田 敬、* 中嶋真樹、* 長島 潔、* 中沼邦欣、* 細谷史規、* 三浦孝司、* 村上芳弘、* 本木平和、* 山浦賀弘
教科書	歯内療法マニュアル (Endodontics Manual) エンドドンティクス・須田英明・中村 洋（編集主幹）永末書店
参考図書	バイオロジーに基づいた実践歯内療法学・須田英明（総監訳）・クインテッセンス出版(株)
実習器材	歯内療法マニュアル第 2 章参照 (10,000 円以上の機材ははありません)
評価方法 (EV)	講義、実習の総合評価 講義 (50%) : 平常試験 (10%) および定期試験 (40%) の総合評価 実習 (50%) : 1. 実技試験 (30%) 2. 毎回 5 分間テスト (10%) 3. 毎回の実習の達成度、実習中の態度 (10%) 定期試験には、実習で学ぶ範囲も含まれます。
学生への メッセージ オフィスアワー	基礎歯学で学んだ知識を整理しておくこと。 歯内療法学の重要さと面白さを学んでほしい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 5 日 (木) 2 時間 15:00 ~ 16:50	実習 上顎小白歯の根管治療 (1)	<b>【準備学習項目】</b> ・ 上顎小白歯の形態を説明できる。 ・ 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 ・ 根管拡大の概念を説明できる。 ・ 根管形成の概念を説明できる。 ・ 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実 習】</b> 上顎小白歯 (人工歯) を用いて 1) アクセスオープニングができる。 2) 根管拡大・形成ができる。 LS: 実習室: 顎模型, 人工歯  < E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 >	松島潔 川島正 三浦浩 神尾直人 和田陽子 諸橋利朗 上田幾大 喜多詰規雄 齋藤一央 塩沢督 高瀬俊彦 高橋知多香 塚田典功 富田敬 中嶋真樹 細谷史規 村上芳弘 山浦賀弘  辻本恭久 小塚昌宏 岡部達 室町幸一郎 神尾素代 相浦誠一郎 大林英美 五味博之 酒井きよ美 高瀬俊彦 田中みどり 寺澤秀朗 長島潔 中沼邦欣 三浦孝司 本木平和

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月12日(木) 2時間 15:00 ~ 16:50	実習 上顎小白歯の根管治療(2)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎小白歯の形態を説明できる。</li> <li>・根管形成の概念を説明できる。</li> <li>・根管充填の概念を説明できる。</li> <li>・根管充 &amp;#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>上顎小白歯(人工歯)を用いて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管充填ができる。</li> </ol> <p>LS: 実習室: 顎模型, 人工歯</p> <p>&lt; E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 &gt;</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎小白歯の形態を説明できる。</li> <li>・根管形成の概念を説明できる。</li> <li>・根管充填の概念を説明できる。</li> <li>・根管充 &amp;#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>上顎小白歯(人工歯)を用いて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管充填ができる。</li> </ol> <p>LS: 実習室: 顎模型, 人工歯</p> <p>&lt; E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 &gt;</p>	同上
4月19日(木) 2時間 15:00 ~ 16:50	実習 上顎大白歯の根管治療(1)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎大白歯の形態を説明できる。</li> <li>・歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。</li> <li>・根管拡大の概念を説明できる。</li> <li>・根管形成の概念を説明できる。</li> <li>・根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>上顎大白歯(人工歯)を用いて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アクセスオープニングができる。</li> <li>2) 根管拡大・形成ができる。</li> </ol> <p>LS: 実習室: 顎模型, 人工歯</p> <p>&lt; E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 &gt;</p>	同上
4月26日(木) 2時間 15:00 ~ 16:50	実習 上顎大白歯の根管治療(2)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎大白歯の形態を説明できる。</li> <li>・根管形成の概念を説明できる。</li> <li>・根管充填の概念を説明できる。</li> <li>・根管充 &amp;#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>上顎大白歯(人工歯)を用いて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管充填ができる。</li> </ol> <p>LS: 実習室: 顎模型, 人工歯</p> <p>&lt; E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 &gt;</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎大白歯の形態を説明できる。</li> <li>・根管形成の概念を説明できる。</li> <li>・根管充填の概念を説明できる。</li> <li>・根管充 &amp;#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。</li> </ul> <p>【実習】</p> <p>上顎大白歯(人工歯)を用いて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管充填ができる。</li> </ol> <p>LS: 実習室: 顎模型, 人工歯</p> <p>&lt; E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 &gt;</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月10日(木) 2時間 15:00～16:50	実習 下顎大白歯の根管治療(1)	<b>【準備学習項目】</b> ・下顎大白歯の形態を説明できる。 ・歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 ・根管拡大の概念を説明できる。 ・根管形成の概念を説明できる。 ・根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実習】</b> 下顎大白歯(人工歯)を用いて 1) アクセスオープニングができる。 2) 根管拡大・形成ができる。 LS: 実習室: 顎模型, 人工歯  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 >	同上
5月17日(木) 2時間 15:00～16:50	実習 下顎大白歯の根管治療(2)	<b>【準備学習項目】</b> ・下顎大白歯の形態を説明できる。 ・根管形成の概念を説明できる。 ・根管充填の概念を説明できる。 ・根管充 &#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実習】</b> 下顎大白歯(人工歯)を用いて 1) 根管充填ができる。 LS: 実習室: 顎模型, 人工歯  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 > <b>【準備学習項目】</b> ・下顎大白歯の形態を説明できる。 ・根管形成の概念を説明できる。 ・根管充填の概念を説明できる。 ・根管充 &#22625; の術式、用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実習】</b> 下顎大白歯(人工歯)を用いて 1) 根管充填ができる。 LS: 実習室: 顎模型, 人工歯  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 >	同上
5月24日(木) 2時間 15:00～16:50	実習(実技試験)	<b>【準備学習項目】</b> ・歯内療法学 - の実習で学んだ事項  <b>【実習】</b> 実技試験 ・アクセスオープニングができる。 ・根管拡大・根管形成ができる。 ・根管充填ができる。 ・根管治療の評価ができる。 LS: 実習室: 顎模型, 人工歯  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 >	同上
5月31日(木) 2時間 15:00～16:50	講義 歯髄疾患、歯周疾患の臨床的鑑別 歯内療法におけるエックス線診断	<b>【準備学習項目】</b> ・歯髄、根尖歯周疾患の原因、病因を説明できる。 ・歯髄、根尖歯周疾患の症状を説明できる。 ・検査の目的・意義・評価について説明できる。  <b>【講義】</b> ・急性化膿性歯髄炎と急性化膿性歯周炎の鑑別法を説明できる。 ・根尖性歯周炎と辺縁性歯周炎の鑑別法を説明できる。 ・歯内療法領域の画像の成立を説明できる。  < E-3-2)- , , E-3-3)-(2)- /各論 - -4 >	松島潔

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月7日(木) 2時間 15:00～16:50	講義 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の処置の流れ 歯内療法の偶発症	【準備学習項目】 ・歯内療法の流れを説明できる。 ・歯内療法の各ステップの意義を説明できる。 ・歯内療法の目的を説明できる。  【講義】 ・歯髄処置・感染根管治療の意義を説明できる。 ・歯髄処置・感染根管治療の選択ができる。 ・根管拡大・根管形成の意義を説明できる。 ・根管充填の意義を説明できる。 ・歯内療法における偶発症を説明できる。  < E-3-2)- , E-3)-(2)- ~ , / 各論 - -4 >	松島潔 川島正
6月14日(木) 2時間 15:00～16:50	講義 歯髄・根尖性歯周疾患の急と慢性 歯根吸収 歯内 歯周疾患	【準備学習項目】 ・歯髄疾患・根尖性歯周疾患について説明できる。 ・炎症について説明できる。  【講義】 ・歯髄疾患・根尖性歯周疾患の急性・慢性を説明できる。 ・歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病理組織を説明できる。 ・歯根吸収の原因・メカニズムを説明できる。 ・歯内 歯周疾患を説明できる。  < E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 >	松島潔 岡部達
6月21日(木) 2時間 15:00～16:50	講義 歯内療法領域の痛み 歯の変色と漂白法 外傷歯の歯内療法	【準備学習項目】 ・歯髄・根尖歯周組織から中枢への痛みの伝達経路を説明できる。 ・痛みの伝達機構を説明できる。  【講義】 ・歯髄・歯周組織からの痛みの伝達経路を説明できる。 ・歯髄・歯周組織疾患の痛みの発現を説明できる。 ・歯髄・歯周組織疾患における関連痛を説明できる。 ・歯の変色の原因を説明できる。 ・歯の漂白法の種類と薬剤を説明できる。 ・受傷した歯の状態を説明できる。 ・受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 ・歯根破折の原因と予防を説明できる。  < E-3-1)- , E-3-2)- , E-3-3)-(2)- , E-2-4)-(1)- / 総論 -1-D,4-E、各論 - >	松島潔 岡部達 辻本恭久
6月28日(木) 2時間 15:00～16:50	講義 歯内療法で用いる薬剤・材料・器具	【準備学習項目】 ・歯内療法で用いる薬剤・材料・器具について説明できる。  【講義】 ・歯内療法で用いる薬剤の選択ができる。 ・歯内療法で用いる薬剤の使用法を説明できる。 ・歯内療法で用いる薬剤の注意点を説明できる。 ・歯内療法で用いる材料の選択ができる。 ・歯内療法で用いる材料の使用法を説明できる。 ・歯内療法で用いる器具の選択ができる。 ・歯内療法で用いる器具の使用法を説明できる。  < E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 >	松島潔
7月5日(木) 2時間 15:00～16:50	実習 歯内療法の技能	【準備学習項目】 ・歯内療法における無菌処置を説明できる。 ・ラバーダム防湿の意義を説明できる。 ・ラバーダム防湿の術式、器具を説明できる。  【実習】 ・患者にラバーダム防湿を行うために適切な説明ができる。 ・歯種ごとに適切なラバーダム防湿ができる。  < E-3-3)-(2)- , , / 各論 - -4 >	松島潔 川島正 三浦浩 神尾直人 和田陽子 諸橋利朗 上田幾大 五味博之 酒井きよ美 塩沢督 高橋知多香 塚田典功 富田敬 中嶋真樹 細谷史規 村上芳弘 山浦賀弘  辻本恭久 小塚昌宏 岡部達 室町幸一郎 神尾素代 相浦誠一郎 喜多詰規雄 斎藤一央 大林英美 高瀬俊彦 田中みどり 寺澤秀朗 長島潔 中沼邦欣 三浦孝司 本木平和

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月12日(木) 2時間 15:00 ~ 16:50	実習 歯内療法の技能	<b>【準備学習項目】</b> ・根管治療の目的を説明できる。 ・根管治療の術式・用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実習】</b> ・患者に根管治療の適切な説明ができる。 ・根管治療開始時に診査ができる。 ・根管洗浄・乾燥ができる。 ・マスターポイントの選択ができる。 ・マスターポイントの試適ができる。  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 >	同上
7月19日(木) 2時間 15:00 ~ 16:50	歯内療法の技能	<b>【準備学習項目】</b> ・歯内療法における無菌処置を説明できる。 ・ラバーダム防湿の意義を説明できる。 ・ラバーダム防湿の術式、器具を説明できる。 ・根管治療の目的を説明できる。 ・根管治療の術式・用いる器具・材料を説明できる。  <b>【実習】</b> ・患者にラバーダム防湿を行うために適切な説明ができる。 ・歯種ごとに適切なラバーダム防湿ができる。 ・患者に根管治療の適切な説明ができる。 ・根管治療開始時に診査ができる。 ・根管洗浄・乾燥ができる。 ・マスターポイントの選択ができる。 ・マスターポイントの試適ができる。  < E-3-3)-(2)- , , /各論 - -4 >	同上

## 医療と社会（医の原則 - ）

4 年次 後学期	授業科目責任者：那須 郁夫（地域保健学） ユニット責任者：那須 郁夫（地域保健学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	歯科医師として、歯科医学・医療の進歩、高齢社会の到来、疾病構造の変化等、歯科保健・医療を取り巻く急激な環境の変化に対し、対応するために必要な知識を習得する。医療に強く影響を与える社会システムとして、研究・教育体制、医療制度、経済（医療保険と医療費）、行政そして法律等、社会的規制の中でより良い歯科医療を実践するとともに、安全で信頼される医療を提供していく上で必要な知識を修得する。
授業担当者	那須郁夫（地域保健学）、伊藤孝訓（歯科総合診療学）、笹井啓史（保健医療政策学）、古山英介（元日本大学客員教授）、矢野聡（日本大学法学部教授）、大久保一郎（筑波大学教授）、金尾好章（金尾歯科医院・松戸歯学部臨床教授・松戸歯学部兼任講師）、丸森英史（丸森歯科医院）、根岸哲夫（千代田歯科医院・松戸歯学部兼任講師）
教科書	スタンダード社会歯科学 第4版 石井拓男 ほか著（学建書院） 授業ごとに配布するプリント
参考図書	臨床家のための社会歯科学 改訂版（永末書店） 国民衛生の動向 2011/2012 版（厚生統計協会） 医療六法 平成 23 年版（中央法規） 厚生労働白書 平成 23 年版（厚生労働省） 国民の福祉の動向 2011/2012 年版（厚生統計協会）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	必要に応じ、レポートを提出させることがある。 成績評価は、定期試験（80%）、レポート（20%）および受講態度などを勘案し総合の評価を行う。
学生への メッセージ オフィスアワー	各講義は、必要に応じ外部からそれぞれの領域における著名な先生に担当して頂くこととしている。 幅広い知識の修得と十分に理解を深め、社会に出てから歯科医療の実際に役立てて頂きたい。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日(火) 2時間 15:00～16:50	introduction- 生存権から健康権へ	【準備学習項目】 ・国民の健康権を説明できる。 【講義】 ・国民の基本的な人権としての生存権とそれを保障する社会のしくみを理解し説明できる。 ・健康権とは何か各自の考えを述べることができる。 < A-1- ,C-1- , / 必-1-A-a, 総-( )-1-A, 総-( )-1-A > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	那須郁夫 伊藤孝訓
10月9日(火) 2時間 15:00～16:50	歯科医師と関連法規 医療施設と保健医療関係者	【準備学習項目】 ・歯科医師に関する法律を説明できる。 【講義】 ・歯科医師と法について理解し説明できる。 ・医療法・歯科医師法・歯科衛生士法・歯科技工士法の概要と基本的な考え方について説明できる。 ・歯科医師の義務と業務について説明できる。 ・その他関連法・医師法・薬事法・刑法について説明できる。 < A-3- ,B-2-3- ,C-2-1- , , , / 必-2-B-b, 必-2-D-a,b,c,d,e, 総-( )-2-A,B,C,D,E > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	笹井啓史
10月16日(火) 2時間 15:00～16:50	保健医療福祉行政の組織	【準備学習項目】 ・保健医療福祉行政の仕組みを説明できる。 【講義】 ・保健・医療・福祉の組織との連携について説明できる。 ・衛生行政について説明できる。 ・一般衛生行政 ・特別衛生行政 ・保健所, 市町村保健センターについて説明できる。 < C-2-2- / 必-2-D, 必-16-B, 総(1)-2,3-A,B,C,D,4-A,D > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	同上
10月23日(火) 2時間 15:00～16:50	歯科医療機関の開設と管理	【準備学習項目】 ・歯科医療機関の開設や管理について説明できる。 【講義】 ・医療施設とその機能について説明できる。 ・歯科診療所の開設 ・歯科技工所 ・歯科保健・医療従事者について説明できる。 ・歯科医師 ・歯科衛生士 ・歯科技工士 ・その他 ・歯科医療行為について理解し説明できる。 ・歯科医療記録等の種類と保存について説明できる。 < C-2-1- , , / 必-2-D-a,b,c,d,e > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月30日(火) 2時間 15:00～16:50	社会保障制度	【準備学習項目】 ・社会保障制度について説明できる。 【講義】 ・社会保障の概念を説明できる。 ・社会福祉の概念を説明できる。 ・医療保障と所得保障について説明できる。 < C-2-2)- / 必-2-D-f, g, 総( )-5-A > LS: 教科書, プリントによる講義	矢野聡
11月6日(火) 2時間 15:00～16:50	社会保障・社会保険と歯科医師	【準備学習項目】 社会保障と社会保険のあり方について説明できる。 【講義】 ・国家の財政と国民医療費について説明できる。 ・医療経済と歯科医療について説明できる。 < C-2-2)- / 必-2-D-f, 総( )-5-C > LS: 教科書, プリントによる講義	同上
11月13日(火) 2時間 15:00～16:50	ライフサイクルと保健医療(1)	【準備学習項目】 ライフサイクルと保健医療の関わりについて説明できる。 【講義】 ・地域保健・母子保健・老人保健・精神保健の関係法規について理解し説明できる。 ・学校保健・産業保健の関係法規について説明できる。 < C-2-2)- / 総( )-4-A, 総( )-2,3,4,5,6,7 > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	那須郁夫
11月20日(火) 2時間 15:00～16:50	保健医療と国家財政	【準備学習項目】 保健医療と国家財政の仕組みについて説明できる。 【講義】 ・国家財政と国民医療費の実態を理解し説明できる。 ・医療における費用効果分析について説明できる。 ・医療経済と歯科医療について説明できる。 < C-2-2)- / 総( )-5-A,B,C > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	大久保一郎
11月27日(火) 2時間 15:00～16:50	地域保健・地域医療と歯科医師 1 口腔保健指導	【準備学習項目】 口腔保健指導の要点を説明できる。 【講義】 ・口腔保健指導について説明できる。 ・ブラッシングの効果 ・歯の磨き方と磨く道具 ・ブラッシングの指導から補綴処置の連携 < C-3-2)- / 必-3-J-C, 総( )-1-C, 各- -6-A,B,C > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	金尾好章
12月4日(火) 2時間 15:00～16:50	地域保健・地域医療と歯科医師 2 患者指導	【準備学習項目】 患者指導とは何か説明できる。 【講義】 ・患者指導について理解し説明できる。 ・好ましい歯科保健行動への誘導 ・磨く気にさせる患者指導 ・子供の虫歯予防 < C-3-2)- / 必-3-J-d, 総( )-1-C, 各- -6-D,E,F > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	丸森英史
12月11日(火) 2時間 15:00～16:50	地域保健・地域医療と歯科医師 3 予防と健康管理	【準備学習項目】 予防と健康管理の在り方について説明できる。 【講義】 ・健康および疾病予防の概念について理解し説明できる。 ・プロフェッショナル・ケア, セルフ・ケア ・予防医学, 予防法の適用について説明できる。 ・カリオロジー, ペリオドントロジー < C-1- , / 必-3-J-b,c,d, 必-14-A-a, 各-1-C,D,E > LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義	同上
12月18日(火) 2時間 15:00～16:50	医療保険制度の考え方	【準備学習項目】 医療保険制度の仕組みについて説明できる。 【講義】 ・国民皆保険制度について説明できる。 ・診療報酬点数表の考え方を説明できる。 ・自由診療と医療保険制度について説明できる。 ・医薬分業について説明できる。 < C-2-2)- / 必-2-D-f, 総( )-5-A,B,C > LS: 教科書, プリントによる講義	古山英介

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月8日(火) 2時間 15:00～16:50	地域保健・地域医療と歯科医師4  地域歯科医師会活動	【準備学習項目】 地域歯科医師会活動の実際を説明できる。 【講義】 ・地域の歯科医師会における公衆衛生事業について理解し説明できる。 ・高齢者、障害者に対する歯科医師会の公衆衛生事業について理解し説明できる。 < C-2-2)- , ,C-3-1)- / 必 -2-C, 必 -3-B,G-c, 必 16 -B-c, 総 -( )-4-A,C,D,H > LS:教科書, プリント, マルチメディアによる講義	根岸哲夫
1月15日(火) 2時間 15:00～16:50	国民の健康づくり	【準備学習項目】 国民の健康にどのように関わっているか説明できる。 【講義】 ・健康日本21を説明できる。 ・健康増進法について説明できる。 < C-3-1)- ,C-2-1/ 必 -3-A-d,e,f,g,B-a,b,c,d, 総 -( )-1-A,5 -A,B,C > LS:教科書, プリントによる講義	那須郁夫
1月22日(火) 2時間 15:00～16:50	ライフサイクルと保健医療(2)  歯科保健医療の国際比較まとめ	【準備学習項目】 ・ライフサイクルと歯科保健医療の関わりを国際比較も含めて説明できる。 【講義】 ・環境保健・社会福祉の関係法規について説明できる。 ・生活環境・感染症等対策の関係法規について説明できる。 ・歯科保健の国際比較について説明できる。 < C-2-2)- , , , , , ,C-2-3)- / 必 -2 -C-a,D-a,b,c,d,e, 総 -( )-6-A,B, 総 -( )-2-B,11-A,B > LS:教科書, プリントによる講義	同上

## 歯科医学総合講義 4 ( 歯科医学総合講義 1 )

4 年次 後学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：4 年次学年教育主任
----------	--

学習の目標 ( G I O )	社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。
授業担当者	【歯内療法学】松島 潔, 【保健医療政策学】笹井 啓史, 【口腔病理学】宇都宮忠彦, 【化学】城座映明, 【内科】大口純人, 【歯科矯正学】榎本 豊, 【有床義歯補綴学】林 幸男, 【障害者歯科学】林 佐智代, 【顎口腔機能治療学】浅野 隆, 【歯周治療学】吉野祥一, 【歯科臨床検査医学】布施 恵, 【小児歯科学】岡本 京, 【歯科総合診療学】岡本康裕, 【口腔顎顔面インプラント学】北川 剛至, 【公衆予防歯科学】田口千恵子
教科書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した教科書を使用する。
参考図書	2, 3 および 4 年次の各科目で使用した参考図書を使用する。
実習器材	1 年次に使用したノート PC を毎時間持参すること。
評価方法 ( E V )	歯科医学総合講義 4 の定期試験は医学系大学間共用試験実施評価機構が実施する共用試験を用いる。合格基準は共用試験で、CBT (知識評価) と OSCE (技能・態度評価) のいずれもが 65 点 (%) 以上であること。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>1. 1 ~ 4 年次までに学習した自然科学分野, 基礎医学分野, 臨床歯科学分野の知識を, 基礎から臨床に向けて知識を整理しながら統合していくことを目的とします。</p> <p>2. 9 つのユニットに分け, 試験 理解できてない領域を自己評価 自学自習 解説を繰り返します。また, 自学自習で理解できなかった事項や解説のほしい事項を少人数制講義で取り上げますので, 自学自習中に授業で取り上げてほしい事項を明示すること。</p> <p>3. 少人数制講義は 50 分で 5 つの内容を同時に行い, 3 時間で 3 回繰り返しますので, 5 つの講義のうち 3 つを受講することができます。</p> <p>4. 定期試験 (共用試験) 以外の試験は, すべて形成評価 (自己評価をするフィードバックのための試験で, 合格のための評価に加えません) です。</p> <p>5. 理解の不足している部分を分析する能力を養い, 自学自習の態度をに見つけ, 学習する環境を整えることで, 次年度に学習する臨床実習の成果を大きくすることができます。</p> <p>6. 歯科医学総合講義 4 の学習の範囲は 1 ~ 4 年次をすべて含むので, このシラバスに記載しきれないため, 4 年次の始まりに詳細なシラバスを配布します。この講義は後期からであるが, 前期のうちから今まで学習した内容を復習しておくこと。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 ( S B O s ) ( L S ) ・準備学習 ( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9 月 28 日 ( 金 ) 1 時間 14:35 ~ 15:25	ガイダンス ( 歯科医学総合講義 4 について )	<b>【準備学習項目】</b> 歯科医学総合講義 4 を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること  <b>【講 義】</b> 学習の取り組み方 歯科医学総合講義 4 の授業の進め方 歯科医学総合講義 4 の学習範囲 自学自習の徹底	松島潔 城座映明 大口純人 林幸男 浅野隆 岡本京 岡本康裕 田口千恵子  笹井啓史 宇都宮忠彦 榎本豊 林佐智代 布施恵 吉野祥一 北川剛至
9 月 28 日 ( 金 ) 1 時間 15:35 ~ 16:25	ガイダンス ( PC の調整 )	<b>【準備学習項目】</b> 歯科医学総合講義 4 を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること  <b>【演 習】</b> 授業で使用する各自のノート PC の動作確認と調整	同上
9 月 28 日 ( 金 ) 1 時間 16:35 ~ 17:25	ガイダンス ( 共用試験とは )	<b>【準備学習項目】</b> 歯科医学総合講義 4 を受講するに当たりの注意事項 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること  <b>【講 義】</b> 共用試験の概要 共用試験の実際 毎回の試験の受け方	同上
10 月 2 日 ( 火 ) 1 時間 9:00 ~ 9:50	1. 顎運動とその疾患	<b>【準備学習項目】</b> 今まで学んだコアカリの範囲 ( C-2-3), ( E-2-1), ( 2), ( 4), ( E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること  <b>【試 験 ( 形成評価 )】</b> 試験 ( 30 問 ) <b>【演 習】</b> 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。  LS: 各自のノート PC ( C-2-3), ( E-2-1), ( 2), ( 4), ( E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月2日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月5日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月5日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月5日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	1. 顎運動とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月9日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月9日(火) 1時間 10:00～10:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月9日(火) 1時間 11:00～11:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月12日(金) 1時間 14:35～15:25	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月12日(金) 1時間 15:35～16:25	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月12日(金) 1時間 16:35～17:25	2. 微生物・感染・免疫とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月16日(火) 1時間 9:00～9:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月16日(火) 1時間 10:00～10:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月16日(火) 1時間 11:00～11:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1-4), D-2-3), D-4-4), F-2-1), F-2-4), F-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月23日(火) 1時間 9:00～9:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月23日(火) 1時間 10:00～10:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月23日(火) 1時間 11:00～11:50	3. 炎症・痛みとその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月26日(金) 1時間 14:35～15:25	1. 顎運動とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月26日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	1. 顎運動とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月26日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	1. 顎運動とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), E-2-1),2),4), E-3-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月30日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月30日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
10月30日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	2. 微生物・感染・免疫とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-3), C-3-1),2), E-2-4),E-3-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月2日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	3. 炎症・痛みとその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月2日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	3. 炎症・痛みとその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月2日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	3. 炎症・痛みとその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-4), C-2-3), C-4-4), E-2-1), E-2-4), E-3-3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月6日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	中間試験(1)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験 LS: ノート PC</p>	同上
11月6日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	中間試験(2)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験 LS: ノート PC</p>	同上
11月6日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	中間試験(3)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験 LS: ノート PC</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月9日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月9日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月9日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月13日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月13日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月13日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	4. 代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月16日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月16日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月16日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月20日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月20日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月20日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月27日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月27日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月27日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月30日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月30日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
11月30日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月4日(火) 1時間 9:00～9:50	4.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月4日(火) 1時間 10:00～10:50	4.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月4日(火) 1時間 11:00～11:50	4.代謝・薬物動態・全身疾患と 歯科治療 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-1-1), C-2-3), C-4-3), C-5-1),2),3),4), E-1-3),5), E-2-4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月7日(金) 1時間 14:35～15:25	5.歯質・歯の欠損と歯科材料 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月7日(金) 1時間 15:35～16:25	5.歯質・歯の欠損と歯科材料 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月7日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	5. 歯質・歯の欠損と歯科材料 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 D-1, D-2, E-3-2),3),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>D-1, D-2, E-3-2),3),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月11日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月11日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月11日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	6. 口腔領域の疾患(外傷・炎症・嚢胞) ・画像検査 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-4-1),2), E-1-2), E-2-4), E-4-2) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月14日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月14日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月14日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月15日(土) 1時間 10:35 ~ 11:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月15日(土) 1時間 11:35 ~ 12:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月15日(土) 1時間 12:35 ~ 13:25	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノート PC C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月18日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノート PC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月18日(火) 1時間 10:00～10:50	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月18日(火) 1時間 11:00～11:50	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月21日(金) 1時間 14:35～15:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問)</p> <p>【演習】 試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月21日(金) 1時間 15:35～16:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかった問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
12月21日(金) 1時間 16:35～17:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月8日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月8日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月8日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月11日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 試験(30問) 【演習】 試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月11日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【演習】 1時間目の試験で各自できなかつた問題の解説を作成する。</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月11日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	9. 発生・成長・加齢とその疾患	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 試験のフィードバック(解説)</p> <p>LS: 各自のノートPC C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月15日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等) (少人数制講義)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。  C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上
1月15日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等) (少人数制講義)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。  C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上
1月15日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	7. 口腔領域の疾患 (腫瘍、唾液腺疾患・粘膜疾患等) (少人数制講義)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-4-5), E-2-2),4) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。  C-4-5), E-2-2),4) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上
1月18日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理 (少人数制講義)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。  A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上
1月18日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理 (少人数制講義)	【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義4 シラバス詳細版を参照すること  【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。  A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月18日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	8. 口腔衛生・関連法規・医の倫理 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>A-1,A-2, A-3, A-4, A-5-1),2),3),4), A-6-4), A-7-1),2),3), B-1, B-2-1),2),3), B-3-1),2), B-4-1),2),3) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月22日(火) 1時間 9:00 ~ 9:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月22日(火) 1時間 10:00 ~ 10:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月22日(火) 1時間 11:00 ~ 11:50	9. 発生・成長・加齢とその疾患 (少人数制講義)	<p>【準備学習項目】 今まで学んだコアカリの範囲 C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【講義】 5つのテーマの講義を5教室で行う。 3時間で3つを選択する。 内容は自学自習の時間に学生からあげられたテーマを採用 テーマは後日明示する。</p> <p>C-2-2),3),4), E-3-1),2), E-4-1),2),3),4),5) 詳細なコアカリキュラムはシラバス詳細版を参照</p>	同上
1月25日(金) 1時間 14:35 ~ 15:25	共用試験の受験について	<p>【講義】 共用試験(CBT,OSCE)の受験にあたっての注意事項</p>	同上
1月25日(金) 1時間 15:35 ~ 16:25	体験試験	<p>【準備学習項目】 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 体験試験 LS: 411 教室</p>	同上
1月25日(金) 1時間 16:35 ~ 17:25	体験試験	<p>【準備学習項目】 歯科医学総合講義 4 シラバス詳細版を参照すること</p> <p>【試験(形成評価)】 体験試験 LS: 411 教室</p>	同上

## 歯科矯正学（歯科医療の展開）

4 年次 後学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋裂などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあたっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p>
授業担当者	葛西一貴，今村隆一，山口 大，五関たけみ，榎本 豊，齋藤勝彦，高橋 治
教科書	歯科矯正学 第5版（医歯薬出版）
参考図書	混合歯列期の矯正歯科治療（医歯薬出版） プロフィットの現代歯科矯正学（作田守監訳、クインテッセンス出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	中間試験(50%)と定期試験(50%)によって評価点とする。中間試験の結果に応じて、補講などの措置を講ずることがある。再試験の試験範囲は中間試験と定期試験の総合した範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	近年不正咬合が増加しているといわれているが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mailによる質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第2回 ・頭蓋の成長発育 ・顎顔面の成長発育	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭蓋の成長発育についてその特徴を列挙できる。</li> <li>・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳頭蓋と脳頭蓋底の成長発育様式について述べる事ができる。</li> <li>・顔の成長発育および口蓋裂の発生様式について説明できる。</li> </ul> <p>D-2-4)- ,F-2-3)- 必 6-B, 必 7-AB, 総( )-2-K, 総( )-1-G, 総( )-3-AB, 総( )-4-AB</p>	葛西一貴
10月9日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第4回 ・正常咬合	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。</li> <li>・咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。</li> <li>・Angle の分類および高橋分類などの不正咬合の診断について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】302教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常咬合の種類および矯正治療目標について説明できる。</li> <li>・正常咬合が成立し、かつそれが保持されるための条件を述べる事ができる。</li> <li>・永久歯列期の正常咬合の概念について説明できる。</li> <li>・不正咬合の病因、実態およびその疫学的特長を列挙できる。</li> <li>・個々の歯の位置異常およびその用語について説明できる。</li> <li>・上下歯列弓の咬合関係の異常について、先天異常も含めて説明できる。</li> </ul> <p>F-2-1)- ,F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-4-1)- 必 7-B, 必 7-C-fg, 総( )-2-J, 総( )-3-ABEG, 総( )-11-ABE, 総( )-12, 総( )-2-C,I</p>	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月16日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第6回 ・不正咬合の予防 ・診断 ・形態検査1	【準備学習項目】 ・乳歯列期における不正咬合の予防について説明できる。 ・歯科矯正臨床における一般的診断項目について列挙できる。 【講義】302教室 ・乳歯列期、混合歯列期および永久歯列期それぞれの時期における不正咬合の予防について説明できる。 ・初診から治療終了までのプロセスを説明することができる。 ・一般検査、全身的検査および局所的検査の項目を列挙できる。 ・顔面写真による顔面形態の検査について説明できる。 F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 必7-C-fg, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-12, 総( )-11-ABE, 総( )-2-CFGI, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-1-CD, 各 -( )-2-AB	葛西一貴 五関たけみ
10月23日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第8回 ・形態検査3	【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。 【講義】302教室 ・頭部X線規格写真の特徴および重要性について説明できる。 ・頭部X線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-2-CFG, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-2-AB	五関たけみ
10月30日(火) 2時間 13:00～14:50	【講義】第10回 ・機能検査	【準備学習項目】 ・種々の機能検査法について列挙できる。 【講義】302教室 ・顎運動の検査が矯正診断とどのようにかかわっているかについて述べることができる。 F-4-1)- 必6-B, 必7-BC, 総( )-2-JKL, 総( )-3-ABEFGP, 総( )-2-CFG, 総( )-2-DIJK, 各 -( )-2-AB	齋藤勝彦
11月6日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第11回 ・矯正力	【準備学習項目】 ・器械的矯正力について説明できる。 ・歯の移動様式について述べるができる。 【講義】302教室 ・機能的矯正力について説明できる。 ・顎整形力について説明できる。 ・傾斜移動と歯体移動について説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-3-AB	山口大
11月13日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第12回 ・矯正歯科治療における抜歯1	【準備学習項目】 ・矯正治療のための抜歯の目的を説明できる。 【講義】302教室 ・矯正歯科治療における抜歯の歴史について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の意義について説明できる。 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-2-C	山口大
11月20日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第13回 ・矯正歯科治療における抜歯2 ・矯正歯科治療における固定1	【準備学習項目】 ・矯正治療のための抜歯の目的を説明できる。 ・固定の意義を説明できる。 【講義】302教室 ・矯正歯科治療における抜歯の部位と数について説明できる。 ・固定の種類 1) 部位による分類を説明できる。 2) 抵抗の性質による分類を説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-2-C, 各 -( )-3-D	山口大
11月27日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第15回 ・矯正歯科治療に伴う生体反応	【準備学習項目】 ・歯および歯周組織の構造を説明できる。 【講義】302教室 ・歯の移動に伴う圧迫側と牽引側の組織変化の特徴を説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-3-C	山口大



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月4日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第16回 ・治療学概論 ・治療計画の立案	【準備学習項目】 ・予防矯正、抑制矯正、限局矯正、本格矯正について説明できる。 ・各種不正咬合についてその特徴を列挙できる。 【講義】302教室 ・検査および症例分析の結果を総合評価できる。 ・矯正治療の開始時期と流れについて説明できる。 F-4-1)- 必9-B-e, 必10-G, 必14-B-c, 総( )-2-C, 総( )-1, 各-3, 各-( )-2, 各-( )-5-AB	榎本豊
12月11日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第18回 ・矯正用機械・器具2 ・矯正装置1 ・乳歯列期・混合歯列期の治療1	【準備学習項目】 ・混合歯列期に生じる不正咬合を列挙できる。 【講義】302教室 ・矯正用器材を列挙し、その特徴について説明できる。 ・乳歯列期における治療について説明できる。 ・乳歯列期の治療についてその概略を述べるができる。 ・混合歯列期の正中離開、前歯部叢生に対する対処法を説明できる。 E-1- ,F-4-1)- ,F-4-2)- 総(XI)-15, 各-( )-4, 各-( )-5-A	榎本豊
12月18日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第19回 ・矯正装置2 ・乳歯列期・混合歯列期の治療2	【準備学習項目】 ・機能的矯正装置の種類および作用効果について述べるができる。 【講義】302教室 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べるができる。 1)唇舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 2)顎外固定装置としてのヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 3)床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 4)Slow expansion と Rapid expansion の作用効果について述べるができる。 F-4-1)- ,F-4-2)- > 各-( )-4, 各-( )-5-A	榎本豊
1月8日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第21回 ・矯正装置4 ・永久歯列期の治療2 ・他科との共同による治療1	【準備学習項目】 ・Edgewise 装置の概略について説明できる。 ・口蓋裂の原因について説明できる。 【講義】302教室 ・Edgewise 法による治療の流れを説明できる。 ・アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 ・Begg 法の特徴について説明できる。 ・各種不正咬合の治療を説明できる。 ・口蓋裂の治療法について説明できる。 ・唇顎口蓋裂患者の顎骨および咬合の特徴について説明できる。 ・唇顎口蓋裂患者の治療の流れについてその概略を説明できる。 ・口腔領域の奇形について述べるができる。 F-2-3)- ,F-2-4)-(7)- ,F-2-4)-(8)- ,F-4-1)- 各-( )-4, 各-( )-5-BCDE	齋藤勝彦 今村隆一
1月15日(火) 2時間 13:00～14:50	(講義)第22回 ・他科との共同による治療2	【準備学習項目】 ・顎顔面領域の成長発育を説明できる。 【講義】302教室 ・顎変形症の原因、治療法について説明できる。 ・外科矯正治療の目的および適応症について述べることができる。 ・外科矯正治療の流れを他科との関連性を含め述べることができる。 ・成人矯正治療がかかえる諸問題を列挙できる。 ・口腔領域の奇形について述べることができる。 F-2-3)- ,F-2-4)-(7)- ,F-2-4)-(8)- ,F-4-1)- 各-( )-5-CDE	今村隆一

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月22日(火) 2時間 13:00 ~ 14:50	(講義)第24回 ・保定2 ・口腔筋機能療法	<b>【準備学習項目】</b> ・矯正治療の後戻りの要因を列挙できる。 ・矯正治療に障害となる口腔習癖を列挙できる。 <b>【講義】302教室</b> ・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。 ・口腔筋機能療法について説明できる。 D-2-4)- ,F-2-1)- ,F-2-2)- ,F-4-1)- 各 -( )-5-AE,各 -( )-5-G	今村隆一            高橋治

## 歯科矯正学実習（歯科医療の展開）

4 年次 後学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	<p>歯科矯正学とは、歯、顎ならびに顔の正常な成長発育を研究し、それら諸構造の不正な成長発育から引き起こされる不正咬合や上下顎骨の異常な咬合関係を改善し、口腔の正しい機能を営ましめ、同時に顔貌の改善をはかり個人の福祉に寄与し、さらに不正状態の発生を予防するための研究と技術とを含めた歯科医学の一分科である。実際に歯科矯正治療を行うにあたっては、不正咬合がもたらす口腔機能障害や心理的障害を除去し、咬合を正常またはそれに近い状態に治すことである。</p> <p>授業内容は、総論として、歯科矯正学の歴史と定義、矯正治療の目的、成長発育概論、頭部の成長発育、歯列と咬合の発育、口腔機能の発育、咬合についての概論、正常咬合、不正咬合、診断法、不正咬合の原因および予防などである。また、診断学として診断学概論、診査、形態的・機能的検査、診断。さらに矯正治療における抜歯問題などを学ぶ。治療学として治療学概論、矯正力、矯正治療に伴う生体反応、固定、矯正治療用材料と器械器具、矯正装置、不正咬合の治療および保定などがある。</p> <p>不正咬合の治療としては、乳歯咬合期、混合歯咬合期および永久歯咬合期における治療を基本とし、それに加えて唇顎口蓋蓋などに伴う治療、他科との共同による治療（外科的矯正法）筋機能療法を学ぶ。</p> <p>矯正治療は一般歯科治療と比べると治療期間が2年から3年と比較的長い。顎骨の発育異常を伴う成長期の患者さんでは、顎の成長コントロールに更に期間を要することになり、矯正医の管理下に置かれる期間が長期にわたり、患者さんの負担も決して少なくない。矯正医はここで学んだ基礎知識と技術を駆使して患者さんの治療にあたっている。講義ではたくさんの矯正治療症例を紹介するので、矯正治療に対する興味を持って頂きたい。</p> <p>歯科矯正学実習の目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科矯正治療を行う上で必要とされる基本的手技（印象採得、線屈曲、自在ろう着）を修得する。</li> <li>2. タイポドントを用い、人工歯を正常咬合に植歯することを通じ、矯正治療目標がどのような咬合の確立にあるかを学ぶ。</li> <li>3. 種々の矯正装置（舌側弧線装置、アクチバートル、上顎前方牽引装置、マルチブラケット装置）の基本的製作法を修得すると共にそれらの作用機序を学ぶ。</li> </ol>
授業担当者	<p>（講義）葛西一貴，今村隆一，山口 大，五関たけみ，榎本 豊，齋藤勝彦                  （実習）葛西一貴，齋藤勝彦，今村隆一，山口 大，小野修一，五関たけみ，榎本 豊，岡野美紀，根岸慎一，徳永理利，浅野正貴，葛西理恵，栃木歌子，石井かおり，石岡 亮，植田華奈，林 倫子，平手友里恵，伊藤久美子，江間秀明，白鳥裕一，磯貝奈々，日上 繭，吉野智一，井波俊博，潮田純子，平手亮次，西尾泉美，石川可奈子，菊田 純，汐見芽梨，那須麻由香，平井利永子，山崎綾子</p>
教科書	<p>（講義）歯科矯正学 第5版（医歯薬出版）                  （実習）歯科矯正学基礎実習書（わかば出版）</p>
参考図書	<p>（講義）混合歯列期の矯正歯科治療（医歯薬出版）                  プロフィットの現代歯科矯正学（作田守監訳、クインテッセンス出版）</p>
実習器材	<p>（講義）なし                  （実習）ワックスフォーム、人工歯、ST ロック、マルチブラケット実習セット</p>
評価方法 (EV)	<p>（講義）中間試験(50%)と定期試験(50%)によって評価点とする。中間試験の結果に応じて、補講などの措置を講ずることがある。再試験の試験範囲は中間試験と定期試験の総合した範囲とする。                  （実習）10回実施する小テスト(10%)と実習評価(90%)によって評価点とする。実習態度も実習評価に加味する。</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>（講義）近年不正咬合が増加しているといわれているが、その原因と診断について楽しみながら学んでいただきたい。また、ダイナミックな歯の移動により得られたきれいな咬み合わせや顔貌の改善の様子などをみて、矯正学への興味を深めていただきたい。e-mail による質問を受け付ける。                  （実習）不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか。また、歯がどのように動くのかを実習を通じて理解してほしい。e-mail による質問を受け付ける。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月1日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	<p>【講義】第1回                      ・歯科矯正学の歩みと定義                      ・歯科矯正学の意義と目的                      ・成長発育概論</p>	<p>【準備学習項目】                      ・歯科矯正学の歴史について述べるができる。                      ・歯科矯正学の定義について説明できる。                      ・上顎および下顎の成長発育についてその特徴を列挙できる。</p> <p>【講義】302 教室                      ・不正咬合による口腔機能障害を列挙できる。                      ・矯正治療の目的を述べるができる。                      ・成長発育と年齢（暦齢、生理的年齢）との関係を説明できる。                      ・Harris と Scammon の成長発育パターンについて述べるができる。                      ・骨の成長様式を説明できる。                      ・成長発育の評価法および臨床上の利用意義を説明できる。</p> <p>D-2-4)- ,F-4-1)-                      必 6-B, 総 ( )-1-G</p>	葛西一貴

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月1日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第1回 ・器具貸与,点検 ・印象採得	【準備学習項目】 ・診断用模型の具備条件を列挙できる。 【実習】第5実習室 ・矯正実習で使用する器具の用途について説明できる。 ・印象採得実習で模型分析およびアクチバートル製作用模型のための印象採得ができる。 F-4-1)- , 総(XI)-15-A,各 -( )-4-C,各 -( )-5-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
10月6日(土) 1時間 11:00～11:50	【講義】第3回 ・歯列と咬合の発育 ・口腔機能の発育 ・咬合概論	【準備学習項目】 ・咬合の定義および顎位と咬合について説明できる。 ・咬合と顎運動について、関連する筋の主な名称や作用および閉鎖経路について説明できる。 【講義】302教室 ・歯列弓の大きさの変化や形態的機能的変化について述べるができる。 ・咀嚼、嚥下、発音などの口腔機能について説明できる。 D-2-4)- ,F-2-2)- ,F-2-3)- 必 6-B,必 7-BC,総( )-2-J,総( )-2-C,総( )-5-AB	葛西一貴
10月6日(土) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第2回 ・線屈曲 ・自在ろう着	【準備学習項目】 ・線屈曲に必要な器具を列挙できる。 【実習】第5実習室 ・線屈曲用のプライヤーでワイヤーを屈曲できる。 ・手指で固定してろう着する自在ろう着ができる。 F-4-1)- , 総(XI)-12-F,総(XI)-15-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
10月15日(月) 1時間 11:00～11:50	【講義】第5回 ・不正咬合の原因	【準備学習項目】 ・不良習癖がもたらす咬合異常について説明できる。 【講義】302教室 ・不正咬合の遺伝的原因および環境的原因を説明できる。 ・不正咬合の全身的原因および局所的原因と不正咬合との関連を述べるができる。 F-2-2)- ,F-2-3)- ,F-4-1)- 必 7-B,必 7-C-fg,総( )-2-J,総( )-3-ABEG,総( )-11-ABE,総( )-12,総( )-2-CI,各 -1-CD	葛西一貴
10月15日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第3回 ・タイポドント植歯 ・咬合圧、口唇圧計測 ・顔貌、口腔内写真撮影	【準備学習項目】 ・正常咬合の条件を説明できる。 【実習】第5実習室 ・タイポドント(矯正用咬合器)上に人工歯を正常咬合配列できる。 ・正常咬合の概念について説明できる。 F-4-1)- 総( )-3-E,各 -( )-1-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
10月22日(月) 1時間 11:00～11:50	【講義】第7回 ・形態的検査2	【準備学習項目】 ・平行模型について説明できる。 ・顎態模型について説明できる。 ・セットアップモデルについて説明できる。 【講義】302教室 ・口腔模型分析について説明できる。 F-4-1)- 必 6-B,必 7-BC,総( )-2-JKL,総( )-3-ABEFGP,総( )-2-CFG,総( )-2-DIJK,各 -( )-2-AB	五関たけみ
10月22日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第4回 ・模型分析および診断	【準備学習項目】 ・平行模型について説明できる。 ・口腔模型計測項目を列挙できる。 【実習】第5実習室 ・矯正治療の診断のための模型分析を説明できる。 F-4-1)- 総( )-1-E,総( )-1-ABC,各 -( )-2-CD	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
10月29日(月) 1時間 11:00～11:50	【講義】第9回 ・形態検査4	【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析で用いる計測点を列挙できる。 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる分析法を列挙できる。 【講義】302教室 ・頭部エックス線規格写真分析の計測点および基準平面を説明できる。 F-4-1)- 必 6-B,必 7-BC,総( )-2-JKL,総( )-3-ABEFGP,総( )-2-CFG,総( )-2-DIJK,各 -( )-2-AB	五関たけみ

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月29日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第5回 ・セファロ分析および診断	【準備学習項目】 ・頭部エックス線規格写真分析に用いる計測点を列挙できる。 【実習】第5実習室 ・矯正治療の診断のためのセファロ分析を説明できる。 F-4-1)- 総( )-2-K, 総( )-1-ABC, 各( )-2-CD	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
11月5日(月) 1時間 11:00～11:50	(実習前講義)第1回 ・舌側弧線装置	【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。 【講義】302教室 ・舌側弧線装置の製作法を説明できる。 ・歯の移動様式について説明できる。 <F-4-1)- > <総(XI)-15-AB, 各( )-4-L, 各( )-5-A	齋藤勝彦
11月5日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第6回 ・舌側弧線装置1	【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の基本構造を説明できる。 【実習】第5実習室 ・上顎舌側弧線装置のための作業模型を製作できる。 ・上顎舌側弧線装置のための作業模型を製作できる。 ・上顎舌側弧線装置の主線の屈曲、ろう着及び装置を製作できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-AB, 各( )-4-L, 各( )-5-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
11月12日(月) 1時間 11:00～11:50	【講義】第13回 ・中間テスト	・第1回から第10回までの範囲とする。	齋藤勝彦
11月12日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第7回 ・舌側弧線装置2	【準備学習項目】 ・舌側弧線装置の作用機序を説明できる。 【実習】第5実習室 ・上顎舌側弧線装置の主線の屈曲、ろう着及び装置を製作できる。 ・上顎舌側弧線装置の合着ができる。 ・上顎舌側弧線装置の主線に補助弾線を自在ろう着し、装置を完成できる。 ・ダンキングを行い、舌側弧線装置による反対咬合被蓋改善の過程を説明できる。 ・混合歯列期の反対咬合の治療法を実施できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-AB, 各( )-4-L, 各( )-5-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
11月19日(月) 1時間 11:00～11:50	(実習前講義)第2回 ・上顎前方牽引装置	【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。 【講義】302教室 ・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 ・上顎前方牽引装置の製作法を説明できる。 F-4-1)- <総(XI)-15-ABD, 各( )-4-I, 各( )-5-A>	齋藤勝彦
11月19日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第8回 ・上顎前方牽引装置1	【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の基本構造について説明できる。 【実習】第5実習室 ・上顎前方牽引装置の使用目的および装置の構成を説明できる。 ・Nance装置の主線及び牽引用アームの屈曲ができる。 F-4-1)- 総(XI)-15-ABD, 各( )-4-I, 各( )-5-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
11月26日(月) 1時間 11:00～11:50	(講義)第14回 ・矯正歯科治療における固定2	【準備学習項目】 ・固定の意義を説明できる。 【講義】302教室 ・固定の種類 3) 抜歯症例における抜歯空隙利用のための固定の分類について説明できる。 F-4-1)- 各( )-3-D	山口大
11月26日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第9回 ・上顎前方牽引装置2	【準備学習項目】 ・上顎前方牽引装置の作用機序について説明できる。 【実習】第5実習室 ・牽引用アームのろう着ができる。 ・上顎前方牽引装置の合着ができる。 F-4-1)- 総(XI)-15-ABD, 各( )-4-I, 各( )-5-A	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月3日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	〔実習前講義〕第3回 ・アクチバートル	【準備学習項目】 ・アクチバートルの基本構造について説明できる。 【講義】302教室 ・構成咬合について説明できる。 ・アクチバートルの製作法を説明できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-A,各 -( )-4-C,各 -( )-5-A>	齋藤勝彦
12月3日(月) 3.5時間 13:00 ~ 16:25	(実習)第10回 ・アクチバートル1	【準備学習項目】 ・アクチバートルの基本構造について説明できる。 【実習】第5実習室 ・構成咬合を採得後、構成咬合器に作業模型を付着できる。 ・アクチバートルの使用目的および装置の構成、各種誘導線の使用目的を述べるができる。 F-4-1)- 総(XI)-15-A,各 -( )-4-C,各 -( )-5-A>	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
12月10日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	(講義)第17回 ・矯正用材料 ・矯正用器械・器具1	【準備学習項目】 ・矯正用器材を列挙できる。 【講義】302教室 ・矯正用材料としての金属材料にどのようなものがあるか、またゴム質ならびにレジン材料の所要性質を述べるができる。 ・矯正用器材特徴について説明できる。 E-1- 総(XI)-15	榎本豊
12月10日(月) 3.5時間 13:00 ~ 16:25	(実習)第11回 ・アクチバートル2	【準備学習項目】 ・アクチバートルの作用機序について説明できる。 【実習】第5実習室 ・アクチバートルの使用目的および装置の構成、各種誘導線の使用目的を述べるができる。 F-4-1)- 総(XI)-15-A,各 -( )-4-C,各 -( )-5-A>	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
12月17日(月) 1時間 11:00 ~ 11:50	〔実習前講義〕第4回 ・マルチブラケット装置	【準備学習項目】 ・マルチブラケット装置の基本構造について説明できる。 【講義】302教室 ・マルチブラケット装置の製作法を説明できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-AB,各 -( )-4-K,各 -( )-5-B	齋藤勝彦
12月17日(月) 3.5時間 13:00 ~ 16:25	(実習)第12回 ・リップバンパー ・ヘッドギア ・拡大装置 ・マルチブラケット装置1	【準備学習項目】 ・リップバンパー、ヘッドギア、拡大装置のそれぞれの構成を説明できる。 【実習】第5実習室 ・リップバンパーの構成および使用方法を説明できる。 ・ヘッドギアの構成および使用方法を説明できる。 ・拡大装置の構成および使用方法を説明できる。 ・マルチブラケット装置の構成および使用方法を説明できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-AB,各 -( )-4-FGKLM,各 -( )-5-B	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
12月22日(土) 1時間 11:00 ~ 11:50	〔講義〕第20回 ・矯正装置3 ・永久歯列期の治療1	【準備学習項目】 ・Edgewise装置の概略について説明できる。 【講義】302教室 ・マルチブラケット装置(Edgewise装置)の発達の歴史、構成および特徴について説明できる。 ・Edgewise装置のメカニズムについて説明できる。 F-4-1)- 各 -( )-4,各 -( )-5-B	齋藤勝彦
12月22日(土) 3.5時間 13:00 ~ 16:25	(実習)第13回 ・マルチブラケット装置2 ・器具返却	【準備学習項目】 ・マルチブラケット装置の概略を説明できる。 【実習】第5実習室 ・固定の概念について説明できる。 ・マルチブラケット装置による歯の移動様式について説明できる。 F-4-1)- 総(XI)-15-AB,各 -( )-4-K,各 -( )-5-B	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月21日(月) 1時間 11:00～11:50	〔講義〕第23回 ・矯正歯科治療中の口腔衛生管理 ・保定1	【準備学習項目】 ・矯正装置使用中の注意事項を列挙できる。 【講義】302教室 ・矯正治療中の口腔衛生管理について説明できる。 ・保定の定義、意義、および自然保定について説明できる。 C-3-2)- ,F-1-6)-(2)- ,F-4-1)- 各 -( )-5-FG	今村隆一
1月21日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第14回 ・矯正歯科治療におけるインフォームドコンセント1	【準備学習項目】 ・矯正歯科治療に生じるトラブルを列挙できる。【実習】第5実習室 ・矯正歯科治療におけるインフォームドコンセントについて説明できる。 A-4- 必-1-B	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利
1月28日(月) 1時間 11:00～11:50	〔講義〕第25回 ・矯正歯科治療に伴う偶発症	【準備学習項目】 ・矯正治療時に生じる偶発症を列挙できる。 【講義】302教室 ・矯正治療時に生じる偶発症について説明できる。 F-2-4)-(4)- ,F-3-3)-(2)- ,F-4-1)- 各 -( )-5-H	今村隆一
1月28日(月) 3.5時間 13:00～16:25	(実習)第15回 ・矯正歯科治療におけるインフォームドコンセント2	【準備学習項目】 ・矯正歯科治療に生じるトラブルを列挙できる。【実習】第5実習室 ・矯正歯科治療におけるインフォームドコンセントについて説明できる。 A-4- 必-1-B	葛西一貴 今村隆一 小野修一 榎本豊 根岸慎一 齋藤勝彦 山口大 五関たけみ 岡野美紀 徳永理利

## 小児歯科学実習（歯科医療の展開）

4 年次 後学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：前田 隆秀（小児歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から 20 歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。授業および実習で、心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした実習へ進む上での基本的な知識を習得する。
授業担当者	(講義) 前田隆秀、清水邦彦、清水武彦、松根健介、荒井清司、岡本 京 (実習) 前田隆秀、清水邦彦、清水武彦、松根健介、荒井清司、岡本 京、清水陽子、加藤桃江、伊藤奈々、臼井朗、折野大輔、小尾友美、平井則光、青木 望、砂田怜子、平手華奈、澤本圭南子、嶋田理菜、三井裕美、赤羽康彦、有馬嗣雄、生田剛史、生田 哲、井上雄温、植松晃樹、太田宅哉、小川恭央、倉田康弘、倉持治彦、小宮城治、齋藤充良、清水久美子、鈴木康弘、田中眞理、谷 博司、中田郁平、中村 均、中山 務、西川康博、原昌伸、蛭川沙織、松原 清、松村東栄、三好克実、山崎 優、横屋知恵子、横山伸夫、吉田明弘
教科書	(講義) 小児の口腔科学 (前田隆秀 他、学建書院) (実習) 小児歯科学基礎・臨床実習 (大東道治 他、医歯薬出版)
参考図書	(講義) 第 2 版 小児歯科学 (医歯薬出版) (実習) 小児歯科基礎臨床実習マニュアル: 赤坂守人、大東道治、前田隆秀、宮澤裕夫・医歯薬出版
実習器材	小児顎模型、石膏歯牙模型、ワックス棒、スチールバー、カーバイドバー、金冠バサミ、乳歯冠、印象材、コバルトクロム線、ラバーダムシート他
評価方法 (EV)	(講義) 毎回実施する小テスト (15%)、講義中の態度 (5%) を総合的に評価を行う。 (実習) 毎回実施する小テスト (15%)、中間テスト (20%)、提出物 (40%)、実習態度 (5%) により、総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から 20 歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問である。“小児歯科学は予測の学問である”。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9 月 28 日 (金) 3 時間 9:00 ~ 11:50	講義：乳歯の解剖学的特徴 (1)	【準備学習項目】 ・乳歯の形態について説明できる。 【講義】(清水武彦) ・乳歯の解剖学的形態の特徴を把握し、代生歯 (後継永久歯) との形態的差異を理解し説明できる。 < E-3-1)-2,3 > 必 -6-C-a,b,c	前田隆秀 清水邦彦 清水武彦 松根健介 岡本京 伊藤奈々 臼井朗 小尾友美 折野大輔 平井則光 赤羽康彦 有馬嗣雄 生田剛史 生田 哲 井上雄温 植松晃樹 太田宅哉 小川恭央 倉田康弘 倉持治彦 栗田朋治 小宮城治 齋藤充良 清水久美子 鈴木康弘 田中眞理 高澤竜一郎 谷 博司 寺田英史 中田郁平 中村均 中山 務 西川康博 原昌伸 蛭川沙織 松永哲 松原清 松村東栄 三好克実 山崎優 横屋知恵子 横山伸夫 吉田明弘
9 月 28 日 (金) 1.5 時間 13:00 ~ 14:25	実習：ガイダンス、下顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	【実習】 ・実習の意義と心構え ・器具、器材の配布 ・実習で用いる作業模型の作製 ・下顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。 < E-3-1)-2,3 >	同上
10 月 5 日 (金) 3 時間 9:00 ~ 11:50	講義：乳歯の解剖学的特徴 (2)	【準備学習項目】 ・乳歯の形態について説明できる。 【講義】(清水武彦) ・乳歯の解剖学的形態の特徴を把握し、代生歯 (後継永久歯) との形態的差異を理解し説明できる。 < E-3-1)-2,3,4 > 必 -6-C-a,b,c	同上
10 月 5 日 (金) 1.5 時間 13:00 ~ 14:25	実習：上下顎右側第一乳歯の解剖学的特徴	【実習】 ・下顎右側第一乳歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。 < E-3-1)-2,3 > 必 -6-C-a,b,c	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月12日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：乳臼歯の歯冠修復(1)	【準備学習項目】 ・乳歯の歯冠修復について説明できる。 【講義】(荒井) ・アマルガム、インレー、コンポジットレジン修復の適応症とその術式を理解し説明できる。 < E-4-2)-2,3,4 > 必-15-O-a 各-III-(I)-A,B,C	同上
10月12日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：上下顎右側第二乳臼歯の解剖学的特徴	【実習】 ・上下顎右側第二乳臼歯の解剖学的形態を理解し、ワックス彫刻ができる。 < E-3-1)-2,3 > 必-6-C-a,b,c	同上
10月19日(金) 3時間 9:00～11:50	実習：ラバーダム防湿法とコンポジットレジン修復(下顎右側第一、第二乳臼歯)	【実習】 ・ラバーダム防湿法の術式を習得する。 ・コンポジットレジン修復の術式を習得する。 < E-4-2)-2,3,4 > 必-15-O-a 各-III-(I)-1-A,B,C	同上
10月26日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：乳歯の歯内療法 1)間接覆髄法 2)直接覆髄法 3)歯髄切断法	【準備学習項目】 ・乳歯の歯内療法について説明できる。 【講義】(荒井) ・間接・直接覆髄法の適応症とその術式を理解し説明できる。 ・歯髄切断法の種類、適応症、病理組織学的変化、術式を理解し説明できる。 < E-4-2)-5,6 > 各-III-(II)-1-A,B,C	同上
10月26日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：水酸化カルシウム法による歯髄切断法(下顎左側第二乳臼歯)と乳歯用冠支台歯形成	【実習】 ・水酸化カルシウム法による歯髄切断法の術式ができる。 ・既製乳歯用冠の形成法の術式ができる。 < E-4-2)-5,6 > 各-III-(II)-1-A,B,C	同上
11月2日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：乳臼歯の歯冠修復(2) 保険(1)	【準備学習項目】 ・乳歯の歯冠修復および保険について説明できる。 【講義】(荒井) ・乳歯用冠およびクラウンフォームの適応と術式について理解し説明できる。 ・保険装置の種類、適応症および作成法を理解し説明できる。 < E-4-2)-2,3,4 > 各-II-(I)-5-C	同上
11月2日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：乳歯用冠(下顎左側第二乳臼歯) 1)乳歯用冠の試適 2)取り込み印象 クラウンループの屈曲	【実習】 ・乳歯用冠の試適及び装着ができる。 ・クラウンループの外形線の設定と屈曲ができる。 < E-4-2)-2,3,4 > 各-II-(I)-5-C	同上
11月9日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：保険(2)	【準備学習項目】 ・保険について説明できる。 【講義】(小川) ・保険装置の種類、適応症および作成法を理解し説明できる。 < E-4-2)-9 > 各-II-(I)-5-C	同上
11月9日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：クラウンループの屈曲と作製 1)ループの屈曲 2)蝟着 3)研磨	【実習】 ・屈曲、蝟着、研磨をし、クラウンループを作製できる。 < E-4-2)-9 > 各-II-(I)-5-C	同上
11月16日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：動的咬合誘導(1) 歯列周長分析	【準備学習項目】 ・歯列周長分析について説明できる。 【講義】(小川) ・歯列周長分析(小野の分析法と Moyers の分析法)を理解し説明できる。 ・乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。 < E-4-2)-8 > 各-II-(I)-5-A,B	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月16日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：歯列周長の分析とアダムスのクラスプの屈曲(1) 1)歯列周長分析 2)アダムスのクラスプの屈曲(上顎右側第一大臼歯)	【実習】 ・小野の分析法によって実習症例の歯列周長分析ができる。 ・上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプを屈曲できる。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
11月30日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：動的咬合誘導(2)	【準備学習項目】 ・咬合誘導について説明できる。 【講義】(小川) ・乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
11月30日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：アダムスのクラスプの屈曲(2) (上顎左右第一乳臼歯)	【実習】 ・上顎左右第一乳臼歯、上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプ、上顎左側第一大臼歯にシャーミーのコイルスプリングを屈曲できる。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
12月7日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：歯と歯列の発育	【準備学習項目】 ・歯の発育について説明できる。 【講義】(清水邦彦) ・乳歯および永久歯の発生と歯列の成長を理解し説明できる。 < E-3-1)-1 > < E-4-2)-8 > 必 -(V)-3-F 必 -(V)-4-C	同上
12月7日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：アダムスのクラスプの屈曲(3) (上顎左右第一乳臼歯)	【実習】 ・上顎左右第一乳臼歯、上顎右側第一大臼歯にアダムスのクラスプ、上顎左側第一大臼歯にシャーミーのコイルスプリングを屈曲できる。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
12月14日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：幼若永久歯の歯内療法	【準備学習項目】 ・幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 【講義】(松根) ・覆髄法とくに暫間の間接覆髄法の適応症と術式を理解し説明できる。 ・抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 ・Apexogenesis と Apexification についての術式と治癒過程を理解し説明できる。 < E-4-2)-5,6 > 各 -III-(II)-1-C,D	同上
12月14日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：シャーミーの装置の屈曲とレジン床の作製 1)シャーミーのコイルスプリングの屈曲 2)レジン埋入	【実習】 ・上顎左側第一大臼歯にシャーミーのコイルスプリングを屈曲できる。 ・アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンで埋入できる。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
12月15日(土) 1.5時間 9:00～10:25	講義：小児への歯科的対応法	【準備学習項目】 ・小児の対応法について説明できる。 【講義】(清水武彦) ・歯科診療に必要な小児の心理を理解し説明できる。 ・年齢別に見た歯科的対応を理解し説明できる。 ・非協力児の対応法を理解し説明できる。 < E-4-2)-10 > 必 -7-B-a	同上
12月21日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：小児期の抜歯 1)麻酔法 2)乳歯の抜歯	【準備学習項目】 ・乳歯の抜歯について説明できる。 【講義】(松根) ・種々な麻酔法(伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔)の適応症と術式を理解し説明できる。 ・乳歯の抜歯の適応と術式を理解し説明できる。 < E-1-3)-(3)-1,5,6 > < E-1-4)-1,3 > 必 -15-M-a	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月21日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：1)シャーミーの装置の 研磨と口腔模型への装着 2)第一大臼歯の遠心移動	【実習】 ・レジン床の研磨ができる。 ・シャーミーの装置を顎模型に装着し、上顎第一大臼歯が遠心移動するか否かを体験し、作成物の良い点、悪い点を考慮し理解する。 < E-4-2)-8 > 各 -II-(I)-5-A,B	同上
1月11日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：永久歯の外傷	【準備学習項目】 ・小児期の外傷について説明できる。 【講義】(松根) ・永久歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 ・種々な外傷の程度とその処置法を乳歯の外傷と比較しながら理解し説明できる。 < E-4-2)-7 > 各 -II-(II)-2-E	同上
1月11日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：外傷歯のワイヤー固定 実習中間試験	【実習】 ・永久歯の外傷におけるワイヤー固定処置ができる。 < E-4-2)-7 > 各 -II-(II)-2-E	同上
1月18日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：小児の齲蝕予防(1)	【準備学習項目】 ・齲蝕予防について説明できる。 【講義】(清水邦彦) ・小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 < B-3-2)-1,2 > < E-1-6)-(1)-1,2 > < E-4-2)-8 > 各 -I-1-F 総 -(XI)-7-E	同上
1月18日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習： 小窩裂溝填塞法 フッ化物歯面塗布法 保護者への保隙装置の説明	【実習】 ・小窩裂溝填塞ができる。 ・フッ化物歯面塗布(綿球法)ができる。 ・保護者への保隙装置の説明ができる。 < B-3-2)-1,2 > < E-1-6)-(1)-1,2 > < E-4-2)-8 > 各 -I-1-F 総 -(XI)-7-E	同上
1月25日(金) 3時間 9:00～11:50	講義：小児の齲蝕予防(2)	【準備学習項目】 ・齲蝕予防について説明できる 【講義】(清水邦彦) ・小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 < B-3-2)-1,3,5 > < E-1-6)-(2)-1,3,4,5 > < E-4-2)-2 >	同上
1月25日(金) 1.5時間 13:00～14:25	実習：保護者へのブラッシング 指導	【実習】 ・保護者へのブラッシング指導ができる。 < B-3-2)-1,3,5 > < E-1-6)-(2)-1,3,4,5 > < E-4-2)-2 >	同上

## 系統別疾患と歯科治療（全身疾患患者の歯科治療）

4 年次 後学期	授業科目責任者：葛西 一貴（歯科矯正学） ユニット責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	医学・医療は発達し、社会の疾病構造は急性疾患から糖尿病、高血圧、膠原病、ガン、心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化症などライフスタイルに絡んだ慢性疾患に移行している。そして社会の高齢化に伴い、全身疾患患者は増加の一途を辿っている。先天的な疾患や発達障害を含め、このような患者さんに発生した歯科疾患を治療するためには、全人的医療が提供されなければならない。「全身疾患患者の歯科治療」では、全身疾患がある患者さんに対して適切な歯科医療を提供するために必要な基本的概念を解説する。
授業担当者	内科学：坂巻達夫 障害者歯科学：野本たかと 顎顔面外科学：近藤壽郎、神野良一、武川寛樹 歯科臨床検査医学：福本雅彦 口腔外科学：秋元芳明、西村 均、田中茂男 歯科麻酔学：渋谷 鑣 顎顔面矯正学：大峰浩隆、 顎口腔機能治療学：小見山道 有床義歯補綴学：成田紀之、飯島守雄 客員教授：和氣裕之 看護科：神 尚子
教科書	有病者歯科ポケットブック、全身疾患 vs 歯科治療・デンタルダイヤモンド社
参考図書	チャート式こんな患者が来院したら・・・歯科治療と全身疾患・デンタルダイヤモンド社、オーラルメディスン 口腔内科学・永末書店、有病者・高齢者歯科治療マニュアル・医歯薬出版、有病高齢者歯科治療のガイドライン・クインテッセンス、妊婦・授乳婦の歯科治療と薬物療法・砂書房、ベルの口腔顔面痛 第5版・クインテッセンス出版、Bell's Orofacial Pain 6ed・Quintessence、歯科医のための心身医学・精神医学・日本歯科評論社、顎関節症診断・治療マニュアル・永末書店、口腔顔面痛 基礎から臨床へ・クインテッセンス、障害者歯科ガイドブック・医歯薬出版、障害者歯科の手びき・相川書房、障害者福祉の世界、有斐閣アルマ、口腔・中咽頭がんのリハビリテーション・医歯薬出版、Prosthetic Rehabilitation・Quintessence、食べる機能の障害 その考え方とリハビリテーション・医歯薬出版、よくわかる摂食・嚥下のしくみ・医歯薬出版、摂食・嚥下リハビリテーション・医歯薬出版、歯科医師のための皮膚科学<第2版>・医歯薬出版、サイコ・デンティストリー、歯科医のための心身医学・精神医学・砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	平常試験（50%）と期末試験（50%）によって評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	全身疾患を有する患者の歯科治療上の注意点を知らずして、将来、歯科医療に従事する者にとって不可欠な内容です。臨床実習の前に本科目の基本的事項を身につけることができれば、歯科臨床における知的なマネージメントを理解できるはずですが、 なお、本講義を受講するにあたり、常識ある授業態度を義務づける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の歯科治療 導入(2) 医療の立場から	<b>【準備学習項目】</b> 1) 全人的医療を説明できる。 2) 生活習慣病を説明できる。 <b>【講義】</b> 1) 全人的医療の概略を説明できる。 2) 疾病構造の変化を説明できる。 3) 生活習慣病の概念を説明できる。 4) 加齢と疾患について説明できる。 </総-( )-1-F,G,各-( )6-A,C,D>	坂巻達夫
10月3日(水) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の歯科治療 導入(1) 歯科医療の立場から	<b>【準備学習項目】</b> 疾患に基づく症状や病態の定義を説明できる。 <b>【講義】</b> 1) 全身疾患と口腔の関係を説明できる。 2) オーラルメディスンの概念を説明できる。 F-1-(1)-2, F-1-(1)-16)～17), 必-7-C, 必-8-A 及び C, 総-(III)-3-A	近藤壽郎
10月10日(水) 1時間 11:00～11:50	妊婦の歯科治療上の注意点	<b>【準備学習項目】</b> 妊婦に対する歯科治療時の注意点を説明できる。 <b>【講義】</b> 1) 歯科治療時の注意点を述べられる。 2) 胎児、母体へのエックス線の影響を述べられる。 3) エックス線撮影の注意点を述べられる。 4) 薬物の胎児への影響を述べられる。 F-1-4), D-5-1)	秋元芳明

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月11日(木) 1時間 11:00～11:50	高齢者の歯科治療上の注意点	【準備学習項目】 日本における疾患構造の変化について説明できる。 【講義】 1) 加齢に伴い発症頻度が高くなる疾患を説明できる。 2) 要介護の原因疾患を説明できる。 3) 要介護高齢者の口腔疾患の特徴を説明できる。 4) 脳血管障害患者の歯科治療における注意点を説明できる。 5) 心疾患患者の歯科治療における注意点を説明できる。 6) 認知症患者の歯科治療における注意点を説明できる。 F-2-(6)-2)-3) および 6), 必-2-C, 必-14-F-a～d, 必-14-Z-a～b, 各-I-(IV)-2～4	野本たかと
10月17日(水) 1時間 11:00～11:50	感染症患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) HIV, HBV, HCV について述べられる。 2) MRSA, インフルエンザなどの感染症を述べられる。 【講義】 1) 歯科でみられる微生物感染症の種類を述べられる。 2) 感染症の感染機序を述べられる。 F-2-4)-(7), D-3-1)	西村均
10月18日(木) 1時間 11:00～11:50	皮膚科疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) 皮膚及び粘膜の構造について説明できる。 2) 皮膚及び粘膜の働きについて説明できる。 【講義】 1) 皮膚科疾患について概説できる。 2) 皮膚科疾患患者の口腔内における特徴を説明できる。 3) 皮膚科疾患患者の歯科治療時の注意点を説明できる。 マルチメディア、スライド、プリント F-2-4)-(7)-、各-( )-2-C	大峰浩隆
10月24日(水) 1時間 11:00～11:50	発音障害とリハビリテーション	【準備学習項目】 口腔、鼻腔、咽頭、および喉頭の解剖学的特徴を説明できる。 【講義】 1) 発音の生理的メカニズムを説明できる。 2) 構音障害を説明できる。 3) 発音障害の原因を挙げられる。 4) 発音のリハビリテーション法を説明できる。 F-2-(3)-6), F-2-(5)-8)-3), 必-14-Y, 総-I-12-A～B, 総-II-(IV)-17-E～F, 総-II-(V)-10-D, 各-III-(IV)-2-A	野本たかと
10月25日(木) 1時間 11:00～11:50	顎顔面欠損患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) 顎顔面欠損の成因を説明できる。 【講義】 1) 顎顔面に欠損を有する患者の背景を説明できる。 2) 顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。 3) 顎顔面に欠損を有する患者の補綴方法を説明できる。 F-2-4)-(8)-、F-3-4)-(3)-～ 総- -1-H～N, 総- -7-B 各- -1-A～E, 各- -8,9	飯島守雄
10月31日(水) 1時間 11:00～11:50	慢性疼痛患者の歯科治療	【準備学習項目】 口腔周辺に慢性疼痛を有する疾患について説明できる。 【講義】 1) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患について列記できる。 2) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患の治療について説明できる。 3) 非歯原性歯痛を起こしうる疼痛性疾患について列記できる。 4) 非定型歯痛について説明できる。 5) 慢性疼痛患者の歯科治療における注意点を列記できる。 F-2-4)-7, IX-1-A	小見山道
11月1日(木) 1時間 11:00～11:50	慢性疼痛患者の歯科治療	【準備学習項目】 口腔周辺に慢性疼痛を有する疾患について説明できる。 【講義】 1) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患について列記できる。 2) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患の治療について説明できる。 3) 非歯原性歯痛を起こしうる疼痛性疾患について列記できる。 4) 非定型歯痛について説明できる。 5) 慢性疼痛患者の歯科治療における注意点を列記できる。 F-2-4)-7, IX-1-A	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月7日(水) 1時間 11:00～11:50	口腔顔面の難治性神経疾患(神経障害性疼痛)と歯科治療(1)	【準備学習項目】 1) 口腔顔面の神経障害性疼痛については説明できる。 2) 口腔顔面の痛みの末梢感作については説明できる。 3) 口腔顔面の痛みの中枢感作については説明できる。 【講義】 1) 口腔顔面の痛みの知覚・認知プロセスを説明できる。 2) 口腔顔面の痛みの発症と末梢感作にかかわる神経病理を説明できる。 3) 口腔顔面の痛みの中枢感作にかかわる神経病理を説明できる。 4) 口腔顔面の痛みの知覚・認知プロセスの障害を説明できる。 5) 口腔顔面の神経障害性疼痛の診断と治療を説明できる。 D-4-6)- , F-4-5)- , 各(V)-1-E-4-a, (V)-2-G, ( )-1-A-c, ( )-1-C-a	成田紀之
11月8日(木) 1時間 11:00～11:50	口腔顔面の難治性神経疾患(口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア))と歯科治療(2)	【準備学習項目】 1) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)については説明できる。 2) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における感覚障害、精神心理ならび認知機能については説明できる。 【講義】 1) 顎口腔系の感覚運動機能にかかわる中枢制御を説明できる。 2) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)の発症要因を説明できる。 3) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における運動機能の障害メカニズムを説明できる。 4) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における感覚異常(oral dysesthesia)のメカニズムを説明できる。 5) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における精神神経機能ならびに認知機能とのかわりを説明できる。 6) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)の診断と治療を説明できる。 各(V)-2-F, ( )-1-C-a	同上
11月14日(水) 1時間 11:00～11:50	呼吸器系疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 呼吸器系疾患患者の基礎的事項について説明できる。 【講義】 1) 呼吸機能検査法と検査値について説明できる。 2) 換気障害の分類が説明できる。 3) ガス交換について説明できる。 4) 歯科治療に問題となる呼吸器疾患について述べられる。 F-1-3)-(1) / 総-( )-1-C, 総-( )-3-A-a,b	渋谷鏡
11月15日(木) 1時間 11:00～11:50	呼吸器系疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 呼吸器系疾患患者の基礎的事項について説明できる。 【講義】 1) 呼吸機能検査法と検査値について説明できる。 2) 換気障害の分類が説明できる。 3) ガス交換について説明できる。 4) 歯科治療に問題となる呼吸器疾患について述べられる。 F-1-3)-(1) / 総-( )-1-C, 総-( )-3-A-a,b	同上
11月21日(水) 1時間 11:00～11:50	がん患者の歯科治療	【準備学習項目】 放射線障害と抗がん薬投与の問題点を説明できる。 【講義】 1) 放射線障害の種類を述べられる。 2) 放射線障害への対応を述べられる。 3) 抗がん薬投与の問題点を述べられる。 4) エピテーゼとプロテーゼについて説明できる。 F-1-4), F-2-4)-(3)	秋元芳明
11月22日(木) 1時間 11:00～11:50	平常試験	9月27日から11月21日までの講義分の試験	
11月28日(水) 1時間 11:00～11:50	血液造血系疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 各種白血球の働きを説明できる。 【講義】 1) 悪性リンパ腫の臨床的病態を述べることができる。 2) 多発性骨髄腫の臨床的病態を述べることができる。 3) 多発性骨髄腫の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 マルチメディアを使用 F-2-4)-(7) 総-VII-1-E	福本雅彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月29日(木) 1時間 11:00～11:50	血液造血系疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 各種白血球の働きを説明できる。 【講義】 1) 無顆粒球症の臨床的病態を述べるができる。 2) 無顆粒球症の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 3) GVHDの臨床的病態を述べるができる。 4) GVHDの原因・対策を述べるができる。 マルチメディアを使用 F-2-4)-(7) 総-VII-1-E 総-VI-6-H	同上
12月5日(水) 1時間 11:00～11:50	口腔疾患患者の栄養・食事指導	【準備学習項目】 経管栄養法および栄養指導の基本を説明できる。 【講義】 1) 栄養補給法を述べられる。 2) 食事の種類を述べられる。 3) 食形態を述べられる。 4) 特別食とは何かを述べられる。 5) 特別食の基本を説明できる。 6) 食事指導の基本を述べられる。 7) 栄養指導の基本を述べられる。 F-1-4), F-2-4)	秋元芳明 神尚子
12月6日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(1)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	近藤壽郎
12月12日(水) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(2)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	同上
12月13日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(3)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	同上
12月19日(水) 1時間 11:00～11:50	肝・消化器系疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 慢性肝炎および肝硬変の病態を説明できる。 【講義】 慢性肝炎の病態生理を説明できる。 肝硬変と肝がんの病態生理を説明できる。 -( )-2-C D-2-3)-(8)	秋元芳明 田中茂男
12月20日(木) 1時間 11:00～11:50	肝・消化器系疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 胃・十二指腸潰瘍の病態を説明できる。 【講義】 1) 慢性肝炎患者の歯科的管理を説明できる。 2) 肝硬変と肝がん患者の歯科的管理を説明できる。 3) 胃潰瘍・十二指腸潰瘍の病態生理を説明できる。 4) 胃潰瘍・十二指腸潰瘍の歯科的管理を説明できる。 -( )-2-D D-2-3)-(6) -( )-2-C D-2-3)-(8)	同上
1月9日(水) 1時間 11:00～11:50	代謝性疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 1) 糖尿病について説明できる。 2) 肥満について説明できる。 3) 脂質代謝異常について説明できる。 【講義】 1) 糖尿病の病態生理と臨床症状を説明できる。 2) 糖尿病患者の内科的治療を理解する。 3) 糖尿病患者の歯科的管理を説明できる。 4) 肥満の病態生理を説明できる。 5) 脂質代謝異常の病態生理を説明できる。 6) 脂質代謝異常を持った患者の歯科的管理を説明できる。 D-2-(3) IV-(V)-2-C	神野良一

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月10日(木) 1時間 11:00～11:50	代謝性疾患患者の歯科治療(2)	<b>【準備学習項目】</b> 1)下垂体機能障害について説明できる 2)甲状腺機能異常について説明できる 3)副甲状腺機能異常について説明できる <b>【講義】</b> 1)下垂体機能障害の病態生理を説明できる。 2)下垂体機能障害患者の歯科的管理を説明できる。 -( )-2-D D-2-3)-(6) 3)甲状腺機能異常の病態整理を説明できる。 4)甲状腺機能異常の歯科的管理を説明できる。 5)副甲状腺機能異常の病態整理を説明できる。 6)副甲状腺機能異常の歯科的管理を説明できる。 7)副腎機能異常の病態整理を説明できる。 8)副腎機能異常の歯科的管理を説明できる。 D-2-3)-(8)- - -4-E-b - -4-E-c - -4-E-d	同上
1月16日(水) 1時間 11:00～11:50	免疫系・アレルギー疾患患者の歯科治療(1)	<b>【準備学習項目】</b> アレルギーについて説明できる。 <b>【講義】</b> 1)アレルギーの分類を説明できる。 D-3-2)-(5)/I-(I)-13-C 2)歯科治療における金属アレルギーの発症機序を説明できる。 D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-H-3	武川寛樹
1月17日(木) 1時間 11:00～11:50	免疫系・アレルギー疾患患者の歯科治療(2)	<b>【準備学習項目】</b> 慢性関節リウマチ、ベーチェット病、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデスについて説明できる。 <b>【講義】</b> 1)自己免疫疾患の分類を説明できる。 2)以下の自己免疫疾患の病態と歯科治療における注意点を説明できる。 慢性関節リウマチ、ベーチェット病 D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-I 3)以下の自己免疫疾患の病態と歯科治療における注意点を説明できる。 シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-I	同上
1月23日(水) 1時間 11:00～11:50	心身医学と歯科治療(1)	<b>【準備学習項目】</b> 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を説明出来る。 <b>【講義】</b> 1)心身相関を説明出来る(SOAPシステム・ストレスと心身症)。 2)歯科心身症(舌痛症、顎関節症、口臭恐怖症、歯科治療恐怖症)を説明出来る。 3)口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明出来る。 F-4-5- , F-4-5- , F-2-4-(4)- ( )	和氣裕之
1月24日(木) 1時間 11:00～11:50	心身医学と歯科治療(2)	<b>【準備学習項目】</b> 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を説明出来る。 <b>【講義】</b> 1)心身医学・精神医学的な対応を要する患者の分類を説明出来る。 2)心理テストを説明できる。 3)心身医学的な診療を説明出来る。 F-4-5- , F-4-5- , F-2-4-(4)- ( )	同上



## 障害者歯科学（全身疾患患者の歯科治療）

4 年次 後学期	授業科目責任者：葛西 一貴（歯科矯正学） ユニット責任者：葛西 一貴（歯科矯正学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	障害者歯科学の基本理念，障害に関する医学的基礎知識と歯科診療上の配慮，および障害者地域歯科医療に必要な社会歯科学的背景について解説する。将来，障害者地域歯科保健・医療に関与した時，その課題を解決するための基本的な能力を習得することが，本講義の目的である。
授業担当者	伊藤政之，野本たかと，梅澤幸司，林 佐智代，田中陽子
教科書	スペシャルニーズ デンティストリー障害者歯科学・医師薬出版
参考図書	障害者歯科ガイドブック・森崎市治郎ら編・医歯薬出版，有病者・高齢者歯科治療マニュアル・上田 裕ら編・医歯薬出版，障害者の歯科医療・酒井信明ら編・医学情報社，Disability and Oral Care・June Nunn ed・FDI World Dental Press
実習器材	なし
評価方法 (EV)	原則として定期試験（100％）による。定期試験は各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は講義回数に比例する。担当教員がレポート等の課題を課した場合には、その講義担当教員の評価は課題10％，定期試験90％とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	障害がある人を対象とした歯科医療の提供は，経験がある一部の歯科医だけが行うものではありません。歯科医師は，その地域における医療連携の中で，障害がある人が適切な医療を受けられるよう配慮する義務があります。このことを念頭に置き，受講して下さい。 オフィスアワー：月曜日～金曜日：8時30分～17時00分

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(木) 2時間 13:00～14:50	1. 社会と障害者 2. 障害者歯科の基本理念	【準備学習項目】 障害の意味を説明できる。 【講義】 1. 国際障害分類を説明できる。 2. 障害者基本法における障害者について説明できる。 3. ノーマライゼーションの概念を説明できる。 4. バリアフリーの意味を説明できる。 5. 障害者歯科の歯科的特性を説明できる。 C-2-(2)-7), 必-2-A-d, 必-2-B-c, 総-II-(VI)-1-A-b, 総-II-(VII)-1-C-a～d, 総-II-(VII)-5-F-a, 各-I-(III)-1-A～B	野本たかと
10月11日(木) 2時間 13:00～14:50	1. 障害者歯科の歴史 2. 福祉からみた能力障害	【準備学習項目】 社会福祉の概念を説明できる。 【講義】 障害者歯科の歴史を説明できる。 障害者に関わる医療統計と社会福祉を説明できる。 1. 福祉における障害の認定について説明できる。 2. 障害者人口の動態を説明できる。 3. 障害者福祉を支える法律を説明できる。 C-2-(2)-4), 総-II-(VI)-4-D-c, 総-II-(VII)-5-J-a, 総-II-(VII)-5-P-c～d, 総-II-(VII)-6-A-a～b, 各-I-(III)-2-A～C	伊藤政之
10月18日(木) 2時間 13:00～14:50	能力障害と判定基準	【準備学習項目】 障害者基本法に定められた「障害者」について説明できる。 【講義】 1. 身体障害の概要と原因疾患を説明できる。 2. 知的障害の概要と原因疾患を説明できる。 3. 精神障害の概要と原因疾患を説明できる。 4. その他の能力障害の原因となる疾患について説明できる。 F-2-(6)-3)-1)	野本たかと
10月25日(木) 2時間 13:00～14:50	障害の理解	【準備学習項目】 障害と疾患の種類を説明できる。 【講義】 障害者の受診時に配慮すべき事項を説明できる。 ライフサイクルからみた障害を説明できる。 1. 発達期障害：脳性まひ、精神遅滞、広汎性発達障害、学習障害等 2. 中途障害：高次脳機能障害、感覚障害等 3. 高齢期に発生する障害：脳血管障害、心疾患、認知症等 <F-4-4)- , F-4-3)- , 必-13-A-a,b, 必-14-Z-b, 総-I-(IV)-D-a,b, 総-I-(IV)-L-a,b, 総-II-(II)-1-A-k,l,p, 総-II-(II)-1-G-b,c,F,g,h, 総-II-(II)-1-H-a,b,c, 各-I-(III)-1-A, 各-I-(III)-2, 各-I-(IV)-2-A,B>	野本たかと

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月1日(木) 2時間 13:00～14:50	1. 発達障害と外表奇形 2. 障害者歯科に必要な診査 3. 行動調整と Four Handed Dentistry	【準備学習項目】 口腔・顎・顔面の正常発達を説明できる。 【講義】 1. 先天異常と発達期障害を説明できる。 2. Four Handed Dentistry について説明できる。 F-2-3)- / 必 -13-A-b 2. 口腔・頭蓋・顎顔面の異常と外表奇形の診査を説明できる。 F-2-3)- / 必 -13-A-b 3. 症候群の意味と障害者歯科に関連の深い症候群を説明できる。 F-2-4)-(7)- / 総 - -( )-4-L 4. 障害者の診査法を説明できる。 F-4-4)- / 総 - -( )-6-A 5. 障害者歯科治療における Four Handed Dentistry の意義を説明できる。 F-4-4)- / 各 - -( )-3-B	田中陽子
11月8日(木) 2時間 13:00～14:50	1. 初診時の診査事項 2. 行動観察法とオリエンテーション 3. 歯科治療時の基本的な介助方法(T.L.C.含む)	【準備学習項目】 小児の行動の特徴を説明できる。 【講義】 1. 初診時に収集すべき医療情報を説明できる。 F-4-4)- / 総 - ( )-6-A 2. 他の医療機関との連携(診療情報提供書等)を説明できる。 B-2-3)- / 必 -14-F-d 3. 行動観察について説明できる。 F-4-4)- / 各 - -( )-3-A 4. オリエンテーションの意義を説明できる。 F-4-4)- / 各 - -( )-3-A 5. 基本的な診療の介助方法を説明できる。 F-4-4)- / 各 - -( )-4-B	田中陽子
11月15日(木) 2時間 13:00～14:50	行動調整(行動管理)と歯科治療 その1 障害(児)者の行動上の問題や心理学的特性	【準備学習項目】 行動の心理学的特性を説明できる 【講義】 意識下における障害児・者の行動調整を説明できる。 1. 心理発達 F-4-2)-3/ 各 -I-1-A-a,b 2. 発達レベルの診断 F-4-4)-/ 各 - -1-B-a,b 各 -III-3-A 3. 障害受容 C-2-2)- , / 必 -2-A-e, 必 -2-B-c 4. 障害者歯科における臨床心理 F-4-4)- / 総 -II-1-C-a,b, 総 -II-1-D-1,D-2, 総 -II-1-E,F, 各 -III-3-B	田中陽子
11月22日(木) 2時間 13:00～14:50	行動調整(行動管理)と歯科治療 その2. 行動調整の基本	【準備学習項目】 1. 小児の歯科診療の歴史的背景を説明できる。 2. 学習理論について説明できる。 3. 各障害の心理的特性を説明できる。 【講義】 1. 行動調整の基本的な考え方を説明できる。 F-4-4)- / 必 -2-B-c, 必 -2-C-a, 各 -I-( )-3-A 2. 障害の特徴と行動調整の工夫を説明できる。 F-4-4)- , A-5-1)- / 必 -2-A-b, 必 -11-B-a, 必 -13-B-b,c, 総 -II-(II)-1-A-m, 総 -II-(II)-2-H-a,b,c, 総 -II-(II)-4-B,L, 総 -II-(V)-1-F, 各 -I-( )-3-B, 各 -I-( )-4-B	伊藤政之
11月29日(木) 2時間 13:00～14:50	行動調整(行動管理)と歯科治療 その3. 行動調整の実際	【準備学習項目】 1. 障害者の歯科受診行動について説明できる。 2. 障害者の歯科受診に関する環境因子について説明できる。 【講義】 1. 薬物を用いない行動調整法を説明できる。 F-4-4)- , A-3)- / 各 -I-( )-3-A,B 2. 薬物による行動調整法を説明できる。 B-2-3)- , F-4-4)- , F-1-3)-(2)- ~ , F-1-3)-(4)- , / 必 -14-F-d, 必 -14-J-b,c, 総 -II-(V)-8-C,D, 総 -II-(VII)-2-D-b	伊藤政之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月6日(木) 2時間 13:00～14:50	障害者のための予防歯科	<b>【準備学習項目】</b> 口腔疾患のセルフケアを説明できる。 <b>【講義】</b> 障害者のための口腔疾患予防法を説明できる。 1. 障害者における口腔疾患の特徴 F-2-3)- / 総-( )-2-B,C,D,E,F/ 各-( )-( )-3-A-b/ 各-( )-( )-4-D-a 2. 障害者のための口腔疾患予防対策の重要性と困難性 C-3-2)- / 各-( )-( )-5-A/ 各-( )-5-A-a,b,c 3. 全身疾患(誤嚥性肺炎など)との関係や原因菌 F-3-2)- / 必-14-Z-b/ 必-16-G-d/ 総-( )-3-H-i/ 各-( )-( )-4-F 4. 口腔ケア F-4-4)- / 必-14-Y-b/ 総-( )-3-H-h/ 各( )-4-A-a,b/ 各-( )-5-C 5. 口腔清浄の手段と口腔内環境の改善 F-4-4)- / 各-( )-4-A,B-a,b,c/ 各-( )-5-A-a,b,c	林佐智代
12月13日(木) 2時間 13:00～14:50	高齢障害者の歯科治療 その1	<b>【準備学習項目】</b> 1. 生物学的加齢変化および病的加齢変化について説明できる。 2. 脳血管障害患者の治療法について説明できる。 <b>【講義】</b> 1. 加齢に伴い発症頻度が高くなる疾患を説明できる。 F-4-3)- / 必-8-A-a/ 総-I-(II)-1-G/ 各-(V)-2-B 2. 要介護の原因疾患を説明できる。 F-4-3)- / 必-8-Z-b// 総-II-(V)-9-G/ 各-(IV)-2-A,B,C 3. 高齢障害者に特有な口腔疾患を説明できる。 F-4-3)- / 必-6-C-a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k/ 総-I-(II)-5-A,B,C,D,E/ 各-(IV)-1-A-a,b,c,d,e,f,g,h 4. 脳血管障害患者の歯科治療上の注意点を説明できる。 F-4-3)- / 必-14-F-a,b,c,d/ 総-II-(II)-3-B/ 総-II-(V)-9-C-2/ 各-(IV)-3-A,B,C/ 各-(IV)-4-A/ 各-(V)-4-B,C,D	梅澤幸司
12月20日(木) 2時間 13:00～14:50	1. 高齢障害者の歯科治療 その2 2. 精神障害者の歯科治療	<b>【準備学習項目】</b> 1. 心疾患患者のADLの制限について説明できる。 2. 神経疾患の定義を説明できる。 3. 精神障害として多くみられる疾患を説明できる。 <b>【講義】</b> 1. 心疾患患者の歯科治療を説明できる。 F-1-3)-(1)- / 必-14-Y-b/ 必-14-F-a,b,c,d/ 総-( )-( )-3-B/ 総-( )-( )-9-C-2/ 各-( )-2-B/ 各-( )-4-B,C,D 2. 神経系疾患(主としてパーキンソン病、認知症)患者の歯科治療上の注意点を説明できる。 F-4-3)- / 必-14-Y-b/ 必-14-F-a,b,c,d/ 総-( )-( )-9-C-6 / 各-( )-2-F/ 各-( )-4-C 3. 精神障害(てんかんを含む)患者の歯科治療上の注意点を説明できる。 F-4-4)- / 必-14-Y-b/ 必-14-F-a,b,c,d / 総-( )-( )-9-C-7/ 各-( )-2-G/ 各-( )-4-C 4. その他 F-4-3)- / 必-14-Y-b/ 必-14-F-a,b,c,d 総-( )-( )-9-I/ 各-( )-4-B,C,D	梅澤幸司
1月10日(木) 2時間 13:00～14:50	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その1	<b>【準備学習項目】</b> 成長・発達について説明できる。 <b>【講義】</b> 1. 食べることの意義を説明できる。 2. 哺乳動作を説明できる。 総-( )-( )-10-B 3. 摂食機能の発達とその獲得順序/段階を説明できる。 4. 摂食・嚥下動作時の各器官の役割を説明できる。 F-2-1)- / 総-( )-( )-10-C	林佐智代
1月17日(木) 2時間 13:00～14:50	摂食・嚥下機能障害のリハビリテーション その2	<b>【準備学習項目】</b> 頭頸部の解剖について説明できる。 <b>【講義】</b> 1. 嚥下障害と誤嚥性肺炎の関係を説明できる。 F-2-4)-(8)- / 必-16-G-d 2. 加齢による摂食・嚥下機能の減退を説明できる。 F-4-3)- / 各-( )-( )-1-B-d 3. 脳血管障害に対する摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 F-2-4)-(8)- / 必-14-Y-a	林佐智代

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月24日(木) 2時間 13:00 ~ 14:50	障害者のための地域歯科医療システム	<p>【準備学習項目】            障害者歯科医療に関連する医療機関を説明できる。</p> <p>【講義】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険の概要を説明できる。</li> <li>2. 病診(診診)連携を説明できる。</li> <li>3. 診療情報提供を説明できる。</li> <li>4. 訪問(在宅,施設,病院)歯科診療を説明できる。</li> <li>5. 障害者地域歯科医療のあり方を説明できる。</li> </ol> <p>B-2-(2)-6, B-2-(3)-1) 及び 2), C-2-(2)-3) 及び 6), 必-14-F-c 及び d, 必-16-G-c 及び d, s 総-II-(VI)-3-I, 総-II-(VII)-2-D-a ~ e, 総-II-(VII)-2-H-a ~ c, 各-V-(III)-4-A ~ C, 各-V-(III)-5-A 及び B</p>	梅澤幸司

## 外科系（全身と疾患）

4 年次 後学期	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学） ユニット責任者：平山 晃康（脳神経外科学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	歯科診療を行う上で不可欠な外科学的・皮膚科学的知識および考察法を習得する。
授業担当者	平山晃康、前田 剛、落合豊子、柴田昌彦、青木信彦、久保宏隆、桜井健一、宋 圭男、谷 真弓、畠中康晴、七條文雄、森 達郎、飯塚弘一
教科書	外科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。 皮膚科学：教科書を使用するが、レジメのプリントも配布する。
参考図書	歯科医のための外科学（第二版）：野口政宏・亀井秀雄、医歯薬出版 歯科医のための皮膚科学（第二版）：山崎雙次、山本浩嗣、山根源之、医歯薬出版 輸液を学ぶ人のために：和田 孝雄・近藤 和子、医学書院 その他、参考図書は講義中に紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験で評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	全身に対するの理解を深め、歯科診療を行う上で有用な知識を分かりやすく講義をします。 不明な点は平山教授室、脳神経外科研究室へ何時でもどうぞ。 e-mail: hirayama.teruyasu@nihon-u.ac.jp

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月3日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系1 外科学概論 近代外科学の発展 基本的外科手技	広義の外科の一分野としての歯科を理解する。 近代外科学の進歩を理解する。 外科学が発展してきた要因を説明できる。 外科手術に用いる器械・器具を理解し、切開縫合・止血法の基本を説明できる。 必-14-E-a、必-14-K-b、c 総-(V)-7-A、B、C、D	谷真弓
10月10日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系2 消毒法・滅菌法・清潔操作・損傷・炎症	無菌法・滅菌法を理解し、手術における感染防止の重要性を説明できる。損傷・炎症の分類、病態・治療法について基本的概念を理解する。創傷治癒のメカニズムが説明できる。 必-14-H-a、b、必-14-K-a、総-(V)-7-A-a、b、c、d D-4-1)、2)、4)	平山晃康 森達郎 荻野暁義
10月17日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系3 免疫	外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。 総-(I)-13-A、B、C D-3-2)	畠中康晴
10月24日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系4 術前、術後管理・体液・電解質	術前・術後管理の要点を説明できる。術後合併症を理解し対応法を説明できる。外科的侵襲を説明できる。体液・電解質の分布変動を説明できる。酸塩基平衡とホメオスタシスを説明できる。 総-(I)-1-G-a	久保宏隆
10月31日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系5 ショック 救急蘇生法	ショックの定義と症状、分類を説明できる。歯科治療中に遭遇するショックに対し救急蘇生法ができる。 必-8-A-a、必-12-A-a、b、c、必-12-B-a、b 総-(V)-12-A、B、総-(V)-13-A、B、 各-(V)-3-A F-1-5)	前田剛
11月7日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系6 腫瘍、抗腫瘍剤	腫瘍について基本的概念を理解する。良性・悪性の鑑別診断ができるようになる。抗腫瘍剤の作用機序・使用法・副作用を説明できる。 必-13-A-g 総-(IV)-1-K-a、b、c、d D-4-5)	柴田昌彦
11月14日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系7 気管・食道科総論	気管・食道の解剖・機能を理解できる。 誤嚥を理解し、説明が出来る。気管食道の異物について説明が出来る。	宋圭男
11月21日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系8 甲状腺・リンパ腺・乳腺	歯科科学領域で遭遇頻度の高い頭頸部疾患を理解する。 代表的な甲状腺疾患を説明できる。 代表的な乳腺疾患を説明できる。	桜井健一
11月28日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系9 急性腹症	急性腹症とは何かを説明できる。急性腹症の代表的な疾患を説明できる。	畠中康晴
12月5日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系10 食道疾患	食道の臨床解剖と疾患を理解する。 食道疾患について診断・治療法を説明できる。	宋圭男

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月12日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系11 消化管	消化性潰瘍の概念を理解する。消化性潰瘍の診断と治療法を説明できる。胃癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。大腸癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。大腸の炎症性疾患を説明できる。代表的な肛門疾患の診断治療について説明できる。	青木信彦
12月19日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系12 肝・胆・膵・腹膜疾患	代表的な肝臓・胆嚢・膵臓疾患を理解し、診断・治療法を説明できる。代表的な腹膜疾患の診断・治療法を説明できる。	柴田昌彦
1月9日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系13 皮膚疾患 総論と各論	皮膚の解剖を説明できる。 湿疹、蕁麻疹などの皮膚疾患の診断と治療を説明できる。	落合豊子
1月16日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系14 音声・言語学	音声障害の分類とその特徴を説明できる。<総-I-I-12> 構音障害の分類とその特徴を説明できる。<各-III-(IV)-2-A> 言語障害の分類とその特徴を説明できる。<F-2-4)-(8)-3>	七條文雄
1月23日(水) 2時間 9:00～10:50	外科・皮膚科系15 外科の進歩とまとめ	最近の外科治療の進歩と発展について理解する。 医学的歯科学における外科の位置づけを理解する。 まとめ	平山晃康 萩野暁義 飯塚弘一

## 頭蓋・顔面・頭頸部外科系（全身と疾患）

4 年次 後学期	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学） ユニット責任者：牧山 康秀（頭頸部外科学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	歯学と機能上不可分な解剖学的隣接領域の疾患を学習する。
授業担当者	頭頸部外科・牧山康秀、丹羽秀夫、 嶋原俊太郎、 副島一孝、 下田勝巳、脳神経外科・平山晃康、 前田剛
教科書	なし
参考図書	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 鈴木ら 医学書院 標準形成外科学第5版・秦ら・医学書院 標準脳神経外科学 児玉ら 医学書院 ベルの口腔顔面痛：痛みの診断と対処法 / ジェフリー・P・オケソン著 クインテッセンス出版（現在入手困難：本学図書館所蔵あり） Bell's Orofacial Pains: The Clinical Management Of Orofacial Pain Quintessence Pub Co (2004)
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験 (80%)、学習状況 (20%) を総合し評価とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	本学の Motto である medico-dental science の理解と構築発展のための基礎となる講義群である。本講座では顎口腔と解剖学的に隣接した医学領域の基本知識を得る。周辺分野をよりよく知ることによって歯科口腔外科の理解が一層深まり、self-confident となる。境界領域ではあるがそのほとんどは歯科医学教育の標準的内容と重複していることを追記しておく。詳細はユニット責任者へ： 連絡はまずメールで：makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月1日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	頭蓋顔面頸部外科1 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	【準備学習項目】 聴器、平衡器、鼻腔、副鼻腔、咽頭喉頭の解剖と生理が説明できる。 【講義】 耳鼻咽喉科学が歯科医学においてどのような位置づけにあるのかを理解し、解剖、生理について説明できる。 必 -6-A-f 必 -6-B-d,e,f,g	丹羽秀夫
10月6日(土) 2時間 9:00 ~ 10:50	頭蓋顔面頸部外科2 鼻科学各論・咽喉頭科学総論各論	【準備学習項目】 鼻腔、副鼻腔の解剖と生理を説明できる。 【講義】 鼻科領域において歯科医学と関連の深い検査法・診断・治療を説明できる。副鼻腔炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 咽頭・喉頭の解剖・機能を説明できる。咽喉頭疾患を説明できる。 総 -(III)-2-C, G 総 -(IV)-1,2,3 D-2-3)-(7)-2	丹羽秀夫
10月15日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	頭蓋顔面頸部外科3 耳科学総論	【準備学習項目】 聴器、平衡器の解剖生理を説明できる。 【講義】 耳の臨床解剖・機能を説明できる。 必 -6-A-f 総 -(III)-2-C,G D-2-3)-(4)-3	嶋原俊太郎
10月22日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	頭蓋顔面頸部外科4 耳科学各論 めまい・平衡機能	【準備学習項目】 平衡器の解剖生理について説明できる。 【講義】 平衡器官について検査・診断・治療法を理解する。 総 -(III)-2-G D-2-3)-(4)-3	嶋原俊太郎
10月29日(月) 2時間 9:00 ~ 10:50	頭蓋顔面頸部外科5 頭頸部腫瘍学	【準備学習項目】 頸部の解剖について説明できる。 【講義】 頭頸部腫瘍の診断・検査法・治療法について理解し説明ができる。 総 -(VI)-7 各 -IV-(I)-5	丹羽秀夫

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月5日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科6 形成外科総論・顎顔面領域の形成外科概論	【準備学習項目】 皮膚の組織、創傷の治癒を説明できる。 【講義】 形成外科の理念・方法論を理解する。顎顔面領域で関わる形成外科の疾患を説明できる。顎顔面領域における歯科ならびに形成外科学的審美学を理解する。 各-IV-(I)-1-A,B,C,D,E,H	副島一孝
11月12日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科7 口唇裂・口蓋裂	【準備学習項目】 顔面の解剖を説明できる。 【講義】 顔面の発生学と臨床解剖を理解し、説明できる。 総-(V)-3-A,B 口唇裂、口蓋裂の分類・症状・治療法を説明できる。 各-II-(I)-1-A,B F-2-3)	下田勝巳
11月19日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科8 唾液腺腫瘍・頸部郭清術	【準備学習項目】 唾液腺の解剖と生理を説明できる。 【講義】唾液腺の種類・解剖・機能を説明できる。 F-2-4)-4,5 必-6-B-c 唾液腺疾患の検査法、診断治療を説明できる。 F-2-4)-(5)/各-IV-(III)-1 頸部郭清術に必要な解剖、術式、合併症を説明できる。 各-IV-(I)-5-P-a	丹羽秀夫
11月26日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科9 神経皮膚症候群	【準備学習項目】 神経皮膚症候群、母斑症の定義を説明できる。 【講義】臨床口腔医学の視点から全身疾患である神経皮膚症候群(母斑症)を説明できる。 各-IV-(I)-6-X,Y 各-IV-(IV)-1-C,K,L,P,Q	牧山康秀
12月3日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科10 頭部顔面外傷・総論	【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 【講義】頭部顔面外傷に必要な解剖を説明できる。 頭部顔面外傷の分類を説明できる。 頭部顔面外傷の徴候と診断を説明できる。 頭部顔面外傷の治療を説明できる。 各-IV-(II)-2-A-K F-2-4)-(1)	牧山康秀
12月10日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科11 頭部顔面外傷・各論	【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 【講義】頭蓋骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 眼科骨折の分類・診断・治療を説明できる。 頬骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 上顎LeFort骨折の分類・診断・治療を説明できる。 F-2-4)-(1) 下顎骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 各-IV-(II)-2-A-K	前田剛
12月17日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科12 顔面頭頸部の形成再建外科	【準備学習項目】 皮弁の作成と創の形成を説明できる。 【講義】顔面頭頸部形成再建術に必要な解剖・術式・合併症を説明できる。顔面頸部領域で関わる形成外科的知識を説明できる。 各-IV-(I)-1-H 皮膚移植の種々の方法について説明できる。 各-IV-(I)-5-P-a	副島一孝
12月22日(土) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科13 頭部顔面外傷の合併症	【準備学習項目】 脳血管、大脳の肉眼解剖を説明できる。 【講義】外傷性脳神経麻痺の分類・診断・治療を説明できる。 外傷性脳血管障害の分類・診断・治療を説明できる。 外傷性てんかんの概念・分類・診断・治療を説明できる。	平山晃康
1月21日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科14 疼痛学総論	【準備学習項目】 知覚の解剖生理を説明できる。 【講義】疼痛学の基礎を説明できる。 総-(VI)-8 D-4-6)	牧山康秀
1月28日(月) 2時間 9:00～10:50	頭蓋顔面頸部外科15 口腔顎顔面領域などの慢性疼痛	【準備学習項目】 疼痛の臨床的意味を説明できる。 【講義】口腔顎顔面領域の慢性疼痛、関連する頭痛について説明できる。 総-(VI)-8 D-4-6)	牧山康秀



## 内科系（全身と疾患）

4 年次 後学期	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学） ユニット責任者：坂巻 達夫（内科学）
----------	--

学習の目標（GIO）	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	内科：坂巻達夫、大口純人、井上文央、脳神経外科：平山晃康
教科書	テキストを配布する。
参考図書	新臨床内科学第 8 版（医学書院） よくわかる内科学第 3 版（文光堂） 内科診断学（医学書院） 歯科のための内科学 改訂第 3 版（南江堂） チャート式こんな患者が来院したら・・・（デンタルダイヤモンド社）、Dentist's Guide to Medical Conditions and Complications. K.Ganda(Wiley-Blackwell)、有病者歯科ポケットブック全身疾患 VS 歯科治療（デンタルダイヤモンド社）
実習器材	なし
評価方法（EV）	定期試験（多肢選択問題）によって評価点（100%）とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。生理学、解剖学、生化学、病理学、薬理学の教科書は内科学を理解する上で重要ですので、いつでも見返せるようにしてください。 オフィスアワー午前 8 時ころより午後 5 時ころまで。e-mail:sakamaki.tatsuo@nihon-u.ac.jp

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9 月 27 日（木） 2 時間 9:00 ~ 10:50	内科診断学 1	【準備学習項目】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧異常について説明できる。 【講義】302 教室 症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。 < C-2-3)-(3)- ,C-4-3)- / 必 -9-A-a, 必 -9-C-k, 必 -10-E-c, 必 -15-Z-h, 総-( )-2-C,D,F, 総-( )-6-G, 総-( )-1-A,C, 各 - ( )-4-A,B,D >	坂巻達夫
10 月 11 日（木） 2 時間 9:00 ~ 10:50	内科診断学 2	【準備学習項目】 悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について説明できる。出血傾向、貧血について説明できる。浮腫、血尿、タンパク尿について説明できる。 【講義】302 教室 症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。 < C-2-3)-(11)- / 必 -9-A-a, 必 -11-C-b, 総-( )-2-E,I, 総-( )-1-D,E >	同上
10 月 18 日（木） 2 時間 9:00 ~ 10:50	内科診断学 3	【準備学習項目】 腰痛について説明できる。運動麻痺、認知症について説明できる。睡眠障害、うつ状態について説明できる。 【講義】302 教室 症候から考えられる疾患の診断過程とそれに関わる検査データを踏まえて鑑別診断ができる。 < / 必 -9-A-a, 必 -15-AB-b, 総-( )-1-G,H, 各 - ( )-3-F >	同上
10 月 25 日（木） 2 時間 9:00 ~ 10:50	生体機能検査（胸部 X 線写真、心電図、呼吸機能）	【準備学習項目】 胸部の解剖について説明できる。心臓の電気生理について説明できる。 【講義】302 教室 胸部エックス線写真、心電図、呼吸機能検査について重要な所見について説明できる。 < C-2-3)-(3)- ,C-2-3)-(7)- / 必 -6-A-f, 総-( )-2-C,D, 総-( )-4-A,B >	井上文央
11 月 1 日（木） 2 時間 9:00 ~ 10:50	感染症（全身疾患を中心、HIV / AIDS を含む）	【準備学習項目】 ウイルス感染症、細菌感染症について説明できる。 【講義】302 教室 主なウイルス・細菌感染、とくに口腔内に病変の出る感染症、食中毒、エンドトキシンショックについて説明できる。 < C-3-1)- ,E-2-4)-(7)- ,E-2-4)-(9)- , , , , / 必 -8-C-d, 必 -15-AB-b, 総-( )-6-D, 各 - ( )-3-AD,AE,AF,AG, 各 - ( )-6-A,B,C,D, 各 - ( )-2-A, 各 - ( )-2-C-b >	坂巻達夫

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月8日(木) 2時間 9:00～10:50	呼吸器疾患	【準備学習項目】 呼吸器系の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 急性呼吸器感染症、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍について説明できる。 < C-2-3)-(7)- , / 必-8-C-d, 必-15-AB-b, 総-( )-2-C, 総-( )-1-C, 各- -( )-3-A >	同上
11月15日(木) 2時間 9:00～10:50	循環器疾患	【準備学習項目】 循環器系の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 循環動態、高血圧症、虚血性心疾患、感染性心内膜炎関連疾患、弁膜症、心筋症について説明できる。 < C-2-3)-(3)- , , , / 必-15-AB-b, 総-( )-2-D, 総-( )-1-C, 各- -( )-3-B >	同上
11月22日(木) 2時間 9:00～10:50	内分泌疾患	【準備学習項目】 内分泌器官の生理機能について説明できる。 【講義】302教室 内分泌器官を中枢と末梢のフィードバック機構から説明できる。主な内分泌疾患について説明できる。 < C-2-3)-(8)- , / 必-15-AB-b, 総-( )-2-H, 総-( )-1-I, 各- -( )-3-H >	大口純人
11月29日(木) 2時間 9:00～10:50	血液・造血器疾患	【準備学習項目】 止血、凝固機能について説明できる。 貧血、出血傾向について説明できる。 【講義】302教室 止血・凝固・造血の機構、主な貧血症、出血性疾患を説明できる。 < C-2-3)-(11)- , , , / 必-8-C-a,b,c, 必-15-AB-b, 総-( )-2-I, 総-( )-1-E, 各- -( )-5-K,L, 各- -( )-2-F-a,b,c, 各- -( )-3-G >	坂巻達夫
12月6日(木) 2時間 9:00～10:50	腎・泌尿器疾患	【準備学習項目】 腎臓の解剖、生理機能について説明できる。 【講義】302教室 腎臓の機能、主な腎疾患・泌尿器疾患、腎不全、全身疾患や薬剤による腎障害を説明できる。 < C-2-3)-(9)- , , / 必-11-C-a, 必-15-AB-b, 総-( )-2-E, 総-( )-1-F, 各- -( )-3-D >	同上
12月13日(木) 2時間 9:00～10:50	代謝・栄養疾患	【準備学習項目】 糖尿病の病態について説明できる。 【講義】302教室 糖尿病とその合併症、高脂血症について説明できる。 < C-2-3)-(6)- / 必-11-C-c, 必-15-AB-b, 各- -( )-3-I >	大口純人
12月20日(木) 2時間 9:00～10:50	脳・神経・筋疾患	【準備学習項目】 脳神経の解剖について説明できる。 運動・知覚の神経伝導路について説明できる。 【講義】302教室 主な脳血管疾患、痴呆疾患、脱髄疾患、運動ニューロン疾患、筋疾患について説明できる。 < C-2-3)-(5)- , / 必-15-AB-b, 総-( )-2-F, 総-( )-1-H, 各- -( )-3-E >	平山晃康
1月10日(木) 2時間 9:00～10:50	膠原病・アレルギー疾患	【準備学習項目】 アレルギー疾患の病態を説明できる。 膠原病の病態について説明できる。 【講義】302教室 SLE、シェーグレン症候群、ベーチェット病、強皮症、関節リウマチ、について説明できる。アレルギー反応の基礎、気管支喘息、アナフィラキシーショック、について説明できる。 < C-3-2)- , , ,E-2-4)-(9)- , / 総-( )-6-F,G >	坂巻達夫
1月17日(木) 2時間 9:00～10:50	中毒・環境要因疾患	【準備学習項目】 熱中症について説明できる。 農薬中毒について説明できる。 体内薬物動態について説明できる。 【講義】302教室 重要な中毒疾患、環境要因による疾患を説明できる。 < C-5-2)- / 総-( )-9-A >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略( S B O s )( L S )・準備学習( 予習 ) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月24日(木) 2時間 9:00 ~ 10:50	肝疾患・院内感染予防 まとめ	<b>【準備学習項目】</b> ウイルス性肝炎について説明できる。 院内感染予防について説明できる。 <b>【講義】</b> 302 教室 院内感染予防の概念について説明できる。ウイルス性肝炎、HIV、MRSA の対応について説明できる。 < C-3-1)- ,C-2-3)-(6)- / 必 -4-C-a,b,c, 必 -15-AB-b, 総 -( )-2-B, 各 - ( )-2-A >	同上

## 隣接医学系（全身と疾患）

4 年次 後学期	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学） ユニット責任者：坂巻 達夫（内科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	法医学： 小室歳信、眼科： 崎元 暢、産婦人科： 永石匡司、小児科： 宮本幸伸、精神・神経科学： 太田克也、 織田健司、 野口 海
教科書	法医学：臨床のための法医学 第6版・小室歳信，澤口彰子ほか・朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷・小室歳信・医歯薬出版 イラスト眼科学・大野重昭、澤充・医学書院 精神・神経科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	産婦人科：佐藤和雄 佐藤 和雄 藤本 征一郎 編 臨床エビデンス産科学・臨床エビデンス婦人科学 メディカルビュー社、丸尾 猛・岡井 崇 編 標準産科婦人科学 第3版 医学書院 小児科：最新育児小児病学＜改訂第5版＞：黒田泰弘（編）南江堂 小児歯科マニュアル（第4版） 前田隆秀（編）南山堂 精神・神経科学：カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳／井上 令一・四宮 滋子、DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 原著：American Psychiatric Association 訳：高橋 三郎／大野 裕／染矢 俊幸、ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳：融 道男／中根 允文／小見山 実、現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版、標準精神医学 野村総一郎、樋口輝彦 医学書院
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験（多肢選択問題）によって評価点（100％）とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月3日(水) 2時間 13:00～14:50	1. 総論 1) 法医学の歴史, 定義, 対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【講義】302 教室 ・法医学は、「法律上問題となる医学的事項を研究し、解決に寄与しようとする学問」である。ここで「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを説明できる。 ・法医学の対象は、死体ばかりでないこと説明できる。 ・検屍の対象となる異状死体とは何か、また、どのような場合に法医解剖に付されるのかを説明できる。 ・我国における死体の取り扱いについて説明できる。 ・ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。また、どの時点で死と判定されるのかを説明できる。	小室歳信
10月3日(水) 2時間 15:00～16:50	3. 死体現象 1) 定義と法医学的意義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間の推定 4. 異常環境等による障害と死 1) 高温による障害	【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【講義】302 教室 ・死体に現れてくる様々な変化・現象を理解する。早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解を説明できる。 ・ミイラ化や死骸化現象について説明できる。 ・死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを説明できる。 ・異常温度による障害・死亡の発生機序を理解し、とくに火傷死と焼死との死体所見の差異について説明できる。	同上
10月10日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学1(眼の解剖・生理、視機能と眼科検査)	【準備学習項目】 目の解剖と生理機能を説明できる。 【講義】302 教室 1) 視覚器の構成を述べることができる。 2) 視機能について説明できる。 3) 基本的な眼内の解剖を述べることができる。 4) 基本的な眼科検査を説明できる。	崎元暢
10月10日(水) 2時間 15:00～16:50	眼科学2(角膜・結膜疾患)	【準備学習項目】 角膜・結膜疾患について説明できる。 【講義】302 教室 1) 角膜の解剖生理について述べるができる。 2) 代表的な角膜疾患・結膜疾患を説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月17日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学3(眼瞼と眼窩の疾患、眼科救急疾患)	【準備学習項目】 眼瞼・眼窩の疾患について説明できる。 眼科救急疾患について説明できる。 【講義】302教室 1)眼瞼と眼窩の解剖について説明できる。 2)代表的な眼瞼・眼科疾患を説明できる。 3)代表的な眼科救急疾患について説明できる。	同上
10月17日(水) 2時間 15:00～16:50	5. 損傷 1)定義と用語,法医学的意義 2)法医学的問題点 3)分類 4)被虐待児症候群 5)損傷による死因 6)生活反応	【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【講義】302教室 ・人体に生じた創傷を観察し,その検査の法医学的意義について説明できる。 ・創傷の数,部位,性状および程度などから,自・他殺あるいは事故死の区別ができることを説明できる。 ・乳幼児や小児が親や保護者から繰り返し虐待を受け,それによって生じた外傷の特徴的性状を説明できる。 ・損傷による死因について検討し説明できる。 ・生体でなければ現れない所見(生活反応)と意義について理解し,死後損傷と識別ができることを説明できる。	小室歳信
10月24日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学4(水晶体と白内障)	【準備学習項目】 水晶体と白内障について説明できる。 【講義】302教室 1)水晶体の構造とその機能を説明できる。 2)白内障の分類を説明できる。 3)白内障手術の術式を説明できる。	崎元暢
10月24日(水) 2時間 15:00～16:50	6. 中毒 1)中毒,毒物の定義 2)薬毒物の分類 3)一酸化炭素・青酸 4)農薬 5)犯罪の成立要件 6)薬物依存症	【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【講義】302教室 ・薬毒物の定義および薬理学的分類について説明できる。 ・一酸化炭素,青酸および農薬などの性質,中毒作用機序および死体所見などを説明できる。 ・犯罪の成立要件について学習する。「行為者の責任能力」の有無を,正当防衛,緊急避難,心神耗弱,心神喪失と関連づけて説明できる。 ・耽溺性のある麻薬類,覚醒剤等の代謝と排泄を説明できる。 ・アルコール依存症の定義と症状,ならびに代謝と排泄について説明できる。 ・薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について説明できる。	小室歳信
10月31日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学5(緑内障,神経眼科)	【準備学習項目】 緑内障について説明できる。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について説明できる。 【講義】302教室 1)緑内障の分類と眼圧上昇の機序を述べることができる。 2)緑内障の治療法を述べることができる。 3)散瞳が禁忌である緑内障について説明できる。 4)視神経・眼球運動・瞳孔反応の生理と異常を説明できる。	崎元暢
10月31日(水) 2時間 15:00～16:50	7. 窒息 1)窒息死の定義と分類 2)窒息死の経過 3)窒息死の特徴	【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【講義】302教室 ・窒息の種々のタイプ(縊死,絞死,扼死など),作用機序および窒息死体の剖検所見を説明できる。 ・窒息死体の特徴を知り,自・他殺あるいは事故死の区別を説明できる。 ・歯科治療中の死と窒息との関係を説明できる。	小室歳信

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月7日(水) 2時間 13:00～14:50	8. 個人識別 1) 個人識別の必要性・重要性 2) 生体および死体の個人識別 3) 白骨死体の個人識別 4) 大量災害死事故における身元確認 9. 歯科法医学 1) 歯科的所見の法医学的意義 2) 歯からの性別判定・年齢推定 3) 歯痕 4) その他、歯からわかること	【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【講義】302教室 ・個人識別の定義について説明できる。 ・白骨死体の個人識別において、頭蓋骨の形態観察による性別判定法と年齢推定法について説明できる。 ・大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について説明できる。 ・歯および歯科的所見の証拠物件としての価値を知り、それらの所見が身元確認になぜ有効なのかを説明できる。 ・歯の形態(大きさ、形)からの性別判定法を説明できる。 ・歯の発生学的変化、生理学的変化、病理学的変化および物理化学的变化からの年齢推定法を説明できる。 ・歯に関する損傷のうち、歯痕からの個人識別について説明できる。 ・歯科的所見から職業、出身地、教養や生活程度などを推定できる場合があるを説明できる。 <B-2-3)>	同上
11月7日(水) 2時間 15:00～16:50	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医行為と歯科医行為	【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【講義】302教室 ・業としての医療行為とはなにかを説明できる。 ・正当な医療行為として認められるための条件(治療、医学的・社会的正当性、承諾)について説明できる。 ・生体腎移植、正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて説明できる。	同上
11月14日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学6(ぶどう膜炎、全身疾患と眼)	【準備学習項目】 ぶどう膜炎について説明できる。 全身疾患による眼障害を説明できる。 【講義】302教室 1) 3大ぶどう膜炎について述べるができる。 2) 全身疾患による代表的な眼障害を説明できる。	崎元暢
11月14日(水) 2時間 15:00～16:50	眼科学7(網膜硝子体疾患)	【準備学習項目】 網膜硝子体疾患について説明できる。 【講義】302教室 1) 代表的な網膜硝子体疾患を説明できる。 2) 網膜硝子体手術の術式について説明できる。	同上
11月21日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科1 1) 小児の成長・発達とその異常 2) 先天異常・染色体異常	【準備学習項目】 正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し説明することができる。 【講義】302教室 ・小児の正常な成長と発達を理解し、説明することができる。 ・成長障害と発達障害を理解し、説明することができる。 ・先天異常・染色体異常の代表的な疾患を理解し説明することができる。 <E-4-6)>	宮本幸伸
11月21日(水) 2時間 15:00～16:50	11. 医療事故と法医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【講義】302教室 ・医療の現場で起こった事故による最悪の事態は患者が死ぬことである。遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを説明できる。 ・事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し、再発防止策を説明できる。 ・医療事故からリスクマネジメント構築を説明できる。	小室歳信
11月28日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科2 1) 発疹を伴う小児の感染症 2) その他の小児のウイルス感染症と細菌感染症	【準備学習項目】 小児の感染症を理解し、説明することができる。 【講義】302教室 ・発疹を伴う小児の感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 ・その他、小児の代表的な細菌感染症・ウイルス感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 <E-4-6)>	宮本幸伸

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月28日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学1 総論	【準備学習項目】 外因性、内因性、心因性精神障害について説明できる。 【講義】302教室 1. 医師・患者関係の心理学、疾病や治療に対する心理的反応、人格による心理的反応の違いについて理解し説明できる。 2. 外因性、内因性、心因性精神障害の分類について理解し説明できる。 3. 自殺の原因、手段、対応について理解し説明することができる。ストレスの成因、背景、対処について理解し説明することができる。	太田克也
12月5日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科3 1) 出血をきたす小児疾患 2) 小児の気管支喘息と糖尿病	【準備学習項目】 出血をきたす小児疾患を理解し説明することができる。その他、小児歯科治療に必要な疾患を理解し、説明することができる。(特に気管支喘息・糖尿病) 【講義】302教室 ・出血性素因を持つ血液疾患や急性白血病について症状と治療について理解し、説明することができる。 ・その他、小児歯科治療時に留意すべき小児科疾患について理解し、説明することができる。(とくに、気管支喘息と糖尿病について理解し、説明することができる。) <E-4-6)>	宮本幸伸
12月5日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学2 心身症と緩和医療	【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。 【講義】302教室 1. 精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明し理解することができる。 2. 身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を理解して説明することができる。緩和医療について理解し説明することができる。 3. 心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について理解し説明することができる。	野口海
12月12日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	【準備学習項目】 小児救急疾患の病態を理解し説明することができる。小児の輸液を指示することができる。 【講義】302教室 ・小児の救急疾患とその病態を理解し、処置について説明することができる。(特に小児の輸液療法に関して) <E-4-6)>	宮本幸伸
12月12日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学3 外因性精神障害と睡眠障害	【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。 【講義】302教室 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
12月19日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科1	【準備学習項目】 女性生殖器の解剖と生理機能を説明できる。 妊娠について説明できる。 【講義】302教室 女性生殖器の解剖と生理、診察と治療、妊娠の診断方法 生殖器の解剖、生理を説明できる。 婦人科領域の主な症状から診断、治療への流れについて説明できる。 妊娠の診断と妊婦健診について説明できる。 <E-4-6)>	永石匡司
12月19日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学4 内因性精神障害(統合失調症)	【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる。 【講義】302教室 内因性精神障害(統合失調症)およびてんかんの症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也
1月9日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科2	【準備学習項目】 正常の妊娠、分娩、産褥について説明できる。 【講義】302教室 妊娠、分娩、産褥(正常編、異常編) 正常の妊娠、分娩、産褥経過および産科手術を説明できる。 異常妊娠、異常分娩、異常産褥について説明できる。 (妊婦と歯科疾患の関連性について理解する。) <E-4-6)>	永石匡司

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月9日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学5 小児および高齢者の精神障害	【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。 【講義】302教室 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	野口海
1月16日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科3	【準備学習項目】 婦人科領域の悪性腫瘍について説明できる。 【講義】302教室 婦人科の悪性腫瘍(主に子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌について) 子宮頸癌および子宮頸部異形成について説明できる。 子宮体癌および子宮内膜増殖症について説明できる。 卵巣癌について説明できる。	永石匡司
1月16日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学6 てんかん	【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。 【講義】302教室 てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療についておよび人格障害の特徴、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
1月23日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科4	【準備学習項目】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について説明できる。 【講義】302教室 婦人科の良性疾患(良性腫瘍、月経異常、性感染症など) 良性腫瘍として卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症の診断、治療について説明できる。 月経困難症、過多月経などの月経異常や不妊症、性感染症について説明できる。 (婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる)	永石匡司
1月23日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学7 内因性精神障害(気分障害)	【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。 【講義】302教室 1.感情障害(躁うつ病圏)の症状、対応、治療について理解し説明することができる。 2.うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態、症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也



## 医療コミュニケーション（対人関係能力）

4 年次 後学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	良質な医療の提供を目的としたPOS医療，全人的医療の展開に向けて，基本的臨床技能，特にコミュニケーション技法の習得など情意領域の教養獲得を理解する。 ・信頼関係を確立するために，コミュニケーションの重要性を理解し，その能力を身につける。 ・良好な患者 - 歯科医師関係の確立に要する臨床能力の基本的な態度，知識及び技能を身につける。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し，目的達成のための相互連携を身につける。
授業担当者	伊藤孝訓，内田貴之，多田充裕，青木伸一郎，遠藤弘康，岡本康裕，大沢聖子，梶本真澄，酒井 淳，多田浩三，野崎勝也，金尾好章，岡本 茂，北本 厚，須永 亨，神濱 敦，堀内 一，井出杏也，石井広志，関 真之，市川喜之，梅田宜承，佐藤 繁，大川将彦，井田聡子，鈴木義孝，五十嵐仁志，大村敦士，大村明子（歯科総合診療学）
教科書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編著，クインテッセンス出版 「医療コミュニケーション実習書」日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座編（無償配布）
参考図書	「歯科医療面接アートとサイエンス」藤澤盛一郎，笹原廣重編著，砂書房 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院 「口腔診断学」下里常弘他，医学書院 「POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム」日野原重明，医学書院 「歯科医のための医療コーチング」岸 英光著，砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	ミニ講義と演習中心に実施する。 1) 提出物や演習評価基準を用いた自己評価，チュータ評価により評価する。 2) 最終成績はグループ制作物(30%)，小テスト(30%)，レポート(30%)，授業態度(10%) などにより総合的に評価する。なお、定期試験および再試験は行わないので，小テストに対する準備，並びにレポートの提出を忘れないこと。
学生への メッセージ オフィスアワー	臨床場面を設定した医療面接のロールプレイ演習やその他の基本的臨床技能は，臨床実習において患者に対応する際に即役立つことなので，真摯な思いと意気込みを持って演習に参加していただきたい。 1. 実習場所は，第2実習室を基本とする。 2. 集合時間を厳守すること。遅刻は認めない。 3. 実習にふさわしい態度と身なりで取り組むこと。清潔な白衣を着用し，マニキュア，指輪，ピアス，イヤリングは禁止する。茶髪，髭は認めない。長い髪は束ね，帽子の中に入れて垂れないようにすること。また携帯電話の持ち込み及び使用は禁止する。 4. 実習中は私語に慎み，真摯な気持ちで行うこと。 5. 事前に実習書を熟読し，十分な予習を行った上で実習に望むこと。 6. WedClass 上に解説や課題を提示するので必ず確認を行うこと。 7. 集団を対象としたワークショップ形式の演習であるため，各個人が意欲を持った自立的な態度を望む（成人学習）。E-mail(shindan.md.ml. @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(木) 1時間 15:00 ~ 15:50	ガイダンス コミュニケーション技法 問題解決手法(1) 「ブレインストーミング」	【準備学習項目】 ・コミュニケーションスキルについて説明できる。 【SBOs】 ・実習のねらい(学習目標)を説明できる。 ・「成人学習」について概説できる。 ・言語的コミュニケーションを説明できる。 ・非言語的コミュニケーションを説明できる。 ・情報を自ら収集，分析し問題点を探することができる。 ・問題点を論理的に整理し，解決方法を自ら見いだすことができる。 ・他の学習者と協力して，最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 ・発表のための技術を実施できる。 ・問題解決のプロセスを概説できる。 【LS】: 講義，スモールグループ討議 < B -2-1)- /必 -2-B-a,b > 教室：第2実習室	伊藤孝訓 多田充裕 青木伸一郎 内田貴之 遠藤弘康 岡本康裕 大沢聖子 梶本真澄 酒井淳 石井広志 井田聡子 市川喜之 井出杏也 梅田宜承 大川将彦 多田浩三 岡本茂 金尾好章 北本厚 佐藤繁 鈴木義孝 須永亨 関真之 野崎勝也 堀内一 神濱敦 五十嵐仁志
9月27日(木) 2時間 16:00 ~ 17:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月11日(木) 1時間 15:00～15:50	問題解決手法(2)「KJ法(問題点の図解化)」	【準備学習項目】 ・KJ法の手順を概説できる。 【SBOs】 ・情報を自ら収集,分析して問題点を抽出できる。 ・問題点を抽出し,論理的に整理することができる。 ・他の学習者と協力して,問題点を図解化できる。 ・チームワーク技術を実施できる。 ・KJ法の手順を実施できる。 ・発表のための技術を実施できる。 ・問題解決のプロセスを概説できる。 【LS】:講義,スモールグループ討議 <B-2-1)- /必-2-B-a,b > 教室:第2実習室	同上
10月11日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
10月18日(木) 1時間 15:00～15:50	問題解決手法(3)「KJ法(2次元展開)」 「フィッシュボーン」	【準備学習項目】 ・フィッシュボーン解析の概説できる。 【SBOs】 ・問題点を分析し,解決方法を自ら見いだすことができる。 ・他の学習者と協力して,最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 ・フィッシュボーン(要因解析)を実施できる。 ・発表のための技術を実施できる。 ・問題解決のプロセスを概説できる。 【LS】:講義,スモールグループ討議 <B-2-1)- /必-2-B-a,b > 教室:第2実習室	同上
10月18日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
10月25日(木) 1時間 15:00～15:50	批判的思考(1)「クリティカルシンキング1」	【準備学習項目】 ・クリティカルシンキングを概説できる。 【SBOs】 ・クリティカルシンキングの意味を説明できる。 ・批判的思考で問題点を抽出することができる。 ・問題点を論理的に整理することができる。 ・問題解決に必要な情報を自ら検索できる。 ・解決方法を自ら見いだすことができる。 ・他の学習者と協力して,最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 【LS】:PBL <B-1-1)- ~ , B-1-2)- ~ /必-8-B-a~f > 教室:第2実習室	同上
10月25日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
11月1日(木) 1時間 15:00～15:50	批判的思考(2)「クリティカルシンキング2」	【準備学習項目】 ・クリティカルシンキングを概説できる。 【SBOs】 ・クリティカルシンキングを実施できる。 ・発表のための技術を実施できる。 ・他の学習者と協力して,最適な解決方法を見いだすことができる。 ・チームワーク技術を実施できる。 ・他のグループの発表内容を批判的思考で吟味できる。 ・評価の目的を説明できる 【LS】:PBL <B-1-1)- ~ , B-1-2)- ~ /必-8-B-a~f > 教室:第2実習室	同上
11月1日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月8日(木) 1時間 15:00～15:50	問題志向型診療録(1)「問題点の抽出,整理」	【準備学習項目】 ・問題志向型医療(POS)の定義を説明できる。 【SBOs】 ・POMR(問題志向型診療録)の記載項目をあげて,各々の意義を説明できる。 ・POSの形式に則った情報を整理できる。 ・問題点の抽出を行い,問題リストをまとめることができる。 ・歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 ・現症所見から正常,異常を判断できる。 ・臨床診断名を決定した理由を述べるができる。 【LS】:講義,スモールグループ討議,ケーススタディ <F-1-1)- /必-4-A-a,必-8-C-a~e> 教室:第2実習室	同上
11月8日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
11月15日(木) 1時間 15:00～15:50	問題志向型診療録(2)「治療方針の立案」	【準備学習項目】 ・歯科疾患と各種治療法の関連を説明できる。 【SBOs】 ・各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 ・口腔一単位を考慮した治療方針を立案できる。 ・治療方針の立案の根拠を説明できる。 ・診断名を決定した根拠を説明できる。 ・治療方針に従った治療順序を列挙できる。 ・基本的な患者教育の内容を立案できる。 【LS】:講義,スモールグループ討議,ケーススタディ <F-1-1)- /必-4-A-a,必-8-C-a~e> 教室:第2実習室	同上
11月15日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
11月22日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(1) 「評価シート,評価マニュアルの作成」	【準備学習項目】 ・問診と医療面接の違いを説明できる。 【SBOs】 ・医療面接の目的を説明できる。 ・医療面接の流れを説明できる。 ・医療面接に必要な態度,マナーを説明できる。 ・コミュニケーションスキルを実施できる。 ・医療面接のコミュニケーションスキルを実施できる。 ・急性期と慢性期の医療面接の違いを説明できる。 【LS】:講義,スモールグループ討議,ケーススタディ <B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f> 教室:第2実習室	同上
11月22日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
11月29日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(2) 「評価基準」	【準備学習項目】 ・医療面接の評価の概要を説明する。 【SBOs】 ・患者本位の歯科医療を説明できる。 ・医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 ・医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 ・医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 ・医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。 【LS】:講義,スモールグループ討議,ケーススタディ <B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c,必-8-B-a-f> 教室:第2実習室	同上
11月29日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月6日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(3)「患者背景の設定 /ロールプレイ用シナリオの作成(初診)」	【準備学習項目】 ・ロールプレイの目的を説明できる。 【SBOs】 ・齲蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 ・患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 ・模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 ・主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 ・症例に基づいたシナリオを作成できる。 ・クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 ・解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 ・受療動機の重要性を理解し表現できる。 【LS】: 講義、シミュレーション演習(紙) < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c, 必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	同上
12月6日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
12月13日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(4)「ビデオ収録1」	【準備学習項目】 ・主要な歯科疾患と症候の関連性を説明できる。 【SBOs】 ・インフォームド・コンセントを模擬医療面接で表現できる。 ・コミュニケーションスキルを理解し会話に用いることができる。 ・シナリオに沿った演技ができる。 ・医療面接に適した態度を表現できる。 ・患者に対応した言語的コミュニケーションを表現できる。 ・患者に対応した非言語的コミュニケーションを表現できる。 ・患者心理に配慮したコミュニケーションスキルが表現できる。 【LS】: シミュレーション演習(モデル) < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c, 必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	同上
12月13日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
12月20日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(5)「ディスカッション まとめ演習1」	【準備学習項目】 ・医療面接スキルを説明できる。 【SBOs】 ・初診患者に対応した医療面接ができる。 ・医療面接に適した態度ができる。 ・模擬医療面接で使用したコミュニケーションスキルができる。 ・模擬医療面接で使用された非言語的コミュニケーションができる。 ・模擬医療面接のクリティカルシンキングを実施できる。 ・他者の医療面接を評価し、適切なフィードバックができる。 【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c, 必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	同上
12月20日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
1月10日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(6)「ロールプレイ用 シナリオの作成(患者説明)」	【準備学習項目】 ・患者説明のスキルの重要性を説明できる。 【SBOs】 ・病状説明、患者教育を意識したシナリオを作ることができる。 ・歯科疾患の病状と整合性のある治療方針を作ることができる。 ・患者の訴えを考慮したシナリオを作成できる。 ・患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 ・それぞれの患者レベルに対応した説明の仕方を設定できる。 ・患者への説明方法を具体的に設定できる。 【LS】: 講義、シミュレーション演習(紙) < B-2-1)- ,B-2-2)- ~ /必-8-A-a-c, 必-8-B-a-f > 教室: 第2実習室	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月10日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
1月17日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(7)「ビデオ収録2」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者への教育方法を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームド・コンセントを模擬医療面接で表現できる。</li> <li>・コミュニケーションスキルを理解し会話に用いることができる。</li> <li>・シナリオに沿った演技ができる。</li> <li>・患者説明(歯科疾患の病状,治療方針など)する内容を列挙できる。</li> <li>・患者が理解しやすい言葉で説明できる。</li> <li>・患者に対応した非言語的コミュニケーションを態度で表現できる。</li> <li>・患者教育に用いるコーチング技法を表現できる。</li> </ul> <p>【LS】: 講義、シミュレーション演習(モデル) &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ ,F-1-1)- /必 -8-A-a~c,必 -8-B-a~f &gt; 教室: 第2実習室</p>	同上
1月17日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上
1月24日(木) 1時間 15:00～15:50	医療面接(8)「ディスカッションまとめ演習2」	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者教育に用いる効果的なコーチング技法を説明できる。</li> </ul> <p>【SBOs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者説明に対応した医療面接ができる。</li> <li>・医療面接に適した態度を実施できる。</li> <li>・患者教育に用いるコーチング技法を表現できる。</li> <li>・説明(歯科疾患の病状,治療方針など)の内容を離すことができる。</li> <li>・患者教育に用いるコーチング技法ができる。</li> <li>・他者の医療面接を評価し,適切なフィードバックができる。</li> </ul> <p>【LS】: 講義、スモールグループ討議、ケーススタディ &lt; B-2-1)- ,B-2-2)- ~ ,F-1-1)- /必 -8-A-a~c,必 -8-B-a~f &gt; 教室: 第2実習室</p>	同上
1月24日(木) 2時間 16:00～17:50	同上	同上	同上